# 令和 4 年度 #8000 情報収集分析事業報告書 【全体版】

# 公益社団法人日本小児科医会 2023 年 3 月

# 目次

I. 事業概要 ····· 3
II. 情報収集·分析方法 ····· 6
Ⅲ. 全調査都道府県(全体版)の集計結果 ・・・・・ 20
Ⅳ. 全調査都道府県(全体版)の考察 46
Ⅳ-1. #8000 事業の月別相談件数 46
Ⅳ-2. 都道府県別、小児医療圏別#8000事業利用状況(年少人口対相談件数)46
Ⅳ-3. #8000 事業の時間帯別ニーズ(相談件数の時間変動) 53
Ⅳ-4. #8000 事業の相談対象児の分析 80
Ⅳ-5. #8000 事業の相談者の分析 86
Ⅳ-6. #8000 事業の相談対応の分析 90
Ⅳ-7. 新型コロナウイルス関連相談 109
V. 総括 ······ 114
V-1. 令和 4 年度#8000 情報収集分析事業の要約 ····· 114
V−2. #8000 事業の経年変化 ····· 116
Ⅴ-3. #8000 情報収集分析事業から得られた課題 119
VI 結語 ····· 120
Ⅷ. 引用資料 121

# I. 事業概要

#### I-1. はじめに

2000 年前後に、時間外小児救急医療の増加と 24 時間体制の救急医療提供の困難性を背景に、小児救急医療の危機が起こり、その対応策として小児救急電話相談事業(現在は子ども医療電話相談事業、以下#8000 事業という)が発案された。平成 16 年度に行なわれた小児救急受療行動調査では、保護者の 77%が小児救急電話相談事業への期待を示しており 1)、#8000 事業はわが国の小児救急医療政策・子育て支援政策の支柱として期待され開始された。

#8000 事業は、平成 16 年から国庫補助事業として開始され、平成 22 年から全国の 47 都道府県で実施されている。令和 3 年度は全国で年間 946,397 件の相談が寄せられ、子育て中の保護者の不安に寄り添う事業として活用されている。また、「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」における「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト宣言(平成 30 年度)<sup>2)</sup>や、成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針(令和 2 年度)<sup>3</sup>において、#8000 事業の整備と活用が指摘されている。

#8000 事業は都道府県事業として進められており、#8000 情報収集分析事業(以下、本事業という)以前は、全国の#8000 事業の状況を一括して調査・分析することはなかった。そこで、平成29 年度より、厚生労働省は、相談対応者の質の向上と保護者への啓発等を目的に、相談内容や対応等に関する情報を収集し、分析することを目的として、本事業を開始し<sup>4)</sup>、同年度から、公益社団法人日本小児科医会が厚生労働省の委託を受けている。

## Ⅰ-2. #8000 情報収集分析事業の内容

本事業では上記目的を達成するため、#8000 事業における必要不可欠な相談事案毎の調査項目を定め、全国のデータを収集・保存し、一括して分析を行うことにより、#8000 事業の特性、都道府県間の差違を調べ、#8000 事業の質の向上と均てん化に資する資料を作成するとともに、集計・分析結果を保護者、都道府県、小児医療提供者、#8000 事業者等に提供する。

本事業のプロセスは以下の通りである。

- ① 都道府県に事業への参加を依頼し、都道府県#8000事業担当会議で事業概要を説明する。
- ② 都道府県の参加登録と#8000 データ収集方式の選択を受ける。
- ③ 調査期間に#8000事業に関するデータを収集(※)する。
  - (※)#8000 事業に関するデータの収集方法は、構築した情報収集分析システム(NDS-8000-1)システムへの直接入力、マークシートへの記入、Excel/CSV ファイルの提出の 3 方式がある。(図 5)
- ④ 収集したデータを一括して処理・集計・分析する。
- ⑤ 報告書を作成する。

さらに、広報事業として、保護者、都道府県、小児医療提供者、#8000事業者等への情報提供を行うとともに、啓発事業として、保護者を対象として#8000市民公開講座の開催、こども救急ガイドブック(都道府県作成)、こどもの救急 ONLINE(日本小児科学会作成)、救急医療情報システム(都道府県作成)等の小児救急医療情報ツールとの連携・活用の推進を行う。

#### Ⅰ-3. #8000 情報収集分析事業の実施体制

#### I-3-1. 事業主体

公益社団法人日本小児科医会

# I-3-2. 小児救急電話相談情報収集分析事業ワーキンググループの体制

吉澤穣治、渡部誠一、桑原正彦、小山典久、福井聖子

吉澤は企画・立案、渡部は事業遂行、都道府県・事業者との連絡、全体版報告書作成・取り 纏めを行なった。各委員は全体版報告書校正、都道府県版報告書作成(分担して)を行なった。 相談員アンケート、調査項目の検討を渡部が、啓発事業の企画を小山が、話中の調査・分析を 福井が行なった。

#### I-3-3. 会議日程等の事業の過程

会議実績を表 1 に示す。事業進捗を円滑に進めるため、#8000WG 会議を基本的に週 1 回行なった。事業の参加登録、進行、調整、前年度の報告等のため、都道府県#8000事業担当者、広域民間事業者との個別会議を行った。都道府県#8000 担当者を一同に集めて事業説明、報告および意見交換(都道府県#8000 担当医者会議)を複数回行なった。各都道府県#8000 事業担当者と適宜連絡を取るとともに、各都道府県、各広域民間事業者と個別に会議を行う時間を取った。以上の会議は、全てオンラインで行なった。

#8000 事業啓発活動として、#8000 市民公開講座を 2022 年 9 月 19 日に Web 形式で行なった。その準備会議を複数回行った。事前録画も Web 形式で行なった。

# 表 1. 会議実績

年月日	会議名	会議内容	年月日	会議名	会議内容
2022.06.24	#8000WG 会議	情報収集分析	2022.10.07	#8000WG 会議	情報収集分析
20.22.07.01	#8000WG 会議	情報収集分析	2021.10.13	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.07.08	#8000WG 会議	情報収集分析	2022.10.02	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.07.15	#8000WG 会議	情報収集分析	2022.10.07	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.07.22	#8000WG 会議	情報収集分析、啓発事業	2021.10.13	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.07.29	#8000WG 会議	情報収集分析	2021.10.20	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.05	#8000WG 会議	情報収集分析、啓発事業	2021.10.27	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.09	#8000 栃木県会議	情報収集分析	2022.11.02	#8000 栃木県会議	情報収集分析
2022.08.10	#8000 福井県会議	情報収集分析	2022.11.04	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.10	#8000 宮城県会議	情報収集分析	2022.11.11	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.12	#8000 千葉県会議	情報収集分析	2022.11.18	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.12	#8000 神奈川県会議	情報収集分析	2022.11.24	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.17	#8000 大阪府会議	情報収集分析	2022.11.24	#8000 広島県会議	情報収集分析
2022.08.17	#8000 法研会議	情報収集分析	2022.12.02	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.19	都道府県#8000 担当	事業説明、報告	2022.12.09	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.06.19	者会議	争未就奶、锹口	2022.12.16	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.,24	#8000 東京海上日動	情報収集分析	2022.12.16	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.,24	会議	旧牧牧朱万仞	2023.01.16	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.,24	#8000 ダイヤルサー	情報収集分析	2023.01.13	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.06.,24	ビス会議		2023.01.20	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.,25	#8000T-PEC 会議	情報収集分析	2023.01.27	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.26	#8000WG 会議	情報収集分析	2023.02.03	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.08.31	#8000 オフィスポケッ	情報収集分析	2023.02.10	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.06.31	卜会議		2023.02.11	#8000 対応者研修	研修事業
2022.09,02	#8000WG 会議	情報収集分析、啓発事業	2023.02.17	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.09.09	#8000WG 会議	情報収集分析、啓発事業	2023.02.24	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.09.16	#8000WG 会議	情報収集分析	2023.03.03	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.09.19	#8000 市民公開講座	啓発事業	2023.03.05	#8000 対応者研修	研修事業
2022.09.23	#8000WG 会議	情報収集分析	2023.03.10	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.09.30	#8000WG 会議	情報収集分析	2023.03.17	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.10.02	小児救急医療連絡	報告	2023.03.24	#8000WG 会議	情報収集分析
2022.10.02	協議会	+к 口	2023.03.31	#8000WG 会議	情報収集分析

# Ⅱ. 情報収集・分析方法

情報収集・分析の状況をよりわかりやすくするため、また、本事業の主目標である#8000事業の全国均てん化のため、この部分の記載を前年度から変更した。

本章の前年度からの変更点は以下の3点である。

- ・ 2006 年の民間事業者導入 <sup>5</sup>以来、都道府県の#8000 事業実施体制は複雑になってきており、地元事業者・広域民間事業者を効率的に組み合わせて用いている状況があるので、<u>47 都道</u>府県全ての#8000 事業実施状況を地元事業者・広域民間事業者別に示した。(表 3-1~3-3)
- ・データ取得率は報告書全体に影響し、かつ都道府県・事業者との協議に用いる重要資料であるので、各調査項目の都道府県別データ取得率を示した。(表 4)
- ・都道府県の#8000 事業委託、#8000 情報収集分析事業データ提供状況を一覧にした。(表 5)

#### Ⅱ-1. 調査期間

令和4年度調査期間は、令和4年9~11月の3か月間とした。令和3年度から調査期間を12~2月から9~11月に変更した。理由は、12~2月の場合にデータ収集と分析が年度内に完了できないこと、積雪が多い地域では冬期の医療アクセスの悪化のため小児救急医療の利用が変容する現象が見られたためである。

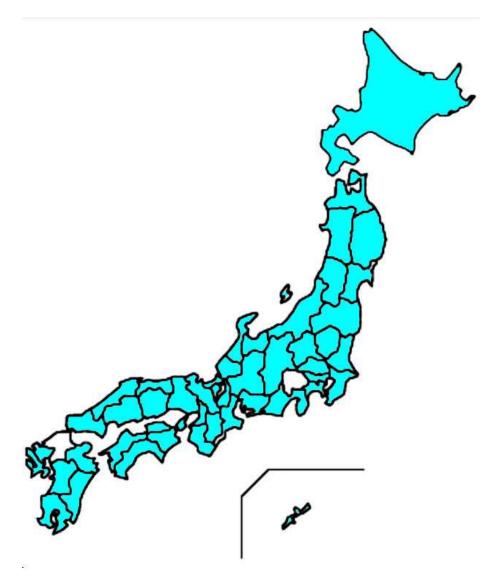
#### Ⅱ-2. 参加都道府県

栃木県、熊本県が新たに参加して、過去最多の 45 都道府県が参加した。不参加県は山梨県、 福岡県で、多忙のために参加出来ないとの回答であった。

表 2. 令和 4 年度 #8000 情報収集分析事業に参加した 45 都道府県の一覧

No.	都道府県名								
1	北海道	10	群馬県	20	長野県	29	奈良県	38	愛媛県
2	青森県	11	埼玉県	21	岐阜県	30	和歌山県	39	高知県
3	岩手県	12	千葉県	22	静岡県	31	鳥取県	41	佐賀県
4	宮城県	13	東京都	23	愛知県	32	島根県	42	長崎県
5	秋田県	14	神奈川県	24	三重県	33	岡山県	43	熊本県
6	山形県	15	新潟県	25	滋賀県	34	広島県	44	大分県
7	福島県	16	富山県	26	京都府	35	山口県	45	宮崎県
8	茨城県	17	石川県	27	大阪府	36	徳島県	46	鹿児島県
9	栃木県	18	福井県	28	兵庫県	37	香川県	47	沖縄県

図 1. 令和 4 年度 #8000 情報収集分析事業に参加した 45 都道府県



# Ⅱ-3. 47 都道府県の#8000 事業実施時間帯と事業者(地元事業者、広域民間事業者)

平日(表 3-1)準夜帯は 13 県が 18 時、30 県が 19 時、1 県が 19:30、1 県が 20 時から開始し、2 県が 24 時間実施している。深夜帯は 23 時まで、1 時までの 1 県ずつを除く 45 都道府県が朝まで実施している(対象年少人口 98.5%)。朝 8~9 時実施は 24 時間実施を含め 6 県である。

18 都道府県を地元事業者が担当し、そのうち 7 都府県は地元事業者単独、11 道県は広域民間事業者を併用している。40 道府県を広域民間事業者が担当している。

表 3-1. 都道府県の#8000 事業の平日(除祝日)の実施時間帯と事業者

		広域												平日	(除祝	日)											
No.	都道府県 名	民間事業				= 1	日勤帯				Ŧ				準夜帯			_ 1	1			深夜	帯(翌	日)			
	ъ	者	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時
1	北海道	Α												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
2	青森県	Α											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
3	岩手県													地	地	地	地										
4	宮城県	Α												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
5	秋田県	В												地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
6	山形県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
7	福島県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
8	茨城県	Е	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
9	栃木県												地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	
10	群馬県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
11	埼玉県	Е	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
12	千葉県													地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地			
13	東京都												地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	
14	神奈川県	Е											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
15	新潟県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
16	富山県	D	民											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
17	石川県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
18	福井県	Α	民											地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
19	山梨県													地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地		
20	長野県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
21	岐阜県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
22	静岡県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
23	愛知県	Е												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
24	三重県	В												民30	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
25	滋賀県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
26	京都府	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
27	大阪府													地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	
28	兵庫県	С											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
29	奈良県	Α											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
30	和歌山県	Α	民											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
31	鳥取県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
32	島根県	Α	民											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
33	岡山県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
34	広島県	Α												地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
35	山口県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
36	徳島県	С											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
37	香川県	D												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
38	愛媛県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
39	高知県														地	地	地	地	地								
40	福岡県	D												地民	地民	地民	地民	民	民	民	民	民	民	民	民		
41	佐賀県	С												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
42	長崎県	С											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
43	熊本県	D												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
44	大分県	С												地民*	地民*	地民*	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
45	宮崎県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
46	鹿児島県	D												地民	地民	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
47	沖縄県	В												地民	地民	地民	地民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	

2022年10月の実施状況。地: 地元事業者が対応、 民: 広域民間事業者が対応、 地民: 地元事業者と広域民間事業者双方が対応。 民30: 三重県は19:30開始。

地民\*:大分県は火木金曜日(祝日を含め)のみ地元事業者が広域民間事業者と共に対応する。

土曜日(表 3-2)日勤帯は 17 県が実施し(24 時間実施 2 県を含む)、そのうち 8 都県が日勤帯午前午後に、9 県が日勤帯午後に(12 時 1 県、13 時 5 県、15 時 3 県)実施している。30 道府県は土曜日日勤帯に実施していない。準夜帯、深夜帯は平日と同様である。22 都県が朝 8~9 時に実施して、土曜日~日曜日に切れ目なく実施している。

17 都道府県を地元事業者が担当し、そのうち 7 都府県は地元事業者単独、10 道県は広域民間事業者を併用している。40 道府県を広域民間事業者が担当している。

表 3-2. 都道府県の#8000 事業の土曜日(除祝日)の実施時間帯と事業者

	4m 14b -4m	広域												土曜E	3(除	祝日)											
No.	都道府県 名	民間事業	т				日勤帯								準夜帯				ļi.			深夜	帯(翌	日)			
	_	者	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時
1	北海道	Α												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
2	青森県	Α						民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
3	岩手県													地	地	地	地										
4	宮城県	Α												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
5	秋田県	В												地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
6	山形県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
7	福島県	С									_			民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
8	茨城県	E	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
9	栃木県												地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
10	群馬県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
11	埼玉県	E	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
12	千葉県													地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地			
13	東京都		地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
14	神奈川県	E											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
15	新潟県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
16	富山県	D	民					民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
17	石川県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
18	福井県	Α	民											地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
19	山梨県									地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地		
20	長野県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
21	岐阜県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
22	静岡県	В						民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
23	愛知県	E												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
24	三重県	В												民30	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
25	滋賀県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
26	京都府	В								民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
27	大阪府													地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	
28	兵庫県	С											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
29	奈良県	Α						民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
30	和歌山県	Α	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
31	鳥取県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
32	島根県	Α	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
33	岡山県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
34	広島県	Α												地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
35	山口県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
36	徳島県	С											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
37	香川県	D												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
38	愛媛県	В						民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
39	高知県														地	地	地	地	地								
40	福岡県	D					民	民	民	民	民	民	民	地民	地民	地民	地民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
41	佐賀県	С												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
42	長崎県	С											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
43	熊本県	D								民	民	民	民	地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
44	大分県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
45	宮崎県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
46	鹿児島県	D												地民	地民	地民	地民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
_	沖縄県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	地民	地民	地民	地民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民

日曜祝日(表 3-3)は、25 都県(対象年少人口 50.0%)が日勤帯に実施している。22 都県が土曜日~日曜日に切れ目なく実施している。22 道府県が日曜祝日日勤帯に実施していない。準夜帯、深夜帯は平日と同様である。

18 都道府県を地元事業者が担当し、そのうち 7 都府県は地元事業者単独、11 道県は広域民間事業者を併用している。40 道府県を広域民間事業者が担当している。

表 3-3. 都道府県の#8000 事業の日曜祝日の実施時間帯と事業者

		広域												E	1曜祝	B											
No.	都道府県 名	民間事業					日勤帯							1	準夜帯	;		- 1				深夜	帯(翌	日)			
	40	者	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時
1	北海道	А												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
2	青森県	А	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
3	岩手県													地	地	地	地										
4	宮城県	А												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
5	秋田県	В												地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
6	山形県	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
7	福島県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
8	茨城県	Е	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
9	栃木県		地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	-
10	群馬県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
11	埼玉県	E	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	R	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
12	千葉県				-		-~							地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地			_
13	東京都	$\vdash$	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	
14	神奈川県	Е	20	20	<b>JE</b>	76	26	AE.	20	26	70	76	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
15	新潟県	В											Д,	民民	民民	民	民民	民	民	民	民	民民	民	民	民民	民民	
16		D	民	民	R	民	R	民	民	民	民	民	民	民民	民民		民民		民	民	民民	民民	_	民民		民民	民
17	富山県石川県	В	氏	八	民	氏	民	氏	氏	氏	氏	氏	民民	民民	民民	民民	民民	民民	民	民民	民民	民民	民民	民民	民民	民民	戊
17	石川県 福井県		民	444	4sh	šáh	4sh	4sh	4sh	4sh	4sh	4sh		200		-		民民	民民	民民	民民	民民	民民	民民	民民	民民	民
$\overline{}$	275755550	Α	氏	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	75.75								氏	氏
19	山梨県		_	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	_	
20	長野県	С	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
21	岐阜県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
22	静岡県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
23	愛知県	E				_								民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	_
24	三重県	В												民30	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
25	滋賀県	В		民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
26	京都府	В												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	_
27	大阪府													地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	
28	兵庫県	С	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
29	奈良県	Α	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
30	和歌山県	Α	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
31	鳥取県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
32	島根県	Α	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民
33	岡山県	В											民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
34	広島県	Α												地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
35	山口県	С												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
36	徳島県	С	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
37	香川県	D												民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
38	愛媛県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
39	高知県														地	地	地	地	地								
40	福岡県	D	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	地民	地民	地民	地民	民	民	民	民	民	民	民	民		
41	佐賀県	С												地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
42	長崎県	С	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
43	熊本県	D	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
44	大分県	С		民	民	民	民	民	民	民	民			地民*	地民*	地民*	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
45	宮崎県	С		-										民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
46	鹿児島県	D	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	地	地	地	地	民	民	民	民	民	民	民	民	民	
	沖縄県	В	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	民	地民	地民			民	民	民	民	民	民	民	民	民	_

2022年10月の実施状況。地: 地元事業者が対応、 民: 広域民間事業者が対応、 地民: 地元事業者と広域民間事業者双方が対応。 民30: 三重県は19:30開始。

地民 \*: 大分県は祝日のみ地元事業者が広域民間事業者と共に対応する。日曜日は含まない。

# Ⅱ-4. 調査項目、マークシート

調査項目、マークシートは前年からほぼ変更はない。変更点は発症時期の選択肢で、「1 時間 前から」が直前から 1 時間前までであることをわかりやすくした。

都道府県#8000 事業担当者会議、都道府県や広域民間事業者 5 社との個別会議で、本事業の調査項目の説明と前年度のデータ取得率について話し合った。相談対象児年齢の複数年分をまとめた聞き取り、緊急度判定の都道府県差違、そしてデータ取得率が低い 6 項目(相談者の年代、相談の分類・目的、兄姉の有無、医師の助言・対応、相談対応者が考えた受診すべき診療科、相談対応の対応感想・対応で困ったこと)が主な議題となり、改めて本事業における調査のねらいを説明した。

実際の入力フォームとして、マークシート(図3)を示す。

図 2. #8000 情報収集分析事業の調査項目(令和 4 年度)

No.	調査項目					入力欄、選択肢				
	都道府県名					/ 1/J/181 ACI/(IX				
	即足的 东石									
2	相談対応者ID									
3	相談開始年月日									
4	相談開始時刻									
5	相談終了時刻									
6	市区町村名						_			
7	相談者の続柄	母親	父親	祖母	祖父	その他				
8	相談者の年代	10代	20代	30代	40代	50代以上				
	相談対象児年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
a	- 一一一一一一一一一一一一一一一一一	7歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳以上	
	相談対象児月齢	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月
	THEORY IN SUCTION	9か月	10か月	11か月						
10	相談対象児性別	男	女							
11	兄姉の有無(第1子あるい は子ども一人家庭)	兄姉いる	兄姉いない	不明						
		発熱	嘔気・嘔吐	咳	喘鳴(息苦しそう)	鼻水・鼻づまり	下痢	腹痛	便の異常(血便・ 便秘)	頭痛
12	主訴(複数選択可)	けいれん・ふるえ	啼泣・なきやまな い	発疹(じんましん)	頭部打撲	頭部以外の外傷	異物誤飲	熱傷	耳・鼻・のどの異常	目の異常
		歯・口腔の異常	尿の異常	薬	予防接種	その他				
13	相談の分類・目的	救急医療相談(緊 急助言)	医療機関案内	救急医療相談+ 医療機関案内	医療その他(教急 以外)	薬	ホームケア	育児相談	その他	
14	発症時期	1時間前以降~ 直前	6時間前以降	12時間前以降	1日以上前以降					_
15	相談前受診(受診後電話相 談)の有無	相談前受診あり	相談前受診なし	不明		·		_		
16	相談対応者(看護師)による 緊急度判定(受診の判断)	119番をすすめた	直ぐに病院に行く ようにすすめた	翌日に受診するこ とをすすめた	何かあれば受診す ることをすすめた	受診をする必要が ない	その他			
17	医師の助言・対応	医師から助言を受けた	医師が対応した	医師の助言・対応 なし	不明			<del>-</del>		
18	相談対応者(看護師)が受 診すべきと考えた診療科	小児科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	小児外科·一般外 科	整形外科	皮膚科	歯科·口腔外科	眼科	その他
19	相談対応者の満足度(相談 対応者からの印象)	満足	不満気	不明						
20	相談対応者(看護師)の対 応困難(対応で困ったこと)	対応困難あり	対応困難なし	不明						
21	相談対応者(看護師)の相 談業務経験年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上						
22	新型コロナウィルス関連	関連あり	関連なし							

# 図 3. マークシート(令和 4 年度版)

# (表面)

#80	00	0 相	目割	《対	応	記	録	シー	-	-					良	い例	J		悪い	例		木	目談	対応	者							
◆管	理礼	番号	・覚	知												V		ď	•	+												
	相言	炎管	理者	6号		者	『道序 番号		1	目談	対応	者	D		<del>/-</del>	相	談	B	-	,	ŧ	目診		始時		`\	ħ	目談		了眼		
	-				1	/	ш-		/	1		1		20	年	7	月		t	3	午前	/	時		7	מי	午前		時		4	r
0	7					0			0	F. 7				2 2		0			F.7		即	0			F		別	0				
	7								1					2 3	-						午後	1					午後	1				
	7						-		2					2 4			لنا				後	2	لنا				後	2				
	7				1	3			3					2 5							لتا	3						3				
	7								4							4			لتنا			4						4				
_	7					5		1	5							5						5						5				
0 -	7								6							6						6						6				
	3					7			7							7						7						7				
0 -	7					8			8							8						8						8				
0 5						9		-	9							9						9						9				
	إك	التا				-		لنا	_					C		-	-					3						3				
◆相	談対	付象	児情	報											AM																	
相詞	炎文	象儿	見の:	年齢										20:	22. (	)7.	29															
	0	か月								1か	月							2 か 月	3							3 か	月					
	4	か月								5か	月						.:	6 か 月	]							7か	月					
	8	か月							Ţ.	9か	月					E		10 か	月						.:	11 %	か月					
	1;	歳								2歳						1	.:	3歳								4歳						
	5 1	歳								6歳							.:	7歳								8歳						
	9 1	歳		*****						10 点	支					E	.:	11歳								12 肩	支					
	13	歳							Ţ	14 萬	支					[	· ·	15歳							.:	16 点	製以	Ŀ				
相	談	対象	児	の性	別			.: §	月		女		相	談対	象児	の兄	! 姉	の有	無		Ē.	. (	いる		Ŀ	וו	ない	١	Ţ	不	月	
相談	计会	如果	の在	住市	IX III	T #st :	タを	<b>=</b> □ 7	1.7	- < t	<b>ニ</b> さし	\																				
ТНИХ	.,,>	()[.	) II	17.11		, 1, ,	пс	пол																								
◆相	=火 <i>=</i>	大 /主	tD.																													
相談				かけ	ナてき	きた	方)	はど	なな	ーでで	トか '	?																				
				1		父親				祖出				祖父			 F	その	他 (													)
相談	者	(電	話を	かけ	てき	きた	方)	の年	代信	<b>‡</b> ?																						
	10	代				20 f	ť			30	H		Ţ.	40 f	ť	[		50代	:	E		60	t			70	代			80	代以	止
												,																				
◆相	談区	内容																														
主訴	(‡	复数	選択	可)																												
	発	熱								嘔気	ī · 1	區吐					ď	咳								喘	島 (,	息苦	しそ	う)		
	下	痢								けし	いれん	b ·	ふる	え		[		発疹	(じ	んま	しん	(ر				啼泣	· 7	なき	やま	ない	١	
	即	痛							Ţ.	腹症	有 					[		鼻水	・鼻	づま	Ŋ					耳》	<b>a</b>					
	即	部扩	丁撲						.:	頭部	邓以久	<b>外の</b> :	外傷			[		異物	誤飲							熱係	易					
	耳	• •	ļ · (	のど	に関	する	3			目	こ関	する				[	.:	歯・	口腔	内に	関す	る				便	り異で	常(	血便	・便	秘)	
	尿	の事	<b>旱常</b>							予	方接種	重						薬								70	つ他					
**	Z-0,	他を	送送	択し	た方	はこ	5	らに	己入	して	くた	さい	١																			
(																																)

# (裏面)

COVID19 関連			
□ COVID19 関連の相談			
発症時期			
□ 1時間前以降~直前 □ 6時間	間前以降 🔃 12 時間前以降	☑ 1日前以降 ☑ それ	より前から 🔃 その他
※その他を選択した方はこちら	に記入してください		
(			)
相談前の受診の有無			
☑ あり ☑ なし			
◆緊急度判定			
看護師による緊急度判定			
119番をすすめた		(ようにすすめた / 2 翌日	
□ 何かあれば受診することを			
※その他を選択した方はこちら		ш	
(			)
医師の助言			
□ 医師の助言なし		 受けた □ 医師	の助言・対応は不要だった
相談対応者が受診すべきと考えた	:診療科(緊急度によらず、該当す	ると考えた診療科)	
☑ 小児科	耳鼻科	<b>脳神経外科</b>	□ 小児外科・一般外来
整形外科	皮膚科	☑ 歯科口腔外科	☑ 眼科
∵ その他の診療科(			)
	SAMPI	I E	***
◆相談結果	2022. 08		
相談の分類(相談の目的)	2022.00		急医療相談(緊急助言)にチェック
救急医療相談 (緊急助言)	□ 医療機関案内	救急医療相談+医療機関案内	医療その他(※)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□ ホームケア	育児相談	□ その他( )
	E	E PACIFIEC	E
◆調査事項			
相談者の満足度(相談対応看護師	iからみた印象)		
□ 満足した	☑ どちらでもない	□ 不満	気
看護師の対応感想			
☑ 困ったことがあった		☑ 困ったことはなかった	
※困ったことがあった場合、具	体的に記入してください		
(			)
相談内容メモ			

#### Ⅱ-5. データ収集とデータ取り込み

# Ⅱ-5-1. データ収集分析システム、National Database System #8000 ( NDS-8000-1 )

本事業は、National Database System #8000-1(以下「NDS-8000-1」という)を用いて実施した。 NDS-8000-1 システムは、Microsoft 社クラウドサービス Dynamics 365 にて構築した(図 4)。本システムに相談対応内容を直接入力するか、あるいはデータを取込んで、一括して集計を行った。

相談対応者が自宅においても業務ができるよう、iPad 等のタブレット端末からの入力を可能とした。また、本システムを利用することにより、毎月実施するデータ集計作業、報告書作成作業を軽減することが可能となった。なお、本システムの作成過程については、平成 30 年度の事業報告書の p.4~5、または、NDS-8000-1 の入力画面のデモ画面を日本小児科医会ホームページの#8000・家庭看護力醸成サイトに掲載しているため、参照されたい。

#### Ⅱ-5-2. データ収集方式、NDS-8000-1 へのデータ取り込み

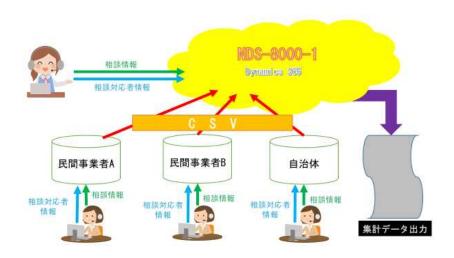
データを収集して NDS-8000-1 へ取り込む作業には、3 つの方式を用いた(図 5)。

【方式 1:NDS-8000 入力】NDS-8000-1 に直接入力する。今年度は、栃木県が手書きデータを NDS-8000-1 に転記入力した。相談対応者(看護師)が扱いやすいように改善に努めている。

【方式 2:マークシート】マークシート(図 3)に記入する。岩手県、高知県が採用した。手書き入力を行っていてデジタル入力にすぐに移行できない場合に使用する。マークシートをスキャンしてデジタル化して、NDS-8000-1 に取り込む。スキャン時のエラーの修正を要する。

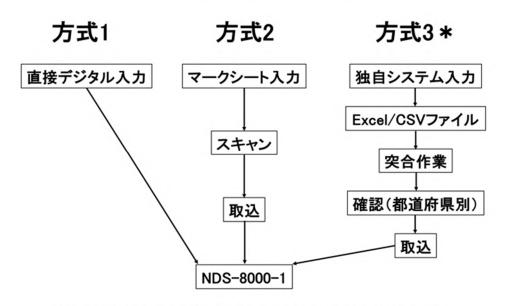
【方式 3: Excel/CSV ファイル】都道府県・民間事業者が独自システムで収集したデータを、Excel/CSV ファイルに変換して提供していただき、それから本事業の調査項目・選択枝との突合作業・確認作業を行って、NDS-8000-1 に取り込む。42 都道府県がこの方式を用いた。それまでの入力システムを変えることがないので、都道府県と民間事業者の負担が少なく、この方式により参加県が飛躍的に増えた。しかし、方式 3 には 3 つの課題がある。都道府県からのExcel/CSV ファイルデータ提供の段階で最大 2 か月の遅れが出ること、都道府県の調査項目と本事業の調査項目(表 2)が一致しないため突合作業に 1~2 か月を要すること、突合作業によっても改善できずにデータ取得率が低下することである。

# 図 4. NDS-8000-1 のイメージ



# 図 5. #8000 情報収集分析事業のデータ収集の 3 つの方式

#80000情報収集分析事業のデータ収集の3つの方式



\*都道府県・#8000事業者が独自のシステムで入力しExcel/CSVファイルを提出

※ 方式3の突合作業と確認(都道府県別)は、取込可能なデータになるまで複数回繰り返すことが多い。

# Ⅱ-5-3. 都道府県の#8000 事業委託、#8000 情報収集分析事業参加状況

都道府県の#8000 事業委託、本事業参加状況、本事業のデータ収集方式を表 4 に示した。18 都道府県を地元事業者が担当し、そのうち 7 都府県は地元事業者単独、11 道県は広域民間事業者を併用している。40 道府県を広域民間事業者が担当している。広域民間事業者は 5 社で (ABCDE で表示)、A 社 8 県、B 社 14 県、C 社 9 県、D 社 5 県、E 社 4 県、計 40 県を担当している。

令和 4 年度#8000 情報収集分析事業では、45 都道府県からデータの提供を得られたが、宮城県、福井県は地元事業者からのデータを得られなかった。山梨県と福岡県は、参加を得られなかった。

# Ⅱ-5-4. データ取得率、未記入値、不明値の問題

前述のデータ入力方式3の突合問題により、各調査項目で未記入率が高くなったため、図5 の方式3の突合作業に多くの時間を費やした。

都道府県別データ取得状況および取得率を調査した。調査項目自体を行っていない場合と、保護者からの聞き取りが難しい場合、選択肢が合わない場合があった。データ取得率の詳細な検討を表5に示した。

相談対象児年齢は、Ⅳ考察においては1歳未満を一括する処理を行った。

また、Ⅲ集計結果の表において、相談対象児年齢、主訴、緊急度判定以外は、未記入·不明を 除いた割合を併記して、考察で、相談対象時年齢、相談開始時刻(相談時間帯)、主訴、緊急度 判定以外の調査項目では未記入·不明を除いた割合を用いた。

本事業公募要領にある、事例ごとの(相談対象者)性別、年齢、対応に要した時間、医療圏(医療圏毎の相談件数)、相談者の満足度(の印象)は一部の都県で得られてない。応答率のデータは得られていない。

表 4. 都道府県の#8000 事業委託、データ収集方式、#8000 情報収集分析事業データ提供

都道 府県 番号	都道府県名	地元事業者 実施	広域民間事 業者委託	広域民間事 業者委託先	令和4年度 本事業参加	データ収集 方式	地元事業者 データ提供	広域民間事 業者データ 提供
1	北海道	0	0	Α	0	3	0	0
2	青森県		0	А	0	3		0
3	岩手県	0			0	2	0	
4	宮城県	0	0	А	0	3	×	0
5	秋田県	0	0	В	0	3	0	0
6	山形県		0	В	0	3		0
7	福島県		0	С	0	3		0
8	茨城県		0	E	0	3		0
9	栃木県	0			0	1	0	
10	群馬県		0	В	0	3		0
11	埼玉県		0	E	0	3		0
12	千葉県	0			0	3	0	
13	東京都	0			0	3	0	
14	神奈川県		0	E	0	3		0
15	新潟県		0	В	0	3		0
16	富山県		0	D	0	3		0
17	石川県		0	В	0	3		0
18	福井県	0	0	Α	0	3	×	0
19	山梨県	0			×		×	
20	長野県		0	С	0	3		0
21	岐阜県		0	В	0	3		0
22	静岡県		0	В	0	3		0
23	愛知県		0	E	0	3		0
24	三重県		0	В	0	3		0
25	滋賀県		0	В	0	3		0
26	京都府		0	В	0	3		0
27	大阪府	0			0	3	0	
28	兵庫県		0	С	0	3		0
29	奈良県		0	Α	0	3		0
30	和歌山県		0	Α	0	3		0
31	鳥取県		0	В	0	3		0
32	島根県		0	Α	0	3		0
33	岡山県		0	В	0	3		0
34	広島県	0	0	Α	0	3	0	0
35	山口県		0	С	0	3		0
36	徳島県		0	С	0	3		0
37	香川県		0	D	0	3		0
38	愛媛県		0	В	0	3		0
39	高知県	0			0	2	0	
40	福岡県	0	0	D	×		×	×
41	佐賀県	0	0	С	0	3	0	0
42	長崎県		0	С	0	3		0
43	熊本県	0	0	D	0	3	0	0
44	大分県	0	0	С	0	3	0	0
45	宮崎県		0	С	0	3		0
46	鹿児島県	0	0	D	0	3	0	0
47	沖縄県	O . NDS-8000-	0	В	0	3	0	0

<sup>※</sup> データ収集方式1:NDS-8000-1にデジタル入力、方式2:マークシート入力、方式3:Excel/CSVファイル提供

表 5. #8000 情報収集分析事業の各調査項目の都道府県別データ取得率

都道府県番号	都道府県名	広域民間事業者	地元事業者	相談対象児年齢の データ取得(取込) 困難 (複数月齢、複数年 齢データのため)	象児男 女	相談の 分類・ 目的	相談者の続柄	の年代	兄有第1な子一度の無子いど人度)	発症時期	相受有受の無診前の無診電相)	(相談 対応に 要した 時間)	相応よ急(師るの断談者る度定看に受の断対に緊判に護よ診判)	医師の 助言・ 対応	度 (相談 対応者 からの 印象)	相 談 者 談 経 終 経 数 条 数 条 数 条 数 条 数 条 数 の え り る り る り る り の り の り の り の り り り り り り	相応対の感 (対) 困	受診す べきと 考えた 診療科	相ができた。相談が受きたり、大きなができた。これでは、大きないのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	相対児齢外デ取な項数談象年以で夕得の目
	タ取得あり者	邻道府	県		44	44	45	33	30	36	41	41	45	41	44	32	34	40		$\blacksquare$
7-	タ取得率		ᅫ		94.5%	94.3%	98.9%	29.1%	20.0%	54.9%	88.3%	54.6%	96.8%	87.2%	72.0%	37.4%	37.4%	53.9%	00.00	
2	北海道 青森県	A	地		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92.8% 100.0%	0
3	岩手県	А	地		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	■	0	0	97.4%	1
4	宮城県	Α	Ų		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
5	秋田県	В	地		0	0	0	0	Ā	0	0	0	0	0	0	Ō	0	0	31.0%	0
6	山形県	В			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
7	福島県	С			0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	1
8	茨城県	Е		1-6か月未満	0	0	0		<b>A</b>		0		0	0	0				0.0%	6
9	栃木県	_	地		0	0	0		<b>A</b>	<u> </u>	0	0	0	<u> </u>	0	<b>I</b>	0	0	49.7%	3
10	群馬県 埼玉県	B E		1-6か月未満	0	0	0	0	0		0	_ <u> </u>	0	0	0	0	<u></u>	<u> </u>	100.0%	1
12	与 千葉県	E	地	1-0か月不満	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0			0.0%	6
13	東京都		地	~6ヶ月未満、小学 生、中学生	0	0	0	-	- -	0	0	<b>A</b>	0	0			-	0	76.1%	5
14	神奈川県	Е		1-6か月未満	0	0	0		<b>A</b>		0		0	0	0				0.0%	6
15	新潟県	В		0.00 712 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
16	富山県	D			0	0	0	0				0	0		0			0	97.8%	6
17	石川県	В			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
18	福井県	Α			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
20	長野県	С			0	0	0		•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	2
21	岐阜県	В		4 04 0 + #	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
22	静岡県 愛知県	B,E E		1-6か月未満 1-6か月未満	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	0	0		0	71.5%	0
23	三重県	В		1-0が月木両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0% 100.0%	6
25	滋賀県	В			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
26	京都府	В			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
27	大阪府		地		0	0	0			0	0	0	0		0			0	32.9%	5
28	兵庫県	С			0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	2
	奈良県	Α			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
	和歌山県	A			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
31	鳥取県 島根県	B A			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0% 100.0%	0
_	岛低乐 岡山県	В			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
34	広島県	A	地		0	0	0	Ö	0	0	0	Ö	0	Ö	0	0	Ö	Ö	60.9%	0
	山口県	С			0	0	0	0	Ī	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	1
36	徳島県	С			0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	1
	香川県	D			0	0	0	<b>A</b>				0	0		0			0	98.1%	6
	愛媛県	В	12		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
	高知県	_	地址	٥ <del>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</del>	0	0	0		<u> </u>	0	0	0	0	0	0		0	0	96.0%	2
	佐賀県 長崎県	C	地	0歳 	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	35.2% 100.0%	1
	技呵乐 熊本県	D	地		0	0	0	<b>■</b>				0	0	0	0	■		0	39.7%	5
44		С	地				0	Î		0	0	0	0	0	0	0	0	0	80.7%	4
_	宮崎県	С	Ų		0	0	0	0	<u> </u>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0
	鹿児島県	D	地		0	0	Ō	<b>A</b>		Ī	Ĭ	0	0	Ö	0	Ĭ	Ĭ	Ö	45.7%	5
47	沖縄県	В	地		0	0	0	0	<b>A</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67.0%	0

※データ取得率: ◎70%以上、○30%以上 70%未満、▲0%を除く30%未満、■データなし(0%)

# Ⅱ-6. 全調査都道府県およびと都道府県別の検討

参加 45 都道府県の集計を行い、令和 4 年の人口統計 <sup>6)</sup>を用いて各都道府県の年少人口(15歳未満)千人に対する 1 か月当たりの相談件数、小児科医師・小児外科医師 <sup>7)</sup>1 人に対する 1 か月当たりの相談件数を求めた。小児医療圏—市町村対応表 <sup>8)</sup>を用いて小児医療圏ごとの相談件数を求めた(Ⅲ-2)。相談件数、緊急度判定については都道府県間比較を行なった。

# Ⅱ-7. 新型コロナウイルス関連の電話相談の検討

令和3年度から新型コロナウイルス関連を調査項目に加えている。新型コロナウイルス関連の 有無のデータをできる限り収集して、集計・分析した。

#### Ⅱ-8. 倫理

本事業は昭和大学倫理審査委員会の承認を得て実施した。個人情報に関しては、匿名化処理 し、個人情報の保護に留意した。

# Ⅱ-9. 報告書の掲載

全体版(全都道府県、本報告書)は、概要版も含めて、厚生労働省ホームページの子ども医療 電話相談事業(#8000)についての項目に掲載した。

https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/10/tp1010-3.html

都道府県版(各都道府県の集計結果)は、日本小児科医会ホームページの#8000・家庭看護力 醸成サイトに掲載した。

https://www.jpa-web.org/sharp8000.html

# Ⅲ. 全調査都道府県の集計結果

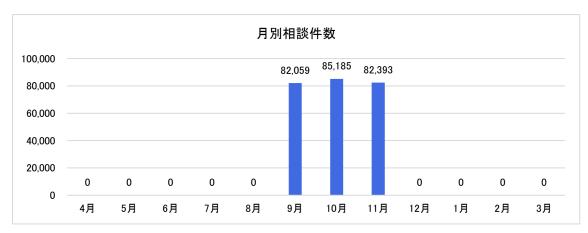
今年度は令和4年9月~11月の3か月間、91日間を対象に調査を行い、総相談件数249、637件分のデータを収集した。

Ⅲ-1. 月別相談件数

【全国】

	4 月	5 月	6 月	7月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月	計
相談件数	-	ı	ı	ı	-	82,059	85,185	82,393	ı	ı	-	ı	249,637

※ 2022 年 9 月~2022 年 11 月に調査して 249,637 件のデータを収集した。前年度同時期(179,280 件)の 1.39 倍に増加した。



※ 2022 年 9 月~2022 年 11 月に調査して 249,637 件のデータを収集した。

# Ⅲ-2. 小児医療圈別年少人口対、小児科医師·小児外科医師対相談件数、小児医療圏別相談件数 件数

43 道府県で小児医療圏のデータが得られた。東京都23 区、神奈川県横浜市・川崎市で小児 医療圏のデータが得られなかった。都道府県別小児医療圏別小児医療圏別相談件数(令和4年 9月~令和4年11月の1か月平均、栃木県のみ10~11月)を以下に示す。

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)	小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	01201	南渡島	283	94	44	0	44	34,207	2.8	2.1	2.1
	01202	南檜山	4	1	1	0	1	1,647	0.8	1.3	1.3
	01203	北渡島檜山	6	2	2	0	2	2,892	0.7	1.0	1.0
	01204	札幌	2,308	769	346	14	360	264,109	2.9	2.2	2.1
	01205	後志	83	28	18	0	18	18,023	1.5	1.5	1.5
	01206	南空知	76	25	12	0	12	13,489	1.9	2.1	2.1
	01207	中空知	23	8	9	0	9	8,513	0.9	0.9	0.9
	01208	北空知	7	2	2	0	2	2,426	1.0	1.2	1.2
	01209	西胆振	80	27	17	0	17	16,665	1.6	1.6	1.6
	01210	東胆振	135	45	18	0	18	23,264	1.9	2.5	2.5
	01211	日高	19	6	4	0	4	6,652	1.0	1.6	1.6
北海道	01212	上川中部	244	81	78	3	81	40,021	2.0	1.0	1.0
北/母坦	01213	上川北部	22	7	8	0	8	5,845	1.3	0.9	0.9
	01214	富良野	15	5	5	0	5	4,206	1.2	1.0	1.0
	01215	留萌	13	4	2	0	2	3,858	1.1	2.2	2.:
	01216	宗谷	28	9	5	0	5	6,141	1.5	1.9	1.9
	01217	北網	85	28	21	0	21	21,454	1.3	1.3	1.3
	01218	遠紋	28	9	6	0	6	6,222	1.5	1.6	1.
	01219	十勝	247	82	23	7	30	37,839	2.2	3.6	2.
	01220	釧路	122	41	21	0	21	21,924	1.9	1.9	1.9
	01221	根室	43	14	6	0	6	8,135	1.8	2.4	2.4
	99999	医療圏未記入	462	154							
		計	4,333	1,444	648	24	672	547,532	2.6	2.2	2.1
	医療圏最大と最	小の較差(倍)	_	-	-	_	-	_	4.1	4.0	3.0

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	02201	津軽地域	456	152	56	2	58	28,325	5.4	2.7	2.6
	02202	八戸地域	550	183	25	2	27	34,223	5.4	7.3	6.8
	02203	青森地域	781	260	36	0	36	30,467	8.5	7.2	7.2
	02204	西北五地域	159	53	7	0	7	10,765	4.9	7.6	7.6
青森県	02205	上十三地域	235	78	13	1	14	18,205	4.3	6.0	5.6
	02206	下北地域	83	28	8	0	8	6,932	4.0	3.5	3.5
	99999	医療圏未記入	5	2							
		計	2,269	756	145	5	150	128,917	5.9	5.2	5.0
	医療圏最大と最/	トの較差(倍)	_	_	_	-	_	_	2.1	2.8	2.9

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	03201	盛岡	531	177	81	3	84	54,103	3.3	2.2	2.1
	03202	岩手中部	178	59	19	0	19	23,985	2.5	3.1	3.1
	03203	胆江	95	32	7	0	7	14,095	2.2	4.5	4.5
		両磐	89	30	8	0	8	11,909	2.5	3.7	3.7
	03205	気仙	26	9	8	0	8	5,184	1.7	1.1	1.1
岩手県	03206	釜石	14	5	2	0	2	3,953	1.2	2.3	2.3
石丁朱	03207	宮古	38	13	5	0	5	7,127	1.8	2.5	2.5
	03208	久慈	21	7	4	0	4	5,524	1.3	1.8	1.8
	03209	二戸	15	5	5	0	5	4,578	1.1	1.0	1.0
	99999	医療圏未記入	49	16							
		計	1,056	352	139	3	142	130,458	2.7	2.5	2.5
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	3.0	4.5	4.5

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)				小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	04201	仙南	102	34	11	0	11	17,308	2.0	3.1	3.1
	04202	仙台	1,478	493	238	21	259	187,370	2.6	2.1	1.9
	04203	大崎·栗原	136	45	16	0	16	27,633	1.6	2.8	2.8
宮城県	04204	石巻・登米・気化	139	46	24	1	25	33,990	1.4	1.9	1.9
	99999	医療圏未記入	5	2							
		計	1,860	620	289	22	311	266,301	2.3	2.1	2.0
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.9	1.6	1.6

# ※ 地元事業者データを収集できなかった。

	小児医療圏		相談件数(件)	#日言水 #仕 #b( #仕 )	小児科医師数	小旧机制库師	2科会計医師	年少人口	年少人口1,000人に		小児科または小外
都道府県名	番号	小児医療圏名	3か月	1か月	(人)	数(人)	数(人)	(人)	対する相談件数(1	対する相談件数(1	科医師1人に対する
	借写		3/J/H	אימו	(人)	数(人)	奴(人)	()	か月)	か月)	相談件数(1か月)
	05201	大館・鹿角	29	10	7	0	7	9,430	1.0	1.4	1.4
	05202	北秋田	5	2	2	0	2	2,432	0.7	0.8	0.8
	05203	能代・山本	35	12	6	0	6	5,888	2.0	1.9	1.9
	05204	秋田周辺	503	168	76	9	85	39,208	4.3	(1 対する相談件数(1 か月) 0 1.4 7 0.8 0 1.9 3 2.2 4 2.6 0 2.8 5 2.3 1 3.4 0 2.3	2.0
	05205	由利本荘・にかり	69	23	9	0	9	9,389	2.4	2.6	2.6
秋田県	05206	大仙・仙北	66	22	8	0	8	11,161	2.0	2.8	2.8
	05207	横手	62	21	9	0	9	8,197	2.5	2.3	2.3
	05208	湯沢·雄勝	31	10	3	0	3	4,921	2.1	3.4	3.4
	99999	医療圏未記入	25	8							
		計	825	275	120	9	129	90,626	3.0	2.3	2.1
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	6.1	4.3	4.3

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)			小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	06201	村山	678	226	89	4	93	61,278	3.7	2.5	2.4
	06202	最上	49	16	6	0	6	7,168	2.3	2.7	2.7
	06203	置賜	169	56	21	0	21	21,382	2.6	2.7	2.7
山形県	06204	庄内	158	53	24	3	27	27,337	1.9	2.2	2.0
	99999	医療圏未記入									
		計	1,054	351	140	7	147	117,165	3.0	2.5	2.4
	医療圏最大と最/	トの較差(倍)	-	_	-	_	-	_	1.9	1.2	1.4

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	07201	県北	985	328	86	4	90	50,045	6.6	3.8	3.6
	07202	県中	1,210	403	66	4	70	60,703	6.6	6.1	5.8
	07203	県南	191	64	11	0	11	16,478	3.9	5.8	5.8
	07204	相双	125	42	8	0	8	16,403	2.5	5.2	5.2
福島県	07205	いわき	445	148	19	0	19	35,773	4.1	7.8	7.8
	07206	会津・南会津	293	98	19	0	19	27,554	3.5	5.1	5.1
	99999	医療圏未記入									
		計	3,249	1,083	209	8	217	206,956	5.2	5.2	5.0
	医療圏最大と最小	小の較差(倍)	-						2.6	2.1	2.2

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	08201	日立地域	712	237	12	0	12	24,004	9.9	19.8	19.8
	08202	県央·県北地域	4,921	1,640	96	9	105	88,847	18.5	17.1	15.6
	08203	土浦広域地域	1,963	654	45	4	49	40,400	16.2	14.5	13.4
	08204	鹿行南部地域	674	225	13	0	13	23,082	9.7	17.3	17.3
	08205	稲敷地域	1,455	485	17	0	17	29,974	16.2	28.5	28.5
茨城県	08206	常総地域	1,633	544	25	2	27	37,194	14.6	21.8	20.2
	08207	茨城西南地域	1,385	462	22	0	22	32,854	14.1	21.0	21.0
	08208	つくば市・筑西地	2,558	853	86	15	101	59,298	14.4	9.9	8.4
	99999	医療圏未記入	908	303							
		計	16,209	5,403	316	30	346	335,653	16.1	17.1	15.6
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.9	2.9	3.4

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	09201		1,297	432	50	3	53	74,180	5.8	8.6	8.2
	09202	那須・塩谷・南那	753	251	40	2	42	41,416	6.1	6.3	6.0
	09203	芳賀	190	63	17	1	18	16,585	3.8	3.7	3.5
	09204	小山	676	225	74	7	81	35,341	6.4	3.0	2.8
栃木県	09205	鹿沼·栃木	511	170	48	4	52	32,574	5.2	3.5	3.3
	09206	両毛	421	140	34	0	34	27,521	5.1	4.1	4.1
	99999	医療圏未記入	55	18							
		計	3,903	1,301	263	17	280	227,617	5.7	4.9	4.6
	医療圏最大と最小	トの較差(倍)	-	-	_	-	-	-	1.7	2.9	2.9

# ※ 10 月から参加した。

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)			小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	10201	西毛	1,613	538	64	0	64	64,189	8.4	8.4	8.4
	10202	東毛	1,275	425	55	2	57	64,910	6.5	7.7	7.5
	10203	中毛	766	255	25	0	25	31,315	8.2	10.2	10.2
群馬県	10204	北毛	1,503	501	133	9	142	64,106	7.8	3.8	3.5
	99999	医療圏未記入	7	2							
		計	5,164	1,721	277	11	288	224,520	7.7	6.2	6.0
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.3	2.7	2.9

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)	小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	11201	児玉	402	134	4	0	4	14,848	9.0	33.5	33.5
	11202	熊谷·深谷	1,424	475	33	2	35	49,265	9.6	14.4	13.6
	11203	東部北	1,699	566	49	0	49	60,732	9.3	11.6	11.6
	11204	東部南	3,948	1,316	106	10	116	139,377	9.4	12.4	11.3
	11205	川口	2,036	679	55	1	56	72,847	9.3	12.3	12.1
	11206	さいたま市	5,111	1,704	252	16	268	172,352	9.9	6.8	6.4
		中央	2,079	693	33	1	34	60,995	11.4	21.0	20.4
	11208	戸田・蕨	880	293	24	0	24	28,205	10.4	12.2	12.2
埼玉県	11209	朝霞	1,837	612	51	2	53	61,432	10.0	12.0	11.6
		川越	1,970	657	101	8	109	76,907	8.5	6.5	6.0
		所沢	2,221	740	63	0	63	70,785	10.5	11.8	11.8
		坂戸·飯能	947	316	61	8	69	38,090	8.3	5.2	4.6
		比企	513	171	11	0	11	19,942	8.6	15.5	15.5
	11214	秩父	149	50	7	0	7	9,802	5.1	7.1	7.1
	99999	医療圏未記入	3,507	1,169							
		計	28,723	9,574	850	48	898	875,579	10.9	11.3	10.7
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	_	2.2	6.4	7.3

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	12201	千葉	2,201	734	183	19	202	113,059	6.5	4.0	3.6
	12202	東葛南部	3,501	1,167	179	14	193	219,466	5.3	6.5	6.0
	12203	東葛北部	2,615	872	141	6	147	176,012	5.0	6.2	5.9
	12204	印旛	1,197	399	98	3	101	88,870	4.5	4.1	4.0
	12205	香取海匝	223	74	26	0	26	24,176	3.1	2.9	2.9
千葉県	12206	山武長生夷隅	552	184	21	2	23	38,597	4.8	8.8	8.0
1 * * * *	12207	安房	282	94	14	1	15	10,477	9.0	6.7	6.3
	12208	君津	654	218	18	2	20	38,056	5.7	12.1	10.9
	12209	市原	307	102	23	0	23	29,985	3.4	4.4	4.4
	99999	医療圏未記入	111	37							
		計	11,643	3,881	703	47	750	738,698	5.3	5.5	5.2
	医療圏最大と最/	トの較差(倍)	-	_	_	-	-	-	2.9	4.2	3.8

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	13201 • 13202 • 13203	23区	28,039	9,346	1,924	110	2,034	1,069,920	8.7	4.9	4.6
	13204 • 13205	多摩・島しょ	10,200	3,400	680	15	695	511,177	6.7	5.0	4.9
東京都	99999	医療圏未記入	1,130	377							
		計	39,369	13,123	2,604	125	2,729	1,581,097	8.3	5.0	4.8
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.3	1.0	1.1

# ※ 23 区内、区外のデータのみで、小児医療圏のデータは得られなかった

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)	小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	14201 - 14202	川崎北部·南部	2,481	827	219	11	230	189,932	4.4	3.8	3.6
	14203 • 14204 • 14205	横浜北部·西部	2,521	840	530	23	553	443,662	1.9	1.6	1.5
	14206	三浦半島	462	154	47	3	50	54,936	2.8	3.3	3.1
	14207	鎌倉	0	0	23	0	23	19,813	0.0	0.0	0.0
	14208	東湘	645	215	90	1	91	95,373	2.3	2.4	2.4
	14209	県央	0	0	53	1	54	73,309	0.0	0.0	0.0
神奈川県	14210	平塚・中郡	0	0	34	0	34	35,363	0.0	0.0	0.0
1425/125	14211	西湘	0	0	32	0	32	35,079	0.0	0.0	0.0
	14212	秦野•伊勢原	0	0	46	4	50	28,941	0.0	0.0	0.0
	14213	厚木	0	0	23	0	23	30,388	0.0	0.0	0.0
	14214	相模原	1,026	342	90	6	96	82,951	4.1	3.8	3.6
[	99999	医療圏未記入	3,913	1,304							
[		計	11,048	3,683	1,187	49	1,236	1,089,747	3.4	3.1	3.0
	医療圏最大と最小	∿の較差(倍)	-	-	-	-	-	_	2.3	2.4	2.4

# ※ 川崎市、横浜市の小児医療圏のデータは得られなかった。

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	15201	下越	168	56	21	0	21	21,791	2.6	2.7	2.7
	15202	新潟	946	315	130	13	143	101,160	3.1	2.4	2.2
	15203	県央	215	72	23	0	23	23,285	3.1	3.1	3.1
	15204	中越	382	127	55	2	57	47,905	2.7	2.3	2.2
新潟県	15205	魚沼	81	27	14	0	14	16,399	1.6	1.9	1.9
利何尔	15206	上越	187	62	21	2	23	28,308	2.2	3.0	2.7
	15207	佐渡	17	6	5	0	5	4,979	1.1	1.1	1.1
	99999	医療圏未記入	3	1							
		計	1,999	666	269	17	286	243,827	2.7	2.5	2.3
	医療圏最大と最小	トの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	2.8	2.8	2.8

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)			小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	16201	新川	150	50	9	0	9	11,851	4.2	5.6	5.6
	16202	富山	1,086	362	94	3	97	57,049	6.3	3.9	3.7
	16203	高岡	638	213	38	0	38	32,951	6.5	5.6	5.6
富山県	16204	砺波	197	66	13	1	14	13,391	4.9	5.1	4.7
	99999	医療圏未記入	36	12							
		計	2,107	702	154	4	158	115,242	6.1	4.6	4.4
	医療圏最大と最小	いの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.5	1.4	1.5

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)			小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	17201	南加賀	410	137	23	0	23	28,046	4.9	5.9	5.9
	17202	石川中央	1,659	553	141	12	153	92,695	6.0	3.9	3.6
	17203	能登中部	86	29	15	1	16	11,247	2.5	1.9	1.8
石川県	17204	能登北部	15	5	4	0	4	4,382	1.1	1.3	1.3
	99999	医療圏未記入	1	0							
		計	2,171	724	183	13	196	136,370	5.3	4.0	3.7
	医療圏最大と最小	卜の較差(倍)	-	-	-		-	-	5.5	4.5	4.5

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	18201	嶺北	494	165	106	1	107	78,165	2.1	1.6	1.5
	18202	嶺南	78	26	16	0	16	16,630	1.6	1.6	1.6
福井県	99999	医療圏未記入	3	1							
		計	575	192	122	1	123	94,795	2.0	1.6	1.6
	医療圏最大と最小	の較差(倍)	-	-	-	-	_	_	1.3	1.0	1.1

<sup>※</sup> 地元事業者データを収集できなかった。

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	20201	佐久	312	104	24	1	25	24,792	4.2	4.3	4.2
	20202	上小	261	87	19	0	19	22,828	3.8	4.6	4.6
	20203	諏訪	235	78	25	0	25	22,339	3.5	3.1	3.1
	20204	上伊那	219	73	16	1	17	22,164	3.3	4.6	4.3
	20205	飯伊	189	63	13	0	13	19,252	3.3	4.8	4.8
	20206	木曽	10	3	2	0	2	2,215	1.5	1.7	1.7
長野県	20207	松本	617	206	132	7	139	51,505	4.0	1.6	1.5
	20208	大北	64	21	5	0	5	5,579	3.8	4.3	4.3
	20209	長野	736	245	60	1	61	62,971	3.9	4.1	4.0
	20210	北信	73	24	7	0	7	8,952	2.7	3.5	3.5
	99999	医療圏未記入	3	1							
		計	2,719	906	303	10	313	242,597	3.7	3.0	2.9
	医療圏最大と最/	トの較差(倍)	-	-	-	-	-		2.8	3.0	3.2

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)		小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	21201	岐阜圏域	1,773	591	179	8	187	145,487	4.1	3.3	3.2
	21202	西濃	415	138	36	0	36	42,350	3.3	3.8	3.8
	21203	東濃	372	124	36	0	36	37,031	3.3	3.4	3.4
岐阜県	21204	飛騨	150	50	14	0	14	16,003	3.1	3.6	3.6
	99999	医療圏未記入	2	1							
		計	2,712	904	265	8	273	240,871	3.8	3.4	3.3
	医療圏最大と最小	トの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.3	1.2	1.2

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)	小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	22201	賀茂	89	30	4	0	4	4,428	6.7	7.4	7.4
	22206	富士	799	266	35	0	35	45,756	5.8	7.6	7.6
	22209	志太榛原	1,231	410	47	0	47	55,081	7.4	8.7	8.7
	22210	中東遠	1,399	466	37	0	37	61,764	7.6	12.6	12.6
	22213	熱海伊東	107	36	7	0	7	7,353	4.9	5.1	5.1
静岡県	22214	駿東田方	1,341	447	71	2	73	74,355	6.0	6.3	6.1
	22215	静岡	2,178	726	104	6	110	77,144	9.4	7.0	6.6
	22216	西部	2,799	933	129	6	135	107,493	8.7	7.2	6.9
	99999	医療圏未記入	285	95							
		計	10,228	3,409	434	14	448	433,374	7.9	7.9	7.6
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	-	-	1		1	-	1.9	2.5	2.5

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	23202	海部	415	138	20	0	20	40,536	3.4	6.9	6.9
	23204	尾張東部	745	248	100	11	111	68,131	3.6	2.5	2.2
	23205	尾張西部	580	193	59	0	59	65,948	2.9	3.3	3.3
	23206	尾張北部	1,065	355	76	4	80	95,452	3.7	4.7	4.4
	23207	知多半島	819	273	92	6	98	86,033	3.2	3.0	2.8
	23208	西三河北部	245	82	36	1	37	63,646	1.3	2.3	2.2
愛知県	23209	西三河南部西	993	331	63	2	65	99,165	3.3	5.3	5.1
麦加尔	23210	西三河南部東	721	240	45	0	45	60,645	4.0	5.3	5.3
	23211	東三河北部	33	11	2	0	2	5,259	2.1	5.5	5.5
	23212	東三河南部	841	280	71	0	71	90,074	3.1	3.9	3.9
	23213	名古屋・尾張中	3,070	1,023	399	18	417	304,565	3.4	2.6	2.5
	99999	医療圏未記入	809	270							
		計	10,336	3,445	963	42	1,005	979,454	3.5	3.6	3.4
	医療圏最大と最小	の較差(倍)		-	-	ı	-	-	3.1	3.0	3.1

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)		小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	24201	北勢	1,298	433	83	1	84	106,982	4.0	5.2	5.2
	24202	中勢伊賀	479	160	99	6	105	51,138	3.1	1.6	1.5
	24203	南勢志摩	505	168	46	1	47	48,676	3.5	3.7	3.6
三重県	24204	東紀州	41	14	4	0	4	5,920	2.3	3.4	3.4
	99999	医療圏未記入	2	1							
		計	2,325	775	232	8	240	212,716	3.6	3.3	3.2
	医療圏最大と最小	トの較差(倍)	-	-	-	_	-	-	1.7	3.3	3.5

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	25203	東近江	590	197	31	5	36	30,474	6.5	6.3	5.5
	25205	大津	930	310	86	3	89	45,876	6.8	3.6	3.5
	25206	湖西	63	21	7	0	7	4,860	4.3	3.0	3.0
	25207	湖南	1,138	379	67	2	69	52,409	7.2	5.7	5.5
滋賀県	25208	甲賀	346	115	12	0	12	18,360	6.3	9.6	9.6
瓜貝尔	25209	湖東	350	117	14	0	14	20,931	5.6	8.3	8.3
	25210	湖北	324	108	23	0	23	19,556	5.5	4.7	4.7
	99999	医療圏未記入	4	1							
		計	3,745	1,248	240	10	250	192,466	6.5	5.2	5.0
	医療圏最大と最小	いの較差(倍)	-	-	-	-	_	-	1.7	3.2	3.2

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	26201	丹後	71	24	11	0	11	9,566	2.5	2.2	2.2
	26202	中丹	248	83	32	1	33	23,085	3.6	2.6	2.5
	26203	南丹	144	48	18	2	20	15,042	3.2	2.7	2.4
	26204	京都•乙訓	2,656	885	316	22	338	174,944	5.1	2.8	2.6
京都府	26205	山城北	559	186	66	2	68	52,340	3.6	2.8	2.7
	26206	山城南	223	74	17	1	18	18,402	4.0	4.4	4.1
	99999	医療圏未記入	6	2							
		計	3,907	1,302	460	28	488	293,379	4.4	2.8	2.7
	医療圏最大と最/	トの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	2.0	2.0	1.9

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	27201	豊能	2,537	846	197	17	214	143,879	5.9	4.3	4.0
	27202	三島	1,502	501	128	6	134	97,483	5.1	3.9	3.7
	27203	北河内	2,240	747	120	4	124	131,985	5.7	6.2	6.0
	27204	中河内	1,511	504	75	4	79	92,198	5.5	6.7	6.4
	27205	南河内	859	286	96	2	98	66,466	4.3	3.0	2.9
大阪府	27206	堺市	1,559	520	108	0	108	102,058	5.1	4.8	4.8
	27207	泉州	1,766	589	151	10	161	108,910	5.4	3.9	3.7
	27208	大阪市	5,009	1,670	442	25	467	296,350	5.6	3.8	3.6
	99999	医療圏未記入	292	97							
		計	17,275	5,758	1,317	68	1,385	1,039,329	5.5	4.4	4.2
	医療圏最大と最小	への較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.4	2.2	2.2

	小児医療圏		相談件数(件)	相談件数(件)	小児科医師数	小児外科医師	2科合計医師	年少人口	年少人口1,000人に		
都道府県名	番号	小児医療圏名	3か月	1か月	(人)	数(人)	数(人)	(人)	対する相談件数(1		科医師1人に対する
					(74)	34 (7 (7			か月)	か月)	相談件数(1か月)
	28201	神戸·三田	2,579	860	333	21	354	192,683	4.5	2.6	2.4
	28202	阪神	2,899	966	264	11	275	208,087	4.6	3.7	3.5
	28203	東播磨	1,835	612	85	4	89	94,760	6.5	7.2	6.9
	28204	北播磨	522	174	32	1	33	30,255	5.8	5.4	5.3
	28205	播磨姫路	1,353	451	90	5	95	102,126	4.4	5.0	4.7
兵庫県	28206	但馬	206	69	20	0	20	17,799	3.9	3.4	3.4
	28207	丹波	109	36	12	0	12	11,859	3.1	3.0	3.0
	28208	淡路	147	49	18	0	18	14,085	3.5	2.7	2.7
	99999	医療圏未記入	9	3							
		計	9,659	3,220	854	42	896	671,654	4.8	3.8	3.6
	医療圏最大と最小	<b>いの</b> 較差(倍)	-		_				2.1	2.8	2.9

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)		小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	29201	奈良	1,067	356	52	0	52	39,741	8.9	6.8	6.8
	29202	東和	557	186	28	0	28	22,048	8.4	6.6	6.6
	29203	西和	1,156	385	30	3	33	41,206	9.4	12.8	11.7
奈良県	29204	中和	1,362	454	60	4	64	45,848	9.9	7.6	7.1
宗及宗	29205	南和	185	62	3	0	3	5,225	11.8	20.6	20.6
	99999	医療圏未記入	25	8							
		計	4,352	1,451	173	7	180	154,068	9.4	8.4	8.1
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	ı	-	-	-	-	-	1.4	3.1	3.1

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	30201	和歌山	1,044	348	74	3	77	48,036	7.2	4.7	4.5
	30202	那賀	295	98	19	0	19	13,907	7.1	5.2	5.2
	30203	橋本	191	64	7	0	7	8,811	7.2	9.1	9.1
	30204	有田	140	47	4	0	4	7,859	5.9	11.7	11.7
和歌山県	30205	御坊	115	38	10	0	10	6,718	5.7	3.8	3.8
和歌四朱	30206	田辺	173	58	19	0	19	13,646	4.2	3.0	3.0
	30207	新宮	49	16	10	0	10	5,847	2.8	1.6	1.6
	99999	医療圏未記入	7	2							
		計	2,014	671	143	3	146	104,824	6.4	4.7	4.6
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	2.6	7.3	7.3

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)		年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	31201	東部	388	129	38	0	38	27,228	4.8	3.4	3.4
	31202	中部	116	39	15	0	15	12,255	3.2	2.6	2.6
鳥取県	31203	西部	415	138	72	2	74	28,472	4.9	1.9	1.9
馬取乐	99999	医療圏未記入	2	1							
		計	921	307	125	2	127	67,955	4.5	2.5	2.4
	医療圏最大と最小	の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.5	1.8	1.8

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	32201	松江	582	194	37	0	37	30,141	6.4	5.2	5.2
	32202	雲南	59	20	4	0	4	5,507	3.6	4.9	4.9
	32203	出雲	528	176	36	4	40	23,646	7.4	4.9	4.4
	32204	大田	55	18	4	0	4	5,435	3.4	4.6	4.6
島根県	32205	浜田	97	32	10	0	10	8,059	4.0	3.2	3.2
西北木	32206	益田	71	24	5	0	5	6,419	3.7	4.7	4.7
	32207	隠岐	8	3	1	0	1	2,079	1.3	2.7	2.7
	99999	医療圏未記入	5	2							
		計	1,405	468	97	4	101	81,286	5.8	4.8	4.6
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	_	5.7	1.9	1.9

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	33201	県南東部	1,790	597	177	10	187	112,394	5.3	3.4	3.2
	33202	県南西部	912	304	117	8	125	91,566	3.3	2.6	2.4
	33203	高梁·新見	37	12	6	0	6	4,983	2.5	2.1	2.1
岡山県	33204	真庭	40	13	2	0	2	4,858	2.7	6.7	6.7
岡田朱	33205	津山·英田	181	60	21	0	21	20,820	2.9	2.9	2.9
	99999	医療圏未記入	1	0							
		計	2,961	987	323	18	341	234,621	4.2	3.1	2.9
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	-	-	-	-	_	-	2.1	3.2	3.2

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	34201	広島	3,086	1,029	203	12	215	179,258	5.7	5.1	4.8
	34202	広島西	247	82	28	0	28	17,987	4.6	2.9	2.9
	34203	呉	257	86	30	0	30	23,973	3.6	2.9	2.9
	34204	広島中央	414	138	25	0	25	29,546	4.7	5.5	5.5
広島県	34205	尾三	276	92	25	1	26	25,716	3.6	3.7	3.5
ム西木	34206	福山·府中	1,069	356	53	4	57	64,959	5.5	6.7	6.3
	34207	備北	65	22	9	0	9	9,183	2.4	2.4	2.4
	99999	医療圏未記入	8	3							
		計	5,422	1,807	373	17	390	350,622	5.2	4.8	4.6
	医療圏最大と最小	トの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	2.4	2.8	2.6

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)	小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	35201	岩国	199	66	17	0	17	15,569	4.3	3.9	3.9
	35202	柳井、周南	527	176	35	0	35	36,228	4.8	5.0	5.0
	35203	山口·防府、萩	717	239	46	3	49	42,757	5.6	5.2	4.9
山口県	35204	宇部·小野田	364	121	53	2	55	27,781	4.4	2.3	2.2
山口宗	35205	下関、長門	373	124	32	1	33	30,703	4.0	3.9	3.8
	99999	医療圏未記入	3	1							
		計	2,183	728	183	6	189	153,038	4.8	4.0	3.9
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	1.4	2.3	2.3

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	36201	東部	1,802	601	80	1	81	60,187	10.0	7.5	7.4
	36202	南部	311	104	25	0	25	14,131	7.3	4.1	4.1
徳島県	36203	西部	77	26	6	0	6	6,687	3.8	4.3	4.3
他与乐	99999	医療圏未記入	1	0							
		計	2,191	730	111	1	112	81,005	9.0	6.6	6.5
	医療圏最大と最小	への較差(倍)		-	1	-	-	-	2.6	1.8	1.8

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)			小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	37201	大川	109	36	6	0	6	6.812	5.3	6.1	6.1
	37202	小豆	19	6	3	0	3	2,454	2.6	2.1	2.1
	37203	高松	1,684	561	82	5	87	58,422	9.6	6.8	6.5
香川県	37204	中讃	638	213	48	4	52	34,965	6.1	4.4	4.1
省川県	37205	三豊	204	68	12	0	12	13,643	5.0	5.7	5.7
	99999	医療圏未記入	41	14							
		計	2,695	898	151	9	160	116,296	7.7	5.9	5.6
	医療圏最大と最/	小の較差(倍)	-	-	-	-	-	-	3.7	3.2	3.1

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)			小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	38201	宇摩、新居浜·西	427	142	29	1	30	36,683	3.9	4.9	4.7
	38202	今治	188	63	20	0	20	17,034	3.7	3.1	3.1
	38203	松山、八幡浜・ス	1,601	534	130	5	135	91,675	5.8	4.1	4.0
愛媛県	38204	宇和島	71	24	13	0	13	9,623	2.5	1.8	1.8
	99999	医療圏未記入									
		計	2,287	762	192	6	198	155,015	4.9	4.0	3.9
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	-	-	-	-	_	-	2.3	2.7	2.6

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)		小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	39201	安芸	31	10	3	0	3	3,647	2.8	3.4	3.4
	39202	中央	831	277	84	2	86	58,740	4.7	3.3	3.2
	39203	高幡	45	15	4	0	4	4,669	3.2	3.8	3.8
高知県	39204	幡多	30	10	13	0	13	7,745	1.3	0.8	0.8
	99999	医療圏未記入	12	4							
		計	949	316	104	2	106	74,801	4.2	3.0	3.0
	医療圏最大と最小	トの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	3.6	4.8	4.8

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)			小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	41201	中部+東部	796	265	84	4	88	63,709	4.2	3.2	3.0
	41202	北部+西部	149	50	18	0	18	25,919	1.9	2.8	2.8
佐賀県	41203	南部	122	41	18	0	18	18,889	2.2	2.3	2.3
1在貝宗	99999	医療圏未記入	883	294							
		計	1,950	650	120	4	124	108,517	6.0	5.4	5.2
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	-	-	-	1	-	-	2.2	1.4	1.3

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)	小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	42201	長崎	1,398	466	93	4	97	59,599	7.8	5.0	4.8
	42202	佐世保県北	722	241	34	0	34	39,674	6.1	7.1	7.1
	42203	県央	549	183	72	1	73	37,738	4.8	2.5	2.5
	42204	県南	142	47	5	0	5	14,890	3.2	9.5	9.5
	42205	五島	33	11	3	0	3	3,565	3.1	3.7	3.7
長崎県	42206	上五島	4	1	2	0	2	1,747	0.8	0.7	0.7
	42207	壱岐	11	4	4	0	4	3,139	1.2	0.9	0.9
	42208	対馬	13	4	4	0	4	3,239	1.3	1.1	1.1
	99999	医療圏未記入	1	0							
		計	2,873	958	217	5	222	163,591	5.9	4.4	4.3
	医療圏最大と最小	いの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	9.8	13.6	13.6

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	43201	有明·鹿本圏域	498	166	14	0	14	24,579	6.8	11.9	11.9
	43202	熊本中央圏域	3,604	1,201	176	17	193	132,166	9.1	6.8	6.2
	43203	菊池圏域	750	250	17	1	18	31,350	8.0	14.7	13.9
	43204	八代圏域	212	71	12	3	15	15,988	4.4	5.9	4.7
熊本県	43205	天草圏域	129	43	15	0	15	11,356	3.8	2.9	2.9
照本示	43206	芦北圏域	26	9	19	0	19	4,561	1.9	0.5	0.5
	43207	球磨圏域	81	27	10	1	11	9,949	2.7	2.7	2.5
	99999	医療圏未記入	36	12							
		計	5,336	1,779	263	22	285	229,949	7.7	6.8	6.2
	医療圏最大と最小	トの較差(倍)	-	-	-	-	-		4.8	29.4	27.8

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	44201	東部	340	113	34	2	36	21,424	5.3	3.3	3.1
	44202	中部	1,787	596	104	6	110	73,315	8.1	5.7	5.4
	44203	南部	50	17	5	0	5	6,816	2.4	3.3	3.3
	44204	豊肥	59	20	5	0	5	4,988	3.9	3.9	3.9
大分県	44205	西部	115	38	5	0	5	10,041	3.8	7.7	7.7
	44206	北部	251	84	17	1	18	19,618	4.3	4.9	4.6
	99999	医療圏未記入	5	2							
		計	2,607	869	170	9	179	136,202	6.4	5.1	4.9
	医療圏最大と最小	の較差(倍)	-	-	ı	-	-	-	3.4	2.3	2.5

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	45201	県央	982	327	84	4	88	70,138	4.7	3.9	3.7
	45202	県西	352	117	25	1	26	34,920	3.4	4.7	4.5
	45203	県北	216	72	20	0	20	27,879	2.6	3.6	3.6
宮崎県	45204	県南	38	13	10	0	10	7,785	1.6	1.3	1.3
	99999	医療圏未記入	1	0							
		計	1,589	530	139	5	144	140,722	3.8	3.8	3.7
	医療圏最大と最小	<b>いの</b> 較差(倍)	-	-	-	-	-	-	2.9	3.6	3.5

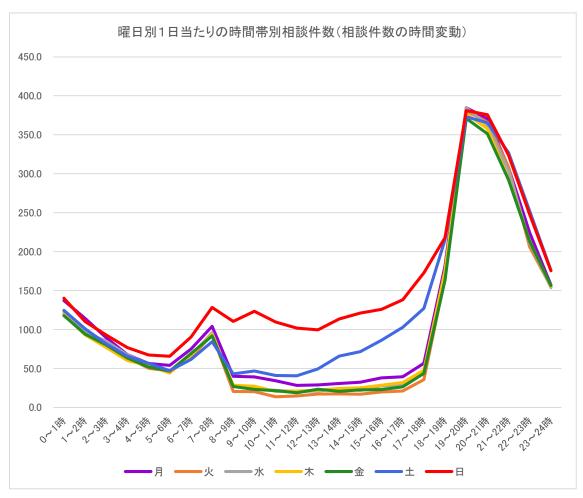
都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)	年少人口1,000人に 対する相談件数(1 か月)		小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	46201	薩摩	1,482	494	132	18	150	105,107	4.7	3.7	3.3
	46202	北薩	248	83	17	1	18	25,194	3.3	4.9	4.6
	46203	姶良•伊佐	436	145	30	2	32	32,555	4.5	4.8	4.5
	46204	大隅	219	73	14	1	15	29,179	2.5	5.2	4.9
鹿児島県	46205	熊毛	7	2	4	0	4	4,929	0.5	0.6	0.6
	46206	奄美	72	24	5	2	7	14,435	1.7	4.8	3.4
	99999	医療圏未記入	39	13							
		計	2,503	834	202	24	226	211,399	3.9	4.1	3.7
	医療圏最大と最/	トの較差(倍)	-	-	-	-	-	-	9.4	8.7	8.2

都道府県名	小児医療圏 番号	小児医療圏名	相談件数(件) 3か月	相談件数(件) 1か月	小児科医師数 (人)	小児外科医師 数(人)	2科合計医師 数(人)	年少人口 (人)		小児科医師1人に 対する相談件数(1 か月)	小児科または小外 科医師1人に対する 相談件数(1か月)
	47201	北部	322	107	15	1	16	16,149	6.6	7.2	6.7
	47202	中部	1,645	548	64	0	64	89,302	6.1	8.6	8.6
	47203	南部	2,707	902	153	6	159	123,549	7.3	5.9	5.7
沖縄県	47204	宮古	134	45	5	0	5	8,600	5.2	8.9	8.9
/下祀木	47205	八重山	98	33	7	0	7	9,460	3.5	4.7	4.7
	99999	医療圏未記入	30	10							
		計	4,936	1,645	244	7	251	247,060	6.7	6.7	6.6
	医療圏最大と最小	∖の較差(倍)	-	-	-	-	_	-	2.1	1.9	1.9

Ⅲ-3. 曜日別1日当たりの時間帯別相談件数(相談件数の時間変動) 【全国】

時間帯	月	火	水	木	金	土	日	計	割合
0~1 時	137.2	123.6	120.6	119.2	117.9	124.7	140.2	126.2	4.6%
1~2 時	114.3	100.2	96.4	93.2	94.3	100.9	110.3	101.4	3.7%
2~3 時	89.5	82.4	85.1	77.0	80.3	81.7	92.9	84.1	3.1%
3~4 時	67.8	64.2	67.4	60.2	63.3	65.7	76.7	66.5	2.4%
4~5 時	56.4	50.2	55.7	53.5	51.9	56.7	67.2	55.9	2.0%
5~6 時	54.0	46.8	46.8	44.0	46.5	47.1	65.8	50.2	1.8%
6~7 時	75.0	64.5	66.7	67.0	69.2	61.5	90.2	70.6	2.6%
7~8 時	104.0	93.3	95.9	93.8	91.7	84.4	128.4	98.8	3.6%
8~9 時	39.9	20.5	27.5	28.5	26.8	43.1	110.5	42.4	1.5%
9~10 時	39.2	20.3	23.8	27.3	23.1	46.8	123.5	43.4	1.6%
10~11 時	34.3	13.8	21.8	20.6	21.5	40.9	109.7	37.5	1.4%
11~12 時	28.5	14.6	20.5	21.2	18.8	40.7	101.8	35.2	1.3%
12~13 時	28.8	17.2	21.1	22.1	23.3	49.4	99.6	37.4	1.4%
13~14 時	30.7	17.5	24.0	24.3	20.6	65.9	113.5	42.4	1.5%
14~15 時	32.5	16.9	21.8	25.2	22.5	71.7	121.1	44.5	1.6%
15~16 時	37.9	19.9	27.6	28.4	22.9	86.2	125.8	49.8	1.8%
16~17 時	39.5	21.2	28.6	31.9	26.4	102.8	138.2	55.5	2.0%
17~18 時	56.6	35.6	45.5	47.7	43.6	127.0	172.6	75.5	2.8%
18~19 時	181.6	166.6	175.3	175.2	163.2	215.3	217.9	185.0	6.7%
19~20 時	384.8	380.6	384.7	376.8	371.0	373.0	381.2	378.9	13.8%
20~21 時	370.5	366.2	362.4	357.7	351.3	365.4	375.6	364.2	13.3%
21~22 時	307.6	308.1	303.5	292.7	292.0	326.9	323.7	307.8	11.2%
22~23 時	224.2	206.0	211.2	213.7	213.2	252.0	247.8	224.0	8.2%
23~24 時	157.2	154.8	153.7	155.4	156.5	176.0	175.4	161.3	5.9%
未記入	3.9	5.5	4.6	6.1	5.8	4.7	4.1	5.0	0.2%
計	2696.0	2410.5	2492.3	2462.4	2417.6	3010.5	3713.6	2743.3	100.0%

<sup>※</sup> 相談開始時刻のデータである。月~土曜日の祝日は各曜日に算入している。1 日当たりの相談件数を算出した。準夜帯 19 ~20 時(相談開始)をピークとして、以後漸減して 0 時に 1/3、深夜帯は減少して 5~6 時に最低(1/8)、7~8 時に小さな山(1/4)になる。日曜祝日日勤帯はピーク時の約 1/3 で一定している。祝日の影響が含まれてしまうので、Ⅳ考察では平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日 3 群の検討を行う。



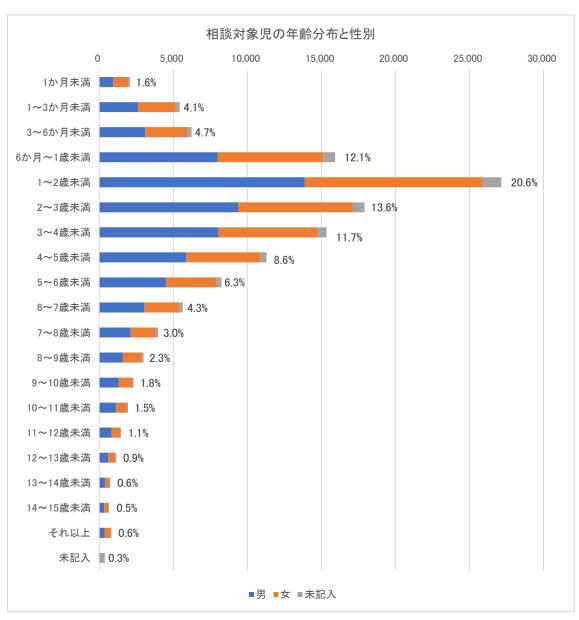
※ 全ての都道府県でデータが得られた。月~土曜日の祝日は各曜日に算入している。1 日当たりの相談件数を算出した。準夜帯 19~20 時(相談開始)をピークとして、以後漸減して 0 時に 1/3、深夜帯は減少して 5~6 時に最低(1/8)、7~8 時に小さな山(1/4)になる。日曜祝日日勤帯はピーク時の約 1/3 で一定している。祝日の影響が含まれてしまうので、Ⅳ考察では平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日 3 群の検討を行う。

# Ⅲ-4. 相談対象児の年齢分布と性別

【全国】

血-4. 怕談对象近の	一番りつ いてにつ	7			【土国】
相談対象児年齢	男	女	未記入	計	割合
1 か月未満	955	992	132	2,079	1.6%
1~3 か月未満	2,631	2,537	271	5,439	4.1%
3~6 か月未満	3,111	2,825	304	6,240	4.7%
6 か月~1 歳未満	7,988	7,141	798	15,927	12.1%
1~2 歳未満	13,866	12,019	1,268	27,153	20.6%
2~3 歳未満	9,369	7,760	787	17,916	13.6%
3~4 歳未満	8,066	6,694	593	15,353	11.7%
4~5 歳未満	5,877	4,996	419	11,292	8.6%
5~6 歳未満	4,503	3,425	325	8,253	6.3%
6~7 歳未満	3,051	2,367	219	5,637	4.3%
7~8 歳未満	2,126	1,678	178	3,982	3.0%
8~9 歳未満	1,602	1,259	133	2,994	2.3%
9~10 歳未満	1,307	927	90	2,324	1.8%
10~11 歳未満	1,143	723	80	1,946	1.5%
11~12 歳未満	844	576	55	1,475	1.1%
12~13 歳未満	620	469	62	1,151	0.9%
13~14 歳未満	408	292	45	745	0.6%
14~15 歳未満	336	309	18	663	0.5%
それ以上	361	413	54	828	0.6%
未記入	45	52	280	377	0.3%
計(件数)	68,209	57,454	6,111	131,774	100.0%
計(割合)	51.8%	43.6%	4.6%	100.0%	-

<sup>※ 1~6</sup> か月をまとめた 5 県、0 歳をまとめた 4 県、小学生・中学生に複数年齢をまとめた東京都を除く 35 道府県のデータを示す。男女比は 1.19 である。1 歳未満をまとめた相談対象児年齢分布(44 道府県)を $\mathbf N$ 考察で示す。



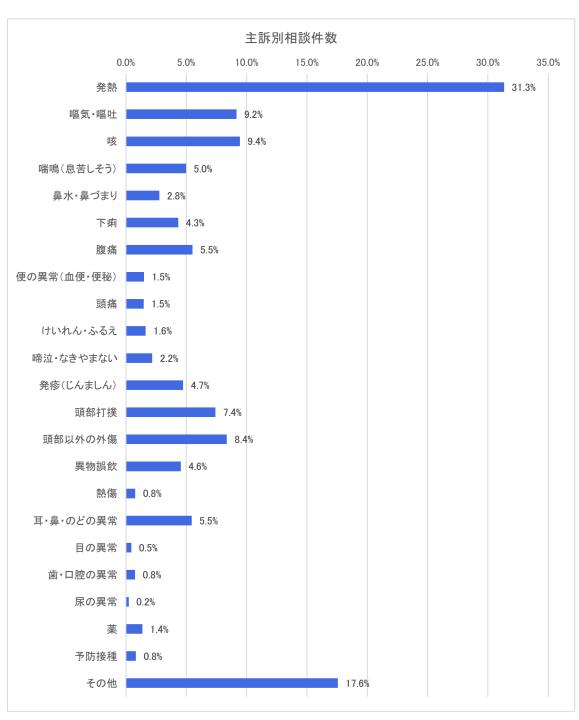
※ 1~6 か月をまとめた 5 県、0 歳をまとめた 4 県、小学生・中学生に複数年齢をまとめた東京都を除く 35 道府県のデータを示す。男女比は 1.19 である。1 歳未満をまとめた相談対象児年齢分布(44 道府県)を $\mathbb N$ 考察で示す。

# Ⅲ-5 主訴別相談件数

【全国】

主訴	回答数	
<b>発熱</b>	78,253	31.3%
嘔気·嘔吐	22,875	9.2%
咳	23,575	9.4%
喘鳴(息苦しそう)	12,445	5.0%
鼻水・鼻づまり	6,932	2.8%
下痢	10,822	4.3%
腹痛	13,772	5.5%
便の異常(血便・便秘)	3,757	1.5%
頭痛	3,675	1.5%
けいれん・ふるえ	4,088	1.6%
啼泣・なきやまない	5,454	2.2%
発疹(じんましん)	11,841	4.7%
頭部打撲	18,510	7.4%
頭部以外の外傷	20,880	8.4%
異物誤飲	11,365	4.6%
熱傷	1,943	0.8%
耳・鼻・のどの異常	13,620	5.5%
目の異常	1,136	0.5%
歯・口腔の異常	1,898	0.8%
尿の異常	604	0.2%
薬	3,409	1.4%
予防接種	2,072	0.8%
その他	43,859	17.6%
計	316,785	126.9%

<sup>※</sup> 複数回答あり。総相談件数(249,637 件)に対する割合を示した。割合順では発熱 31.3%、咳 9.4%、嘔気・嘔吐 9.2%、頭部以外の外傷 8.4%、頭部打撲 7.4%、腹痛 5.5%、耳・鼻・のどの異常 5.5%、発疹(じんましん)4.7%、異物誤飲 4.6%、下痢 4.3%であった。



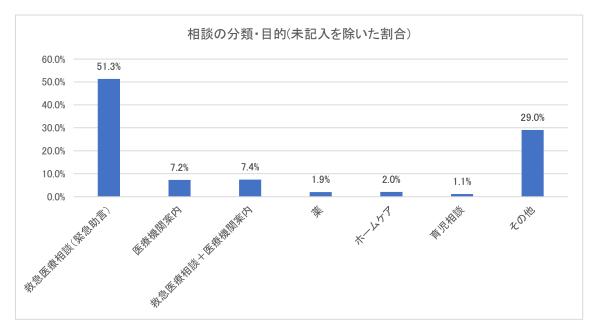
※ 複数回答あり。総相談件数 249,637 件に対する割合を示した。割合順では発熱 31.3%、咳 9.4%、嘔気・嘔吐 9.2%、頭部以外の外傷 8.4%、頭部打撲 7.4%、腹痛 5.5%、耳・鼻・のどの異常 5.5%、発疹(じんましん)4.7%、異物誤飲 4.6%、下痢 4.3%であった。

# Ⅲ-6. 相談の分類・目的

【全国】

相談の分類・目的	件数	割合	未記入を除いた割合
救急医療相談(緊急助言)	120,761	48.4%	51.3%
医療機関案内	17,043	6.8%	7.2%
救急医療相談+医療機関案内	17,441	7.0%	7.4%
薬	4,541	1.8%	1.9%
ホームケア	4,717	1.9%	2.0%
育児相談	2,566	1.0%	1.1%
その他	68,354	27.4%	29.0%
未記入	14,214	5.7%	
計	249,637	100.0%	

※ 令和4年度は「医療その他」を「その他」に含めた。44都道府県からデータが得られた。救急医療相談と医療機関案内の両方の情報提供の希望があり、救急医療相談+医療機関案内に分類している。未記入を除いた割合をみると、救急医療相談のニーズは救急医療相談(緊急助言)と救急医療相談+医療機関案内を合わせた58.7%、医療機関案内のニーズは医療機関案内と救急医療相談+医療機関案内を合わせた14.6%である。



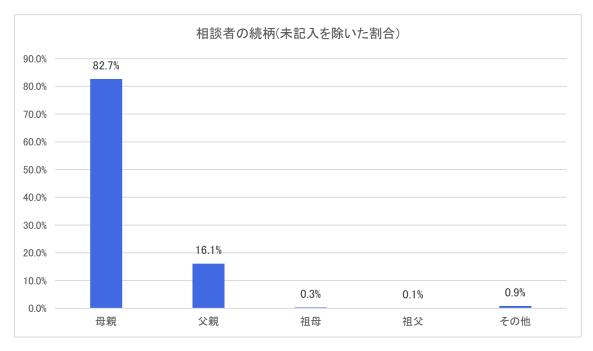
※ 令和4年度は「医療その他」を「その他」に含めた。44都道府県からデータが得られた。救急医療相談と医療機関案内の両方の情報提供の希望があり、救急医療相談+医療機関案内に分類している。未記入を除いた割合をみると、救急医療相談のニーズは救急医療相談(緊急助言)と救急医療相談+医療機関案内を合わせた58.7%、医療機関案内のニーズは医療機関案内と救急医療相談+医療機関案内を合わせた14.6%である。

# Ⅲ-7 相談者の続柄

【全国】

続柄	件数	割合	未記入を除いた割合
母親	204,064	81.7%	82.7%
父親	39,684	15.9%	16.1%
祖母	800	0.3%	0.3%
祖父	175	0.1%	0.1%
その他	2,107	0.8%	0.9%
未記入	2,807	1.1%	1
計	249,637	100.0%	-

※ 45 都道府県全てからデータが得られた。父親が前年(15.5%)より微増した。「その他」は両親が電話の途中で代わった場合 や、親戚、本人などである。



※ 45 都道府県全てからデータが得られた。父親が前年(15.5%)より微増した。「その他」は両親が電話の途中で代わった場合 や、親戚、本人などである。

#### Ⅲ-8. 相談者の年代

【全国】

年齢	件数	割合	未記入を除いた割合
10代	84	0.0%	0.1%
20代	11,897	4.8%	16.4%
30代	48,371	19.4%	66.6%
40 代	11,884	4.8%	16.4%
50 代以上	357	0.1%	0.5%
未記入	177,044	70.9%	
計	249,637	100.0%	_

※ 33 道府県からデータが得られた。人口が多い都府県からデータが得られない傾向がある。30 代が 2/3、20 代と 40 代が 1/6 である。



※ 33 道府県からデータが得られた。人口が多い都府県からデータが得られない傾向がある。30 代が 2/3、20 代と 40 代が 1/6 である。

## Ⅲ-9. 兄姉の有無(第1子あるいは子ども一人の家庭の検討)

【全国】

兄姉の有無	件数	割合	不明を除いた割合
兄姉いる	25,674	10.3%	51.3%
兄姉いない	24,367	9.8%	48.7%
不明	199,596	80.0%	-
計	249,637	100.0%	-

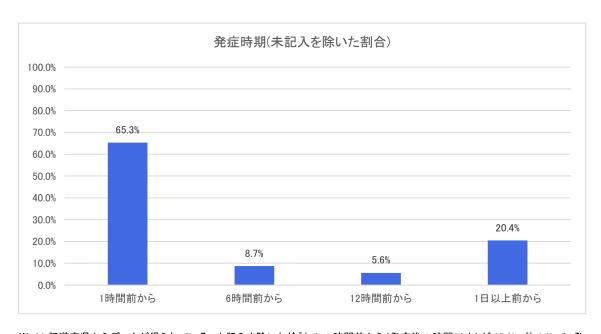
※ 30 道県からデータが得られた。兄姉がいない/(いる+いない)比は第 1 子あるいは子ども一人の家庭に相当する。今年度 48.7%で前年度と変わらない。

Ⅲ-10. 発症時期

【全国】

発症時期	件数	割合	未記入を除いた割合
1時間前から	89,536	35.9%	65.3%
6 時間前から	11,906	4.8%	8.7%
12 時間前から	7,634	3.1%	5.6%
1日以上前から	27,984	11.2%	20.4%
未記入	112,577	45.1%	-
計	249,637	100.0%	-

※ 36 都道府県からデータが得られている。未記入を除いた検討で、1 時間前から(発症後 1 時間以内)が 65.3%、約 2/3 で、発症 12 時間以内が 8 割である。多くが、発症後短時間で相談している。



※ 36 都道府県からデータが得られている。未記入を除いた検討で、1 時間前から(発症後 1 時間以内)が 65.3%、約 2/3 で、発症 12 時間以内が 8 割である。多くが、発症後短時間で相談している。

#### Ⅲ-11. 相談前受診(受診後電話相談)の有無

【全国】

相談前受診(受診後電話相談)の有無	件数	割合	不明を除いた割合
相談前受診あり	37,330	15.0%	16.9%
相談前受診なし	182,982	73.3%	83.1%
不明	29,325	11.7%	-
計	249,637	100.0%	-

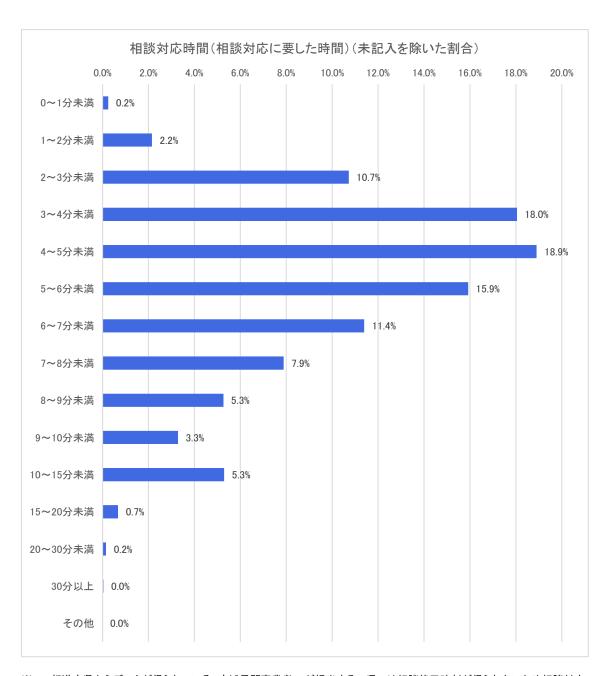
<sup>※</sup> 受診したが、不安でその後に電話相談した場合である。41 都道府県からデータが得られている。相談前受診あり/(相談前受診あり+なし)=16.9%で前年度(10.5%)より増えていて、新型コロナウイルスパンデミック前に戻る傾向がある。

# Ⅲ-12. 相談対応時間(相談対応に要した時間)

【全国】

相談対応時間	件数	割合	未記入を除いた割合
0~1 分未満	339	0.1%	0.2%
1~2 分未満	2,933	1.2%	2.2%
2~3 分未満	14,609	5.9%	10.7%
3~4 分未満	24,586	9.8%	18.0%
4~5 分未満	25,753	10.3%	18.9%
5~6 分未満	21,692	8.7%	15.9%
6~7 分未満	15,524	6.2%	11.4%
7~8 分未満	10,743	4.3%	7.9%
8~9 分未満	7,172	2.9%	5.3%
9~10 分未満	4,476	1.8%	3.3%
10~15 分未満	7,215	2.9%	5.3%
15~20 分未満	918	0.4%	0.7%
20~30 分未満	205	0.1%	0.2%
30 分以上	54	0.0%	0.0%
その他	0	0.0%	0.0%
未記入	113,418	45.4%	-
計	249,637	100.0%	-

<sup>※ 41</sup> 都道府県からデータが得られている。広域民間事業者 E が担当する 4 県では、相談終了時刻が得られないため相談対応時間のデータが得られなかった。相談対応時間は 4~5 分未満が最も多く、3~7 分未満が 64.2%を占める。15 分以上は1,177 件 0.9%であった。



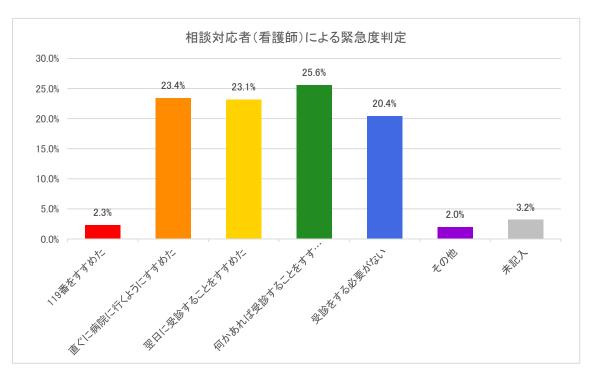
※ 41 都道府県からデータが得られている。広域民間事業者 E が担当する 4 県では相談終了時刻が得られないため相談対応時間のデータが得られなかった。4~5 分未満が最も多く、3~7 分未満が 64.2%を占める。15 分以上は 1,177 件 0.86%で前年 (0.62%)より増加した。

Ⅲ-13. 相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)

【全国】

相談対応者(看護師)による緊急度判定	件数	割合	未記入を除いた割合
119 番をすすめた	5,786	2.3%	2.4%
直ぐに病院に行くようにすすめた	58,434	23.4%	24.2%
翌日に受診することをすすめた	57,752	23.1%	23.9%
何かあれば受診することをすすめた	63,810	25.6%	26.4%
受診をする必要がない	50,987	20.4%	21.1%
その他	4,958	2.0%	2.1%
未記入	7,910	3.2%	-
計	249,637	100.0%	_

※ 45 都道府県全てからデータが得られている。未記入を含めた割合と除いた割合を表に示したが、緊急度判定は未記入を含めて分析することにする。前年度と比較して、119 番と翌日受診がそれぞれ、1.5%→2.3%、16.8%→23.1%と増えている。



※ 45 都道府県全てからデータが得られている。未記入を除かない割合で検討する。前年度と比較して、119 番と翌日受診がそれぞれ、1.5%→2.3%、16.8%→23.1%と増えている。

#### Ⅲ-14. 医師の助言・対応

【全国】

医師の助言・対応	件数	割合	未記入を除いた割合
医師から助言を受けた	359	0.1%	0.2%
医師が対応した	35	0.0%	0.0%
医師の助言・対応なし	217,299	87.0%	99.8%
不明	31,944	12.8%	-
計	249,637	100.0%	-

<sup>※ 41</sup> 都道府県からデータが得られている。医師の助言・対応を要したは 394 件で、前年度 113 件より増加した。医師の助言・ 対応を要した例の更なる分析が必要である。

# Ⅲ-15 相談者の満足度(相談対応者からの印象)

【全国】

満足度	件数	割合	未記入(不明)を除いた割合
満足	178,645	71.6%	99.4%
不満気	1,082	0.4%	0.6%
不明	69,910	28.0%	-
計	249,637	100.0%	-

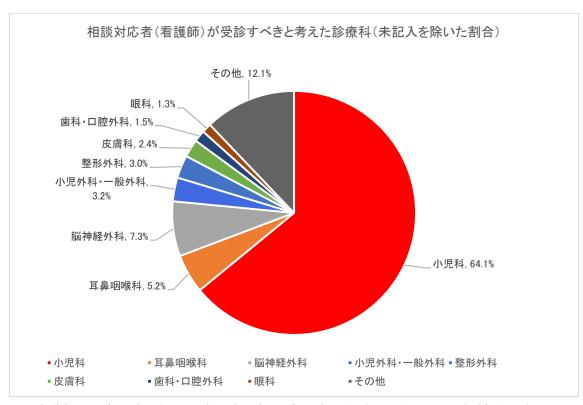
<sup>※ 44</sup> 道府県からデータが得られている。満足度は高い(99.4%)。

Ⅲ-16. 相談対応者(看護師)が受診すべきと考えた診療科

【全国】

診療科	件数	割合	未記入を除いた割合
小児科	86,289	34.6%	64.1%
耳鼻咽喉科	6,986	2.8%	5.2%
脳神経外科	9,788	3.9%	7.3%
小児外科•一般外科	4,247	1.7%	3.2%
整形外科	4,070	1.6%	3.0%
皮膚科	3,182	1.3%	2.4%
歯科•口腔外科	2,066	0.8%	1.5%
眼科	1,699	0.7%	1.3%
その他	16,324	6.5%	12.1%
未記入	114,986	46.1%	-
計	249,637	100.0%	-

※ 40 都道府県からデータが得られているが、県ごとに全てでデータが得られるわけではなく、未記入率が高くなる(表 4)。未記入を除いて、小児科 64.1%、脳神経外科 7.30%、耳鼻科 5.2%、小児外科・一般小児科 3.2%、整形外科 3.0%、皮膚科 2.4%、歯科口腔外科 1.5%、眼科 1.3%で、その他が増えている。



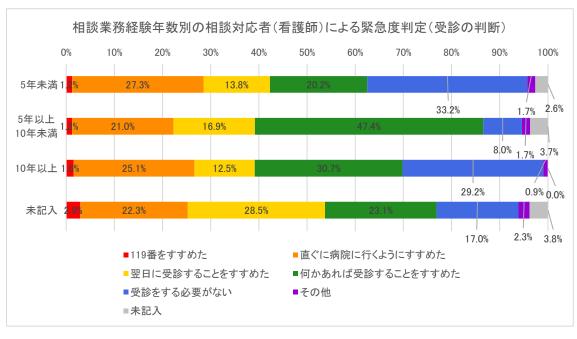
※ 40 都道府県からデータが得られているが、県ごとに全てでデータが得られるわけではなく、未記入率が高くなる(表 4)。未記入を除いて、小児科 64.1%、脳神経外科 7.30%、耳鼻科 5.2%、小児外科・一般小児科 3.2%、整形外科 3.0%、皮膚科 2.4%、歯科口腔外科 1.5%、眼科 1.3%で、その他が増えている。

Ⅲ-17. 相談業務経験年数別の相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断) 【全国】

119 番をすすめた	相談業務	5 年未満	5 年以上	10 年以上	未記入	計
	経験年数		10 年未満			
119 番をすすめた	件数	542	268	421	4,555	5,786
110 田でリリロバ	割合	1.2%	1.2%	1.6%	2.9%	2.3%
直ぐに病院に行くようにすすめた	件数	12,139	4,600	6,744	34,951	58,434
巨 \ 1〜7内 元1〜1 ] \ み 川〜 タ タ β 川〜	割合	27.3%	21.0%	25.1%	22.3%	23.4%
翌日に受診することをすすめた	件数	6,135	3,696	3,370	44,551	57,752
立口に文形することですりのだ	割合	13.8%	16.9%	12.5%	28.5%	23.1%
何かあれば受診することをすすめた	件数	8,989	10,363	8,255	36,203	63,810
ドラス・のりょりも文形り むここぞり りのだ	割合	20.2%	47.4%	30.7%	23.1%	25.6%
受診をする必要がない	件数	14,777	1,749	7,865	26,596	50,987
文的でする必要がはい	割合	33.2%	8.0%	29.2%	17.0%	20.4%
その他	件数	740	379	245	3,594	4,958
· C 分他	割合	1.7%	1.7%	0.9%	2.3%	2.0%
未記入	件数	1,157	802	9	5,942	7,910
<b>本品人</b>	割合	2.6%	3.7%	0.0%	3.8%	3.2%
計	件数	44,479	21,857	26,909	156,392	249,637

<sup>※ 33</sup> 道道県からデータが得られている。割合の母数は相談業務経験年数毎である。

#### 相談業務経験年数別の相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)



※ 33 道道県からデータが得られている。割合の母数は相談業務経験年数毎である。

# Ⅲ-18. 相談対応者(看護師)の対応感想(対応で困ったこと)

【全国】

相談対応者(看護師)の対応感想	件数	割合	未記入(不明)を除いた割合
対応困難あり	118	0.0%	0.1%
対応困難なし	93,271	37.4%	99.8%
不明	156,248	62.6%	-
計	249,637	100.0%	-

<sup>※ 34</sup> 道府県からデータが得られている。対応困難は 118 件で、前年度(75 件)より増えた。

#### Ⅳ. 全調査都道府県の考察

Ⅲ.集計結果で未記入を除かない割合と未記入を除いた割合を併記した。IV.考察では、開始時刻、相談対象児年齢、主訴、緊急度判定以外の調査広告は、未記入を除いた割合を用いて分析し、経年変化を含めた考察を行なった。令和4年度の本事業の調査対象は45都道府県(全国年少人口の94.9%)であり、深夜帯実施43都道府県(全国年少人口の93.5%)、日曜祝日日勤帯実施23都県(全国年少人口の45.7%)(福井県は実施しているが地元データなし)であった。

#### Ⅳ-1. #8000 事業の月別相談件数

調査対象期間は、前年度と同じく9月~11月である。月別相談件数は、9月82,059件、10月85,185件、11月82,383件、総相談件数総数249,637件で、前年度の1.39倍に増加した。参加都道府県数は平成29年度本事業開始以来最高になり、全国の状況を把握できるようになった。

表 6. 月別相談件数

	4 月	5月	6 月	7月	8 月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月	計
相談件数	_	-	-	-	-	82,059	85,185	82,393	-	-	-	-	249,637

<sup>※ 2022</sup> 年 9 月~2022 年 11 月に調査して、249、937 件のデータを収集した。p.18 の表を再掲、図省略。

#### Ⅳ-2. 都道府県別、小児医療圏別#8000 事業利用状況(年少人口対相談件数)

《都道府県別年少人口対相談件数》

年少人口対相談件数を算出して、都道府県別のⅢ-2の表を作成し、それを元に表 7-1、図 6-1、表 7-2、図 6-2を作成した。ここでは、地元事業者のデータを入手できなかった宮城県、福井県 2県を除いて検討した。今年度は中央値と降順分析を追加した。

年少人口千人対相談件数/月は全体の平均 5.9(全相談件数/全年少人口)、都道府県別中央値 5.3、最小値 2.6、最大値 16.1 で、小児科医師・小児外科医師数対相談件数は全体の平均(全相談件数/全小児科医師・小児外科医師数)4.7、都道府県別中央値 4.3(最小値 2.1、最大値 15.6)であり、都道府県間差違は両者共に約 6 倍であった。都道府県ごとに実施時間帯が異なること(表 3-1、3-2、3-3)、回線数が異なることが影響すると思われた。小児科医師・小児外科医師数対相談件数が多い県は、もともと小児科医師・小児外科医師一人当たりの負担が大きい状況にあると考えられることから、#8000 の活用が、医師の働き方改革のタスクシフトの一つのツールになることが期待される。

年少人口千人対相談件数/月の経年変化(表 8)は、令和 2 年度の減少の後に、令和 3 年度、令和 4 年度は回復傾向であり、新型コロナウイルスパンデミックが影響していると思われる。なお、本データは地元データ未取得の県を除いて算出した。(大分県の令和 2~3 年度は相談件数の重複があっために参考値とし、令和 4 年度は重複がないように修正した。)

#### 《小児医療圏別年少人口対相談件数》

年少人口千人対相談件数/月の都道府県内小児医療圏間較差(表 9)は、中央値 2.3、最小値 1.3、最大値 9.8 で、5.0 以上は秋田県、石川県、島根県、長崎県、鹿児島県 5 県であり、これらの

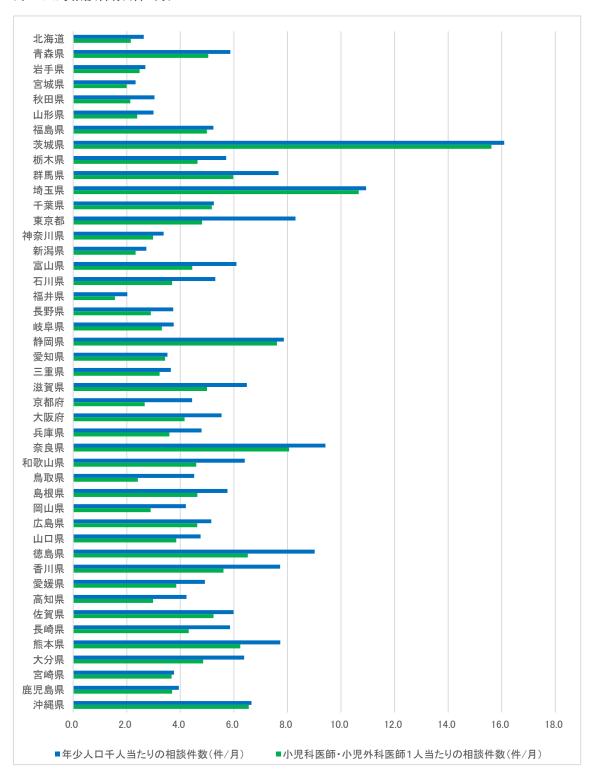
県は半島や島しょなど地理的アクセスの問題がある地域を持つが、地域差のない医療提供の観点から、#8000事業のさらなる周知が必要であると考えられた。

表 7-1. 都道府県別、年少人ロ千人対相談件数(件/月)、小児科医師・小児外科医師 1 人対相談件数(件/月)、および年少人ロ千人対相談件数(件/月)の都道府県内小児医療圏較差

都道 府県 番号	都道府県名	15歳未満 年少人口(人)	小児科医師· 小児外科医師数	1か月間の 相談件数	年少人口千人当たりの 相談件数(件/月)	小児科医師・小児外科医師1人当たりの相談件数 (件/月)	都道府県内 小児医療圏 較差
	北海道	547.532	672	1,444	2.6	2.1	4.1
	青森県	128,917	150	756	5.9	5.0	2.1
	岩手県	130,458	142	352	2.7	2.5	3.0
	宮城県	266,301	311	620	2.3	2.0	1.9
	秋田県	90,626	129	275	3.0	2.1	6.1
	山形県	117,165	147	351	3.0	2.4	1.9
	福島県	206,956	217	1,083	5.2	5.0	2.6
	茨城県	335,653	346	5,403	16.1	15.6	1.9
	栃木県	227,617	280	1,301	5.7	4.6	1.7
	群馬県	224,520	288	1,721	7.7	6.0	1.3
	埼玉県	875,579	898	9,574	10.9	10.7	2.2
	千葉県	738,698	750	3,881	5.3	5.2	2.9
	東京都	1,581,097	2,729	13,123	8.3	4.8	1.3
	神奈川県	1,089,747	1,236	3,683	3.4	3.0	2.3
	新潟県	243,827	286	666	2.7	2.3	2.8
16	富山県	115,242	158	702	6.1	4.4	1.5
	石川県	136,370	196	724	5.3	3.7	5.5
18	福井県	94,795	123	192	2.0	1.6	1.3
20	長野県	242,597	313	906	3.7	2.9	2.8
21	岐阜県	240,871	273	904	3.8	3.3	1.3
	静岡県	433,374	448	3,409	7.9	7.6	1.9
	愛知県	979,454	1,005	3,445	3.5	3.4	3.1
	三重県	212,716	240	775	3.6	3.2	1.7
	滋賀県	192,466	250	1,248	6.5	5.0	1.7
	京都府	293,379	488	1,302	4.4	2.7	2.0
	大阪府	1,039,329	1,385	5,758	5.5	4.2	1.4
	兵庫県	671,654	896	3,220	4.8	3.6	2.1
	奈良県	154,068	180	1,451	9.4	8.1	1.4
	和歌山県	104,824	146	671	6.4	4.6	2.6
	鳥取県	67,955	127	307	4.5	2.4	1.5
	島根県	81,286	101	468	5.8	4.6	5.7
	岡山県	234,621	341	987	4.2	2.9	2.1
	広島県	350,622	390	1,807	5.2	4.6	2.4
	山口県	153,038	189	728	4.8	3.9	1.4
	徳島県	81,005	112	730	9.0	6.5	2.6
	香川県	116,296	160	898	7.7	5.6	3.7
	愛媛県	155,015	198	762	4.9	3.9	2.3
	高知県	74,801	106	316	4.2	3.0	3.6
	佐賀県 E 岐 県	108,517	124	650	6.0	5.2	2.2
	長崎県 熊本県	163,591	222	958	5.9	4.3	9.8
		229,949	285	1,779	7.7	6.2	4.8
	大分県 宮崎県	136,202	179	869	6.4	4.9	3.4
	<u>呂崎県</u> 鹿児島県	140,722	144	530 834	3.8 3.9	3.7 3.7	2.9
	成児馬県 沖縄県	211,399 247,060	226 251	1,645	6.7	6.6	9.4
	全国	14,267,911			5.8	4.7	2.1
	・福井県を除	13,906,815	17,837 17,403	83,212 82,401	5.9	4.7	

<sup>※</sup> 地元データを得られなかった宮城県、福井県を除いた43都道府県で全国平均を求めた。

図 6-1. 都道府県別、都道府県別、年少人口千人対相談件数(件/月)、小児科医師・小児外科医師 1 人対相談件数(件/月)



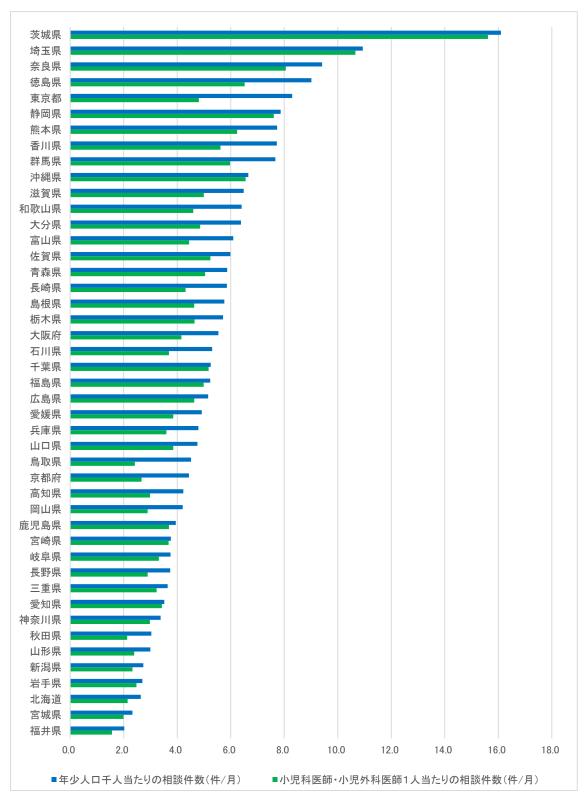
※ 少人ロ千人対相談件数は平均値 3.9(最小 0.7~最大 9.2)、小児科医師・小児外科医師対相談件数は平均値 3.3(最小 0.6~最大 7.9)で、都道府県間の差違が大きい。(宮城、神奈川、福井、鹿児島県を除いて算出した)

表 7-2 都道府県別、年少人ロ千人対相談件数(件/月)、小児科医師・小児外科医師 1 人対相談件数(件/月)、および年少人ロ千人対相談件数(件/月)の都道府県内小児医療圏較差(降順)

都道 府県 番号	都道府県名	15歳未満 年少人口(人)	小児科医師・ 小児外科医師数	1か月間の 相談件数	年少人ロ千人当たりの 相談件数(件/月)	小児科医師・小児外科医師1人当たりの相談件数 (件/月)	都道府県内 小児医療圏 較差
	茨城県	335,653	346	5,403	16.1	15.6	1.9
	埼玉県	875,579	898	9,574	10.9	10.7	2.2
	奈良県	154,068	180	1,451	9.4	8.1	1.4
	徳島県	81,005	112	730	9.0	6.5	2.6
	東京都	1,581,097	2,729	13,123	8.3	4.8	1.3
	静岡県	433,374	448	3,409	7.9	7.6	1.9
	熊本県	229,949	285	1,779	7.7	6.2	4.8
	香川県	116,296	160	898	7.7	5.6	3.7
	群馬県	224,520	288	1,721	7.7	6.0	1.3
	沖縄県	247,060	251	1,645	6.7	6.6	2.1
	滋賀県	192,466	250	1,248	6.5	5.0	1.7
	和歌山県	104,824	146	671	6.4	4.6	2.6
	大分県	136,202	179	869	6.4	4.9	3.4
	富山県	115,242	158	702	6.1	4.4	1.5
	佐賀県	108,517	124	650	6.0	5.2	2.2
	青森県	128,917	150	756	5.9	5.0	2.1
	長崎県	163,591	222	958	5.9	4.3	9.8
	島根県	81,286	101	468	5.8	4.6	5.7
	栃木県	227,617	280	1,301	5.7	4.6	1.7
	大阪府	1,039,329	1,385	5,758	5.5	4.2	1.4
	石川県	136,370	196	724	5.3	3.7	5.5
	千葉県	738,698	750	3,881	5.3	5.2	2.9
	福島県	206,956	217	1,083	5.2	5.0	2.6
	広島県	350,622	390	1,807	5.2	4.6	2.4
	愛媛県	155,015	198	762	4.9	3.9	2.3
	兵庫県	671,654	896	3,220	4.8	3.6	2.1
	山口県	153,038	189	728	4.8	3.9	1.4
	鳥取県	67,955	127	307	4.5	2.4	1.5
	京都府	293,379	488	1,302	4.4	2.7	2.0
	高知県	74,801	106	316	4.2	3.0	3.6
	岡山県	234,621	341	987	4.2	2.9	2.1
	鹿児島県	211,399	226	834	3.9	3.7	9.4
	宮崎県	140,722	144	530	3.8	3.7	2.9
	岐阜県	240,871	273	904	3.8	3.3	1.3
	長野県	242,597	313	906	3.7	2.9	2.8
	三重県	212,716	240	775	3.6		1.7
	愛知県	979,454	1,005	3,445	3.5	3.4	3.1
	神奈川県	1,089,747	1,236	3,683	3.4	3.0	2.3
	秋田県	90,626	129	275	3.0	2.1	6.1
	山形県	117,165	147	351	3.0	2.4	1.9
	新潟県	243,827	286	666	2.7	2.3	2.8
	岩手県	130,458	142	352	2.7	2.5	3.0
	北海道	547,532	672	1,444	2.6	2.1	4.1
	宮城県	266,301	311	620	2.3	2.0	1.9
	福井県	94,795	123	192	2.0	1.6	1.3
	全国	14,267,911	17,837	83,212	5.8	4.7	
宮城県 く	・福井県を除	13,906,815	17,403	82,401	5.9	4.7	

<sup>※</sup> 年少人ロ千人対相談件数/月:全体の平均 5.9、都道府県中央値 5.3、最小値 2.6、最大値 16.1(地元データ未取得の宮城県、福井県を除く)。

図 6-2 都道府県別、都道府県別、年少人ロ千人対相談件数(件/月)、小児科医師·小児外科医師 1 人対相談件数(件/月)(降順)



<sup>※</sup> 年少人ロ千人対相談件数/月:全体の平均 5.9、都道府県中央値 5.3、最小値 2.6、最大値 16.1(地元データ未取得の宮城県、福井県を除く)。

表 8, 年少人口(15 歳未満)千人対相談件数(件/月)の令和元年~4年度の経年変化

都道府 県番号	都道府県名	年少人ロ千人当たりの相談件数(件/月)					
		令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
1	北海道	2.4	0.7	2.4	2.6		
2	青森県	5.2	3.9	4.6	5.9		
3	岩手県	_	1.6	_	2.7		
4	宮城県*	1.9	1.1	1.6	2.3		
5	秋田県	_	1.2	0.6	3.0		
6	山形県	3.1	1.7	1.8	3.0		
7	福島県	4.0	2.5	3.5	5.2		
8	茨城県	11.5	7.2	9.7	16.1		
9	栃木県	_	_	_	5.7		
10	群馬県	9.3	5.2	6.2	7.7		
11	埼玉県	12.2	7.4	8.2	10.9		
12	千葉県	4.8	3.0	3.8	5.3		
13	東京都	8.0	5.2	6.0	8.3		
14	神奈川県	1.0	0.6	1.3	3.4		
15	新潟県	3.4	2.1	2.3	2.7		
16	富山県	8.0	3.7	4.6	6.1		
17	石川県	6.5	3.7	4.7	5.3		
18	福井県*	2.0	1.2	1.3	2.0		
20	長野県	3.2	1.7	3.2	3.7		
21	岐阜県	5.4	2.9	3.0	3.8		
22	静岡県	7.3	4.8	5.2	7.9		
23	愛知県	2.9	2.2	2.1	3.5		
24	三重県	4.5	2.4	2.8	3.6		
25	滋賀県	8.5	4.8	5.4	6.5		
26	京都府	5.5	3.5	3.6	4.4		
27	大阪府	4.8	3.3	4.4	5.5		
28 29	兵庫県	5.6 13.1	3.8 7.5	4.5	4.8 9.4		
	奈良県 和歌山県			9.1			
30 31	鳥取県	6.1 8.5	4.0 5.3	4.2	6.4 4.5		
32	島根県	6.8	4.8	4.1 5.4	5.8		
33	岡山県	6.0	3.2	3.3	4.2		
34	広島県	5.8	3.8	4.3	5.2		
35	山口県	5.2	3.6	4.0	4.8		
36	徳島県	10.5	6.6	6.6	9.0		
37	香川県	9.4	5.3	5.7	7.7		
38	愛媛県	7.2	3.9	3.8	4.9		
39	高知県	-	2.4	3.2	4.2		
41	佐賀県	5.3	1.3	1.3	6.0		
42	長崎県	6.5	4.3	3.9	5.9		
43	熊本県		_		7.7		
44	大分県		9.2	9.8	6.4		
45	宮崎県	4.6	4.1	3.9	3.8		
46	鹿児島県	4.3	1.4	1.6	3.9		
47	沖縄県	3.4	2.8	2.9	6.7		
	全体*	6.6	4.0	4.6	5.9		

※全体の数値\*は、地元データ未取得の県を除いて算出した。令和2年度に減少して、令和3年度、令和4年度は回復傾向である。大分県の令和2~3年度は相談件数の重複があっために参考値になり、令和4年度は修正した。

表 9. 年少人口対相談件数の都道府県内小児医療圏間較差の都道府県比較

都道府	都道府県名	年少人口千人当たりの相談件数(件/月)					
県番号		都道府県全体	小児医療圏別最大	小児医療圏別最小	小児医療圏別較差		
1	北海道	2.6	2.9	0.7	4.1		
2	青森県	5.9	8.5	4.0	2.1		
3	岩手県	2.7	3.3	1.1	3.0		
4	宮城県	2.3	2.6	1.4	1.9		
5	秋田県	3.0	4.3	0.7	6.1		
6	山形県	3.0	3.7	1.9	1.9		
7	福島県	5.2	6.6	2.5	2.6		
8	茨城県	16.1	18.5	9.7	1.9		
9	栃木県	5.7	6.4	3.8	1.7		
10	群馬県	7.7	8.4	6.5	1.3		
11	埼玉県	10.9	11.4	5.1	2.2		
12	千葉県	5.3	9.0	3.1	2.9		
13	東京都	8.3	8.7	6.7	1.3		
14	神奈川県	3.4	4.4	1.9	2.3		
15	新潟県	2.7	3.1	1.1	2.8		
16	富山県	6.1	6.5	4.2	1.5		
17	石川県	5.3	6.0	1.1	5.5		
18	福井県	2.0	2.1	1.6	1.3		
20	長野県	3.7	4.2	1.5	2.8		
21	岐阜県	3.8	4.1	3.1	1.3		
22	静岡県	7.9	9.4	4.9	1.9		
23	愛知県	3.5	4.0	1.3	3.1		
24	三重県	3.6	4.0	2.3	1.7		
25	滋賀県	6.5	7.2	4.3	1.7		
26	京都府	4.4	5.1	2.5	2.0		
27	大阪府	5.5	5.9	4.3	1.4		
28	兵庫県	4.8	6.5	3.1	2.1		
29	奈良県	9.4	11.8	8.4	1.4		
30	和歌山県	6.4	7.2	2.8	2.6		
31	鳥取県	4.5	4.9	3.2	1.5		
32	島根県	5.8	7.4	1.3	5.7		
33	岡山県	4.2	5.3	2.5	2.1		
34	広島県	5.2	5.7	2.4	2.4		
35	山口県	4.8	5.6	4.0	1.4		
36	徳島県	9.0	10.0	3.8	2.6		
37	香川県	7.7	9.6	2.6	3.7		
38	愛媛県	4.9	5.8	2.5	2.3		
39	高知県	4.2	4.7	1.3	3.6		
41	佐賀県	6.0	4.2	1.9	2.2		
42	長崎県	5.9	7.8	0.8	9.8		
43	熊本県	7.7	9.1	1.9	4.8		
44	大分県	6.4	8.1	2.4	3.4		
45	宮崎県	3.8	4.7	1.6	2.9		
46	鹿児島県	3.9	4.7	0.5	9.4		
47	沖縄県	6.7	7.3	3.5	2.1		

<sup>※</sup> 小児医療圏間較差: 中央値 2.3、最小値 1.3、最大値 9.8 で、5.0 以上は秋田県、石川県、島根県、長崎県、鹿児島県である。(地元データ未取得の宮城県、福井県を除く)。

#### Ⅳ-3. #8000 事業の時間帯別二一ズ(相談件数の時間変動)

《平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日3群の時間帯別相談件数(相談件数の時間変動)》

曜日別時間帯別相談件数をグラフ化して、相談件数の曜日別時間変動、時間帯別#8000事業のニーズを示した。(表 10-1、10-2、図 7)

準夜帯・深夜帯は3群ともに同じく19~20時(相談開始)をピークとして、以後漸減して0時にピーク時の1/3となり、深夜帯はさらに減少して5~6時に最低(ピーク時の1/8)となり、朝7~8時に小さな山(ピーク時の1/4)を認めた。なお、日曜祝日日勤帯はピーク時の約1/3で一定していた。図7からは、準夜帯の急激に上昇(サージ)すること、平日(除祝日)・土曜日(除祝日)・日曜祝日3群のピーク時間帯が等しいこと、朝に小さな山があること、日曜祝日日勤帯が比較的多いことの4つの特徴が読み取れた。

《45 都道府県別の平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日 3 群の時間帯別相談件数(相談件数の時間変動)》

45 都道府県の時間変動を図 7-2-1~45 に示した。この図により、各都道府県の#8000 事業実施状況と#8000 事業利用状況、#8000 ニーズを把握できると考えられた。

十分な回線数で 24 時間実施している例として茨城県(図 7-2-8)と、実施時間帯と回線数に制限がある例として大阪府(図 7-2-26)を比較した。前者では、日曜祝日のピークが平日や土曜日より多く、準夜帯のピークが 18~19 時に早まり、日勤帯のニーズが比較的多いという特徴が見られた。後者では、ピークが平日(除祝日)・土曜日(除祝日)・日曜祝日 3 群とも同じで、開始 19 時からの立ち上がりが急峻であるという特徴が見られた。急峻な変化、ピークに注目して、45 都道府県の時間変動をみると、(19 時ではなく)18 時に開始する県、(8 時までではなく)9 時まで実施している県は時間変動曲線がなだらかであるという特徴が見られた。

以上の分析により、平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日3群のピークが同じ場合は回線が飽和して話中の可能性があること、準夜帯早期は急激な増加、ピーク(サージ)を示し、特にニーズが大きく回線数が足りない可能性が考えられた。時間帯別の回線数の検討が必要と考えられた。

十分な回線数で24時間実施している茨城県で、深夜帯0~8時、日勤帯8~17時、準夜帯17~24時3時間帯に分けて平日準夜帯の相談件数の総和を1として各時間帯を比較し、時間帯別曜日別ニーズをみたところ、準夜帯は平日1、土曜日1.02、日曜祝日1.20で、深夜帯は平日0.35、土曜日0.32、日曜祝日0.39、日勤帯は平日0.61、土曜日0.78、日曜祝日1.05であった。これらは、各時間帯における#8000事業の真のニーズに近いと考えられた。

従って、#8000 事業の二一ズに合わせて話中を改善する方策として、夕方 18 時開始、朝 9 時終了、日曜祝日日勤帯と土曜日午後の実施、および準夜帯早期の回線数の調整が必要と考えられた。加えて、家庭看護力醸成 <sup>9)</sup>、小児救急医療情報ツールの活用も必要である。小児救急医療情報ツールは、ONLINE こども救急、こども救急ガイドブック、救急医療情報システムの 4 つを

指し、日本小児科医会の小児救急医療情報ツール <sup>10)</sup>に説明と各都道府県のリンク先を掲載している。

表 10-1. 平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日 3 群の時間帯別相談件数 【全国】

時間帯	平日(除祝日)	土曜日(除祝日)	日曜祝日	計	割合
0~1 時	7,364	1,621	2,498	11,483	4.6%
1~2 時	5,914	1,312	1,998	9,224	3.7%
2~3 時	4,889	1,062	1,705	7,656	3.1%
3~4 時	3,816	854	1,377	6,047	2.4%
4~5 時	3,144	737	1,209	5,090	2.0%
5~6 時	2,763	612	1,190	4,565	1.8%
6~7 時	3,926	799	1,697	6,422	2.6%
7~8 時	5,497	1,097	2,395	8,989	3.6%
8~9 時	1,270	560	2,029	3,859	1.5%
9~10 時	1,124	608	2,220	3,952	1.6%
10~11 時	881	532	2,002	3,415	1.4%
11~12 時	848	529	1,823	3,200	1.3%
12~13 時	989	642	1,768	3,399	1.4%
13~14 時	999	857	1,998	3,854	1.5%
14~15 時	1,009	932	2,112	4,053	1.6%
15~16 時	1,158	1,121	2,256	4,535	1.8%
16~17 時	1,276	1,337	2,438	5,051	2.0%
17~18 時	2,143	1,651	3,078	6,872	2.8%
18~19 時	10,040	2,799	3,997	16,836	6.7%
19~20 時	22,672	4,849	6,956	34,477	13.8%
20~21 時	21,602	4,750	6,787	33,139	13.3%
21~22 時	17,960	4,250	5,798	28,008	11.2%
22~23 時	12,692	3,276	4,417	20,385	8.2%
23~24 時	9,258	2,288	3,129	14,675	5.9%
未記入	304	61	86	451	0.2%
計	143,538	39,136	66,963	249,637	100.0%

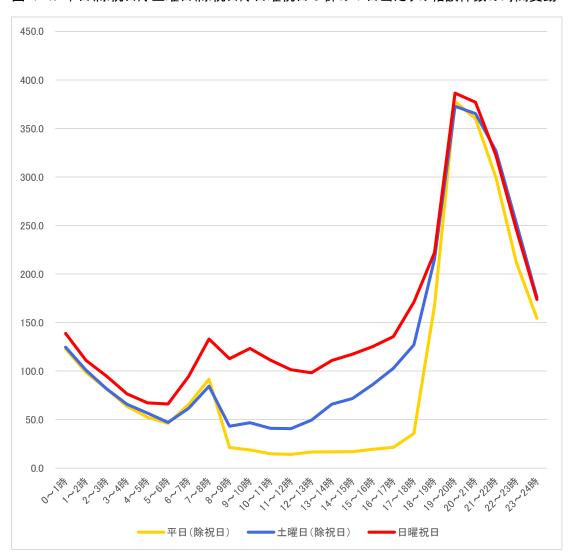
<sup>※</sup> 月~金曜日の祝日を日曜祝日に算入する調整を行って、平日、土曜日、日曜祝日の3群に分けた。平日60日、土曜日13日、日曜祝日18日になった。

表 10-2. 平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日 3 群の <u>1 日当たり</u>の時間帯別相談件数(相談件数の時間変動) 【全国】

時間帯	平日(除祝日)	土曜日(除祝日)	日曜祝日
0~1 時	122.7	124.7	138.8
1~2 時	98.6	100.9	111.0
2~3 時	81.5	81.7	94.7
3~4 時	63.6	65.7	76.5
4~5 時	52.4	56.7	67.2
5~6 時	46.1	47.1	66.1
6~7 時	65.4	61.5	94.3
7~8 時	91.6	84.4	133.1
8~9 時	21.2	43.1	112.7
9~10 時	18.7	46.8	123.3
10~11 時	14.7	40.9	111.2
11~12 時	14.1	40.7	101.3
12~13 時	16.5	49.4	98.2
13~14 時	16.7	65.9	111.0
14~15 時	16.8	71.7	117.3
15~16 時	19.3	86.2	125.3
16~17 時	21.3	102.8	135.4
17~18 時	35.7	127.0	171.0
18~19 時	167.3	215.3	222.1
19~20 時	377.9	373.0	386.4
20~21 時	360.0	365.4	377.1
21~22 時	299.3	326.9	322.1
22~23 時	211.5	252.0	245.4
23~24 時	154.3	176.0	173.8
未記入	5.1	4.7	4.8
計	2392.3	3010.5	3720.2

<sup>※</sup> 月~金曜日の祝日を日曜祝日に算入する調整を行って、平日、土曜日、日曜祝日の3群に分けた。平日60日、土曜日13日、日曜祝日18日になった。それを1日当たりに調整した。

図 7-1. 平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日3群の1日当たりの相談件数の時間変動



※ 平日(祝日を除く)、土曜日、日曜祝日の1日当たりの相談件数を求めて、平日、土曜日、日曜祝日3群の相談件数の時間変動を示した。準夜帯・深夜帯は3群ともに同じく19~20時(相談開始)をピークとして、以後漸減して0時に1/3に、深夜帯はさらに減少して5~6時に最低(1/8)に、そして朝7~8時に小さな山(1/4)になる。日曜祝日日勤帯はピーク時の約1/3で一定している。

#### 図 7-2-1. 相談件数の時間変動【北海道】

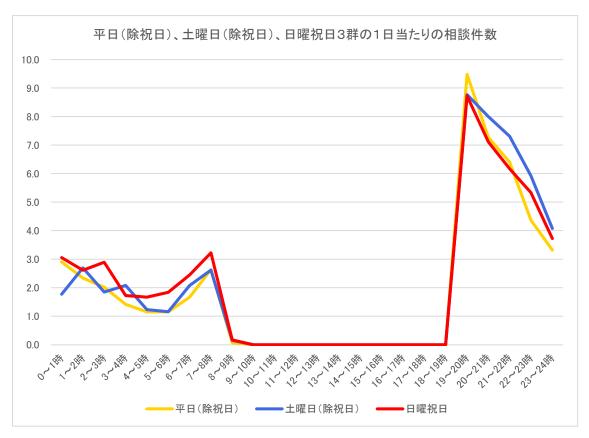
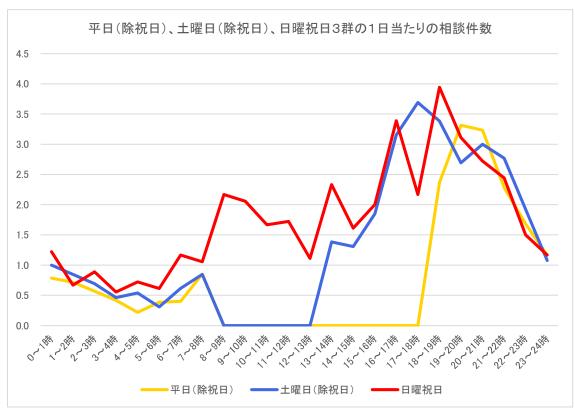


図 7-2-2. 相談件数の時間変動【青森県】



#### 図 7-2-3. 相談件数の時間変動【岩手県】

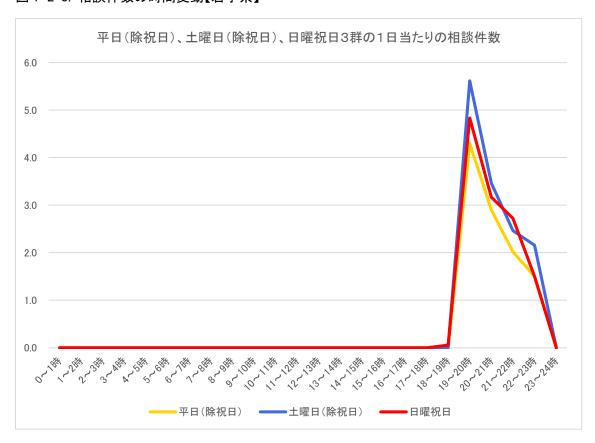
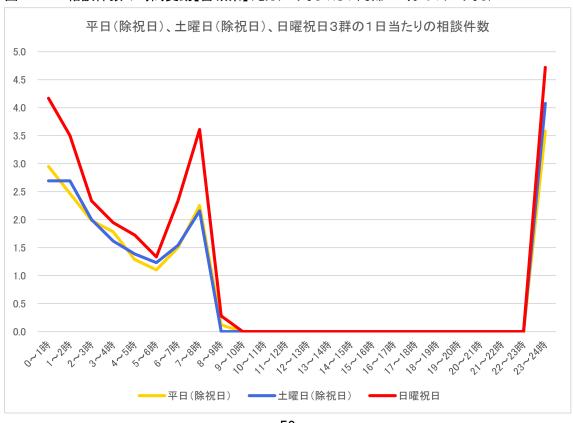


図 7-2-4. 相談件数の時間変動【宮城県】(地元データなしのため準夜帯 23 時までのデータなし)



#### 図 7-2-5. 相談件数の時間変動【秋田県】

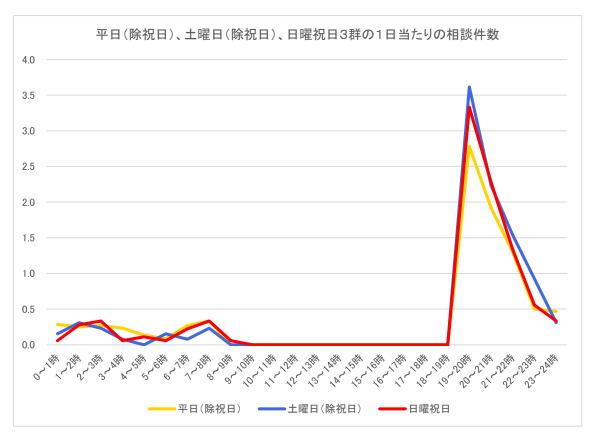
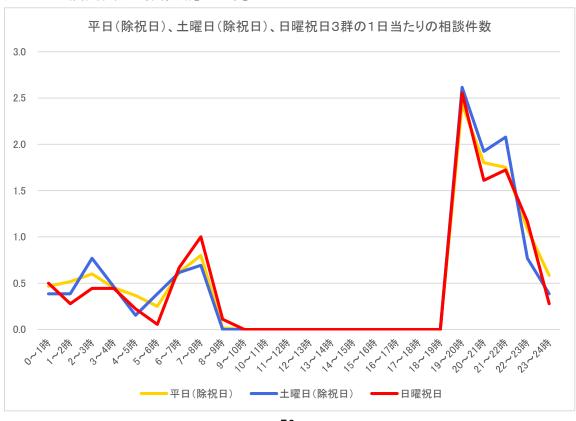


図 7-2-6. 相談件数の時間変動【山形県】



#### 図 7-2-7. 相談件数の時間変動【福島県】

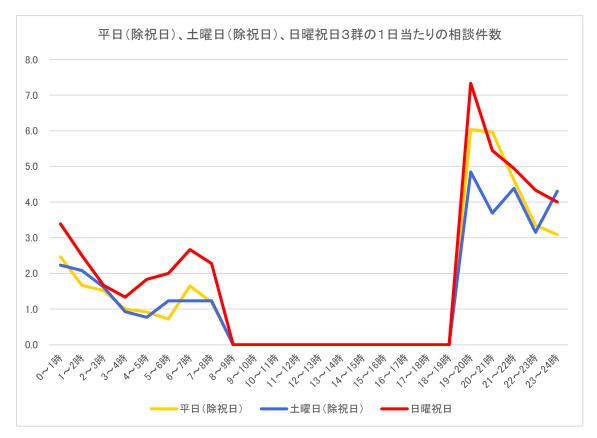
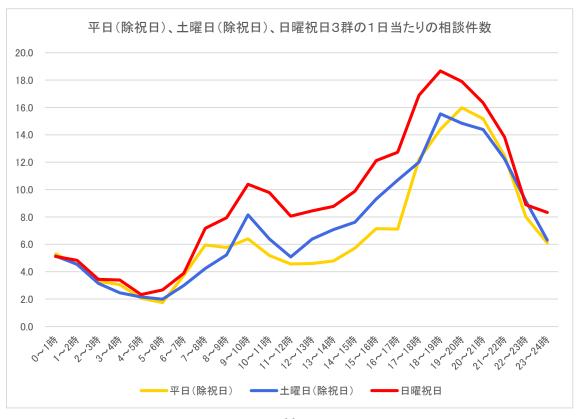


図 7-2-8. 相談件数の時間変動【茨城県】



#### 図 7-2-9. 相談件数の時間変動【栃木県】

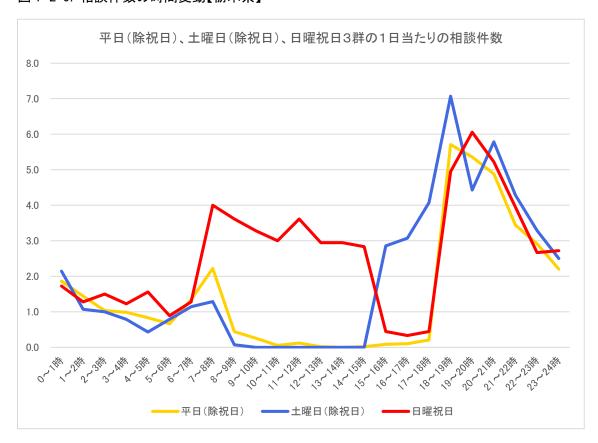
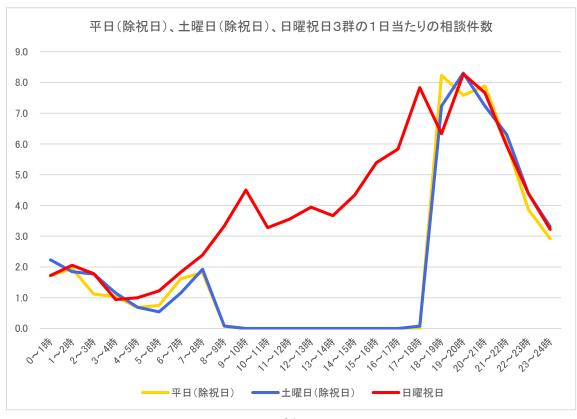
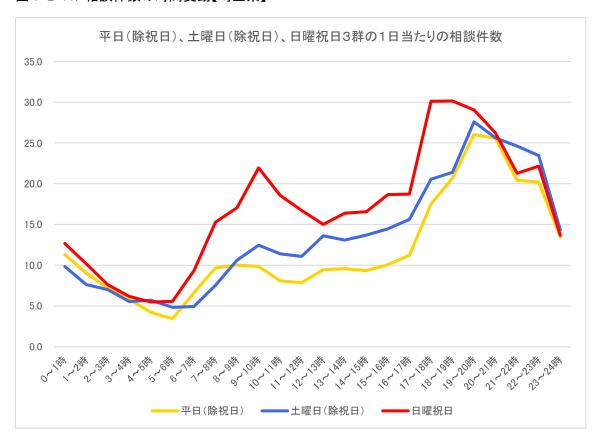


図 7-2-10. 相談件数の時間変動【群馬県】



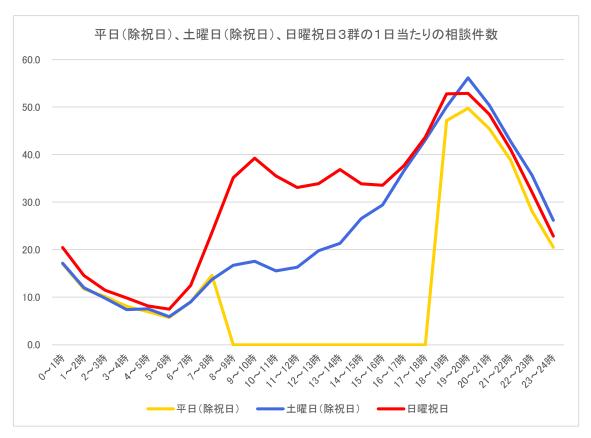
## 図 7-2-11. 相談件数の時間変動【埼玉県】



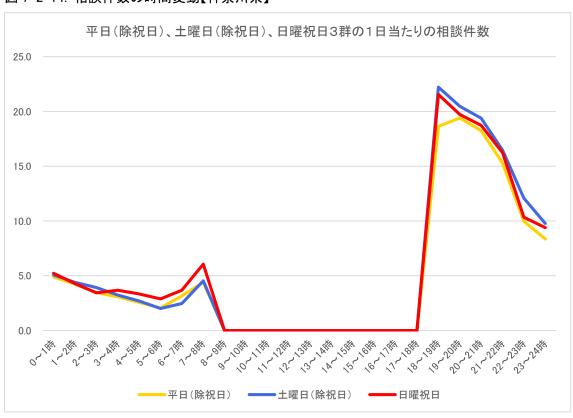
#### 図 7-2-12. 相談件数の時間変動【千葉県】



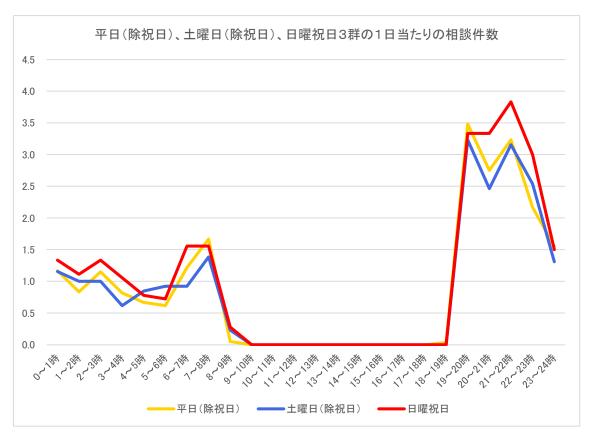
#### 図 7-2-13. 相談件数の時間変動【東京都】



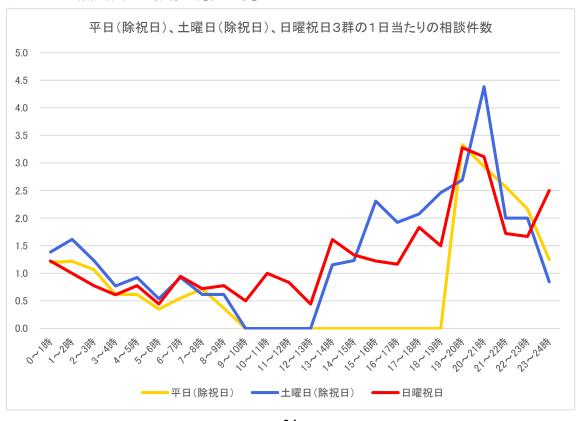
#### 図 7-2-14. 相談件数の時間変動【神奈川県】



#### 図 7-2-15. 相談件数の時間変動【新潟県】



#### 図 7-2-16. 相談件数の時間変動【富山県】



#### 図 7-2-17. 相談件数の時間変動【石川県】

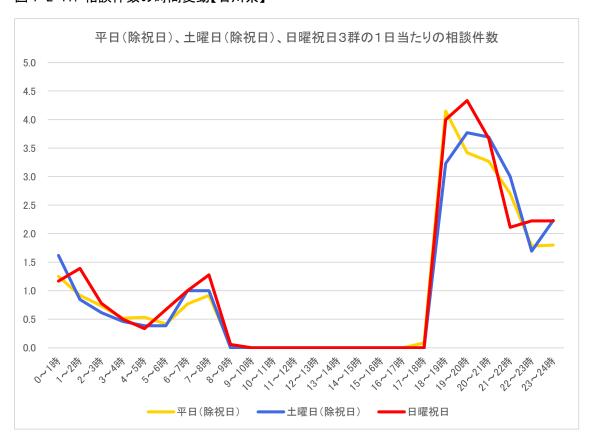
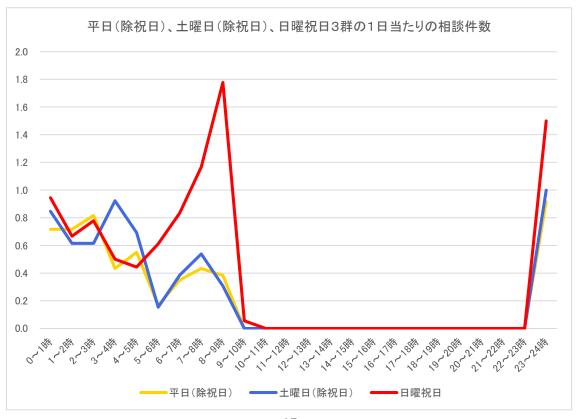
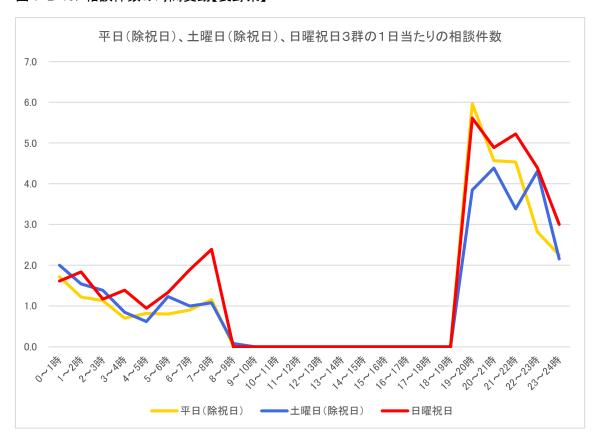


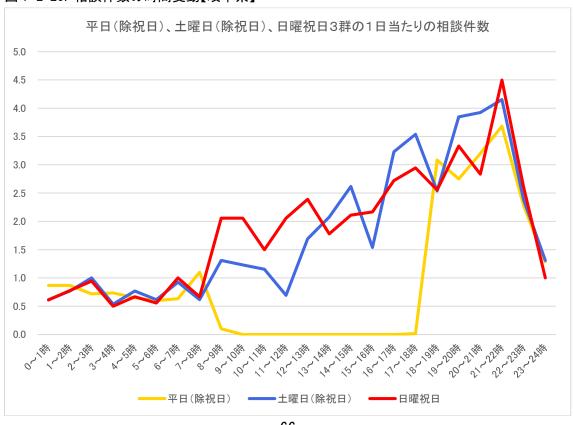
図 7-2-18. 相談件数の時間変動【福井県】(地元データなしのため準夜帯 23 時までのデータなし)



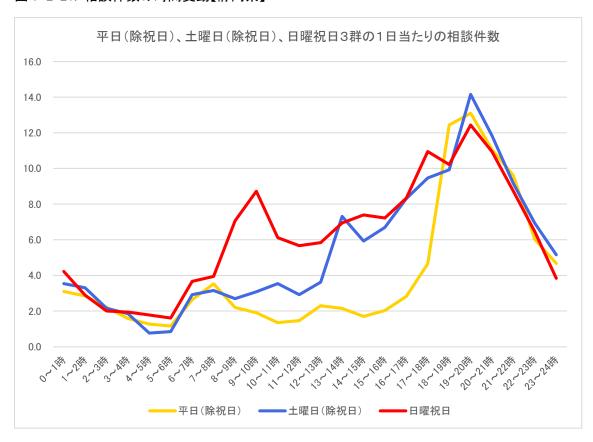
## 図 7-2-19. 相談件数の時間変動【長野県】



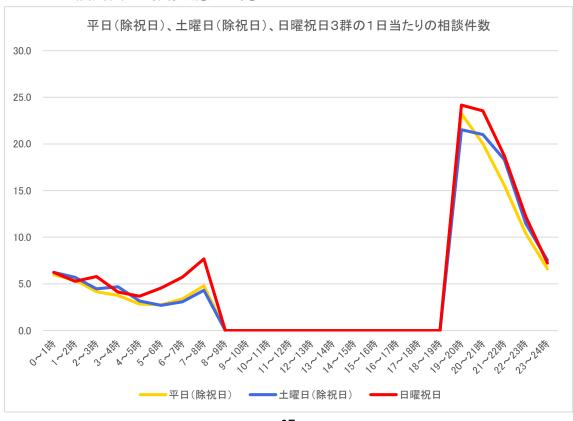
#### 図 7-2-20. 相談件数の時間変動【岐阜県】



## 図 7-2-21. 相談件数の時間変動【静岡県】



#### 図 7-2-22. 相談件数の時間変動【愛知県】



#### 図 7-2-23. 相談件数の時間変動【三重県】

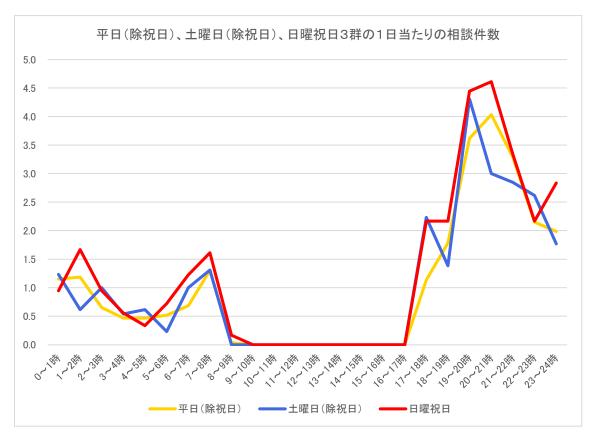
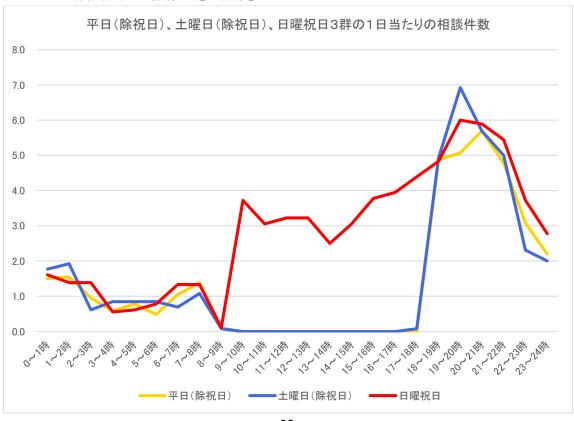
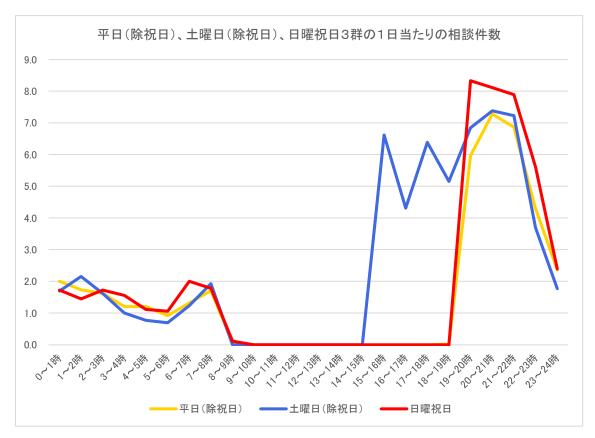


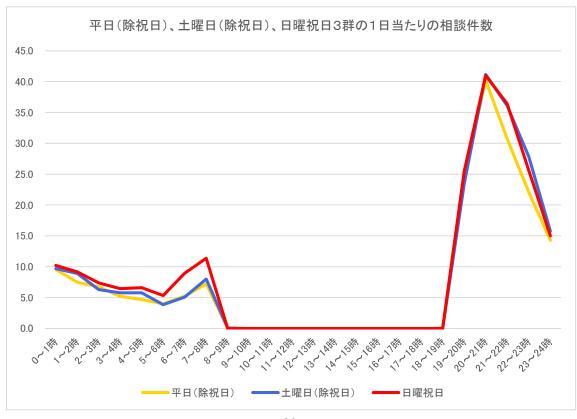
図 7-2-24. 相談件数の時間変動【滋賀県】



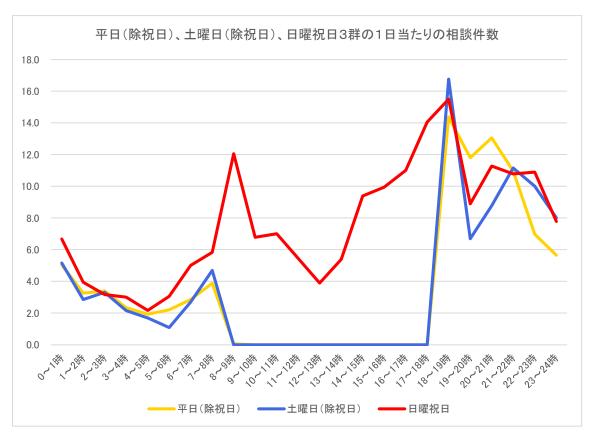
#### 図 7-2-25. 相談件数の時間変動【京都府】



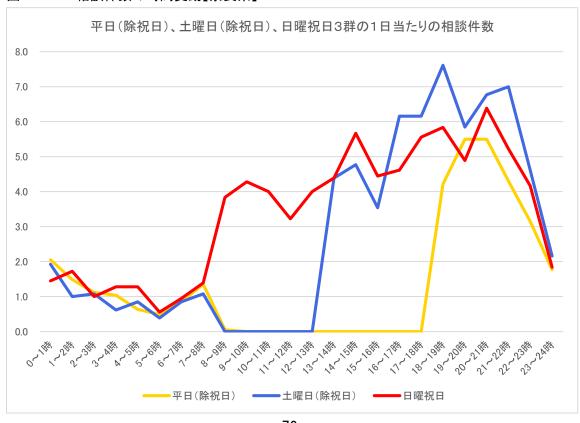
#### 図 7-2-26. 相談件数の時間変動【大阪府】



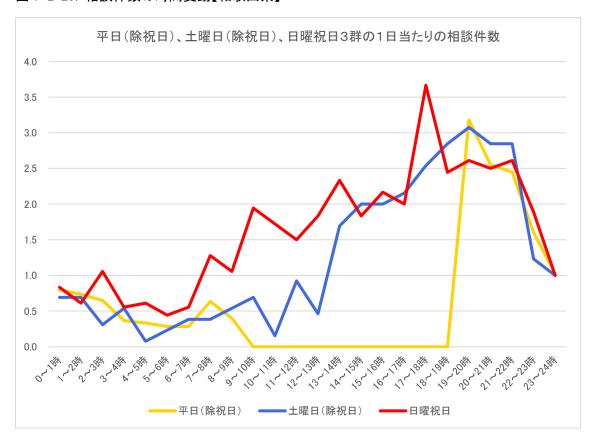
## 図 7-2-27. 相談件数の時間変動【兵庫県】



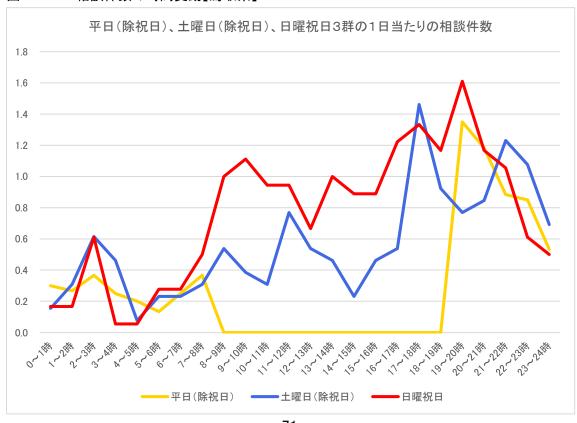
#### 図 7-2-28. 相談件数の時間変動【奈良県】



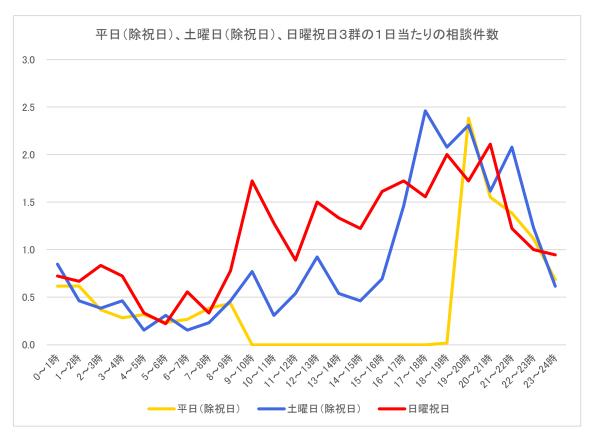
## 図 7-2-29. 相談件数の時間変動【和歌山県】



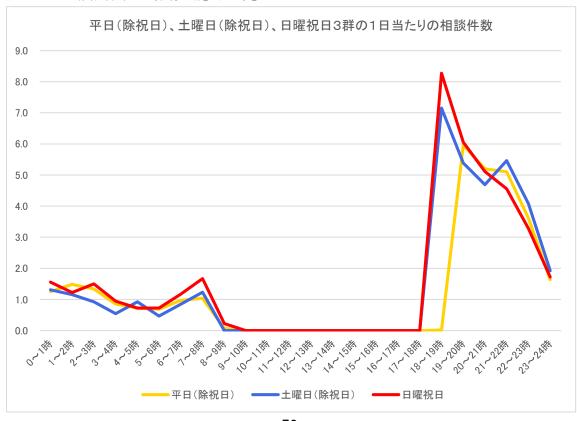
#### 図 7-2-30. 相談件数の時間変動【鳥取県】



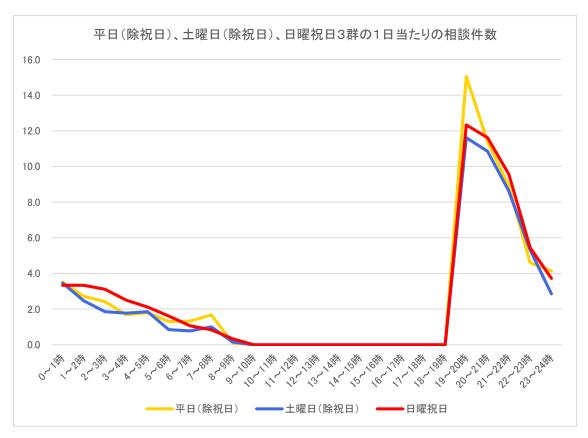
## 図 7-2-31. 相談件数の時間変動【島根県】



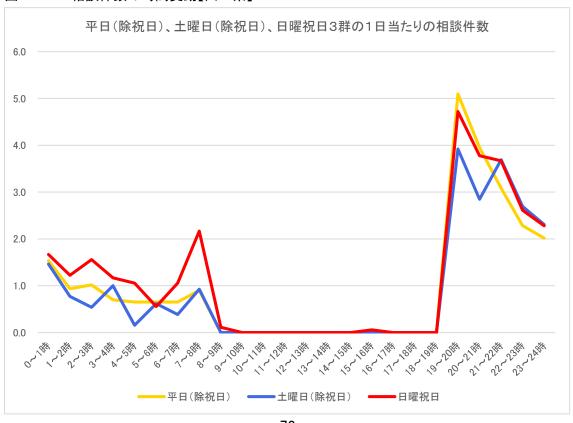
#### 図 7-2-32. 相談件数の時間変動【岡山県】



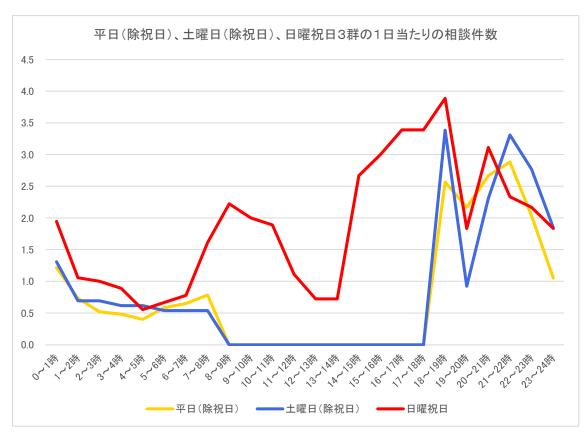
## 図 7-2-33. 相談件数の時間変動【広島県】



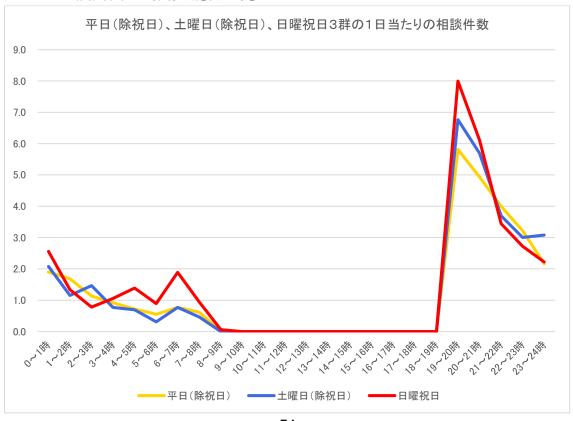
## 図 7-2-34 相談件数の時間変動【山口県】



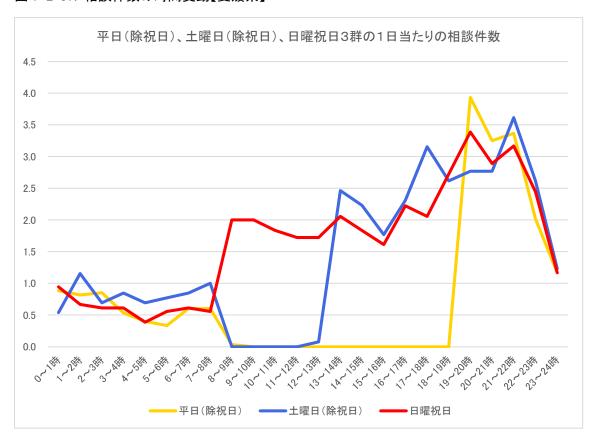
## 図 7-2-35. 相談件数の時間変動【徳島県】



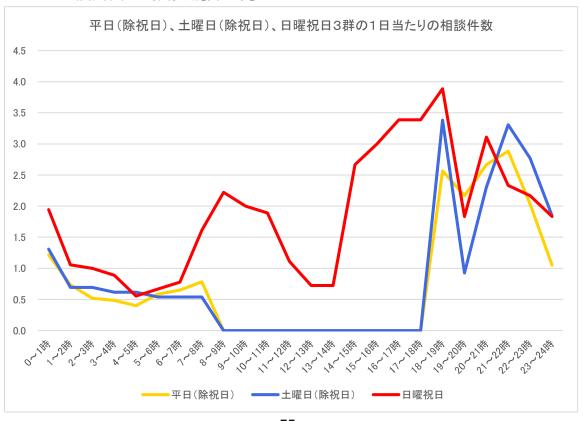
## 図 7-2-36. 相談件数の時間変動【香川県】



## 図 7-2-37. 相談件数の時間変動【愛媛県】



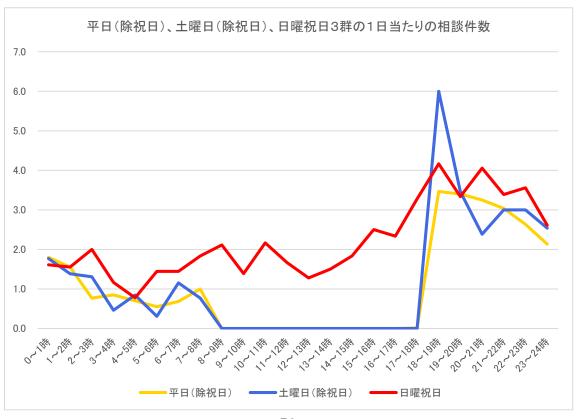
## 図 7-2-38. 相談件数の時間変動【高知県】



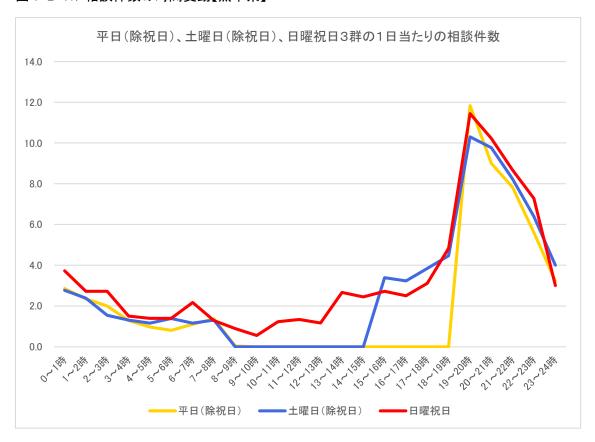
## 図 7-2-39. 相談件数の時間変動【佐賀県】



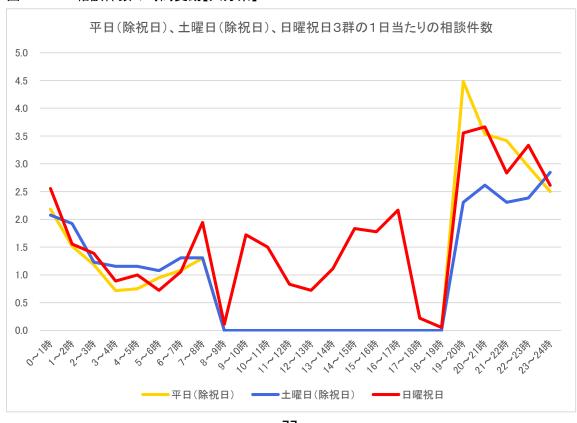
## 図 7-2-40. 相談件数の時間変動【長崎県】



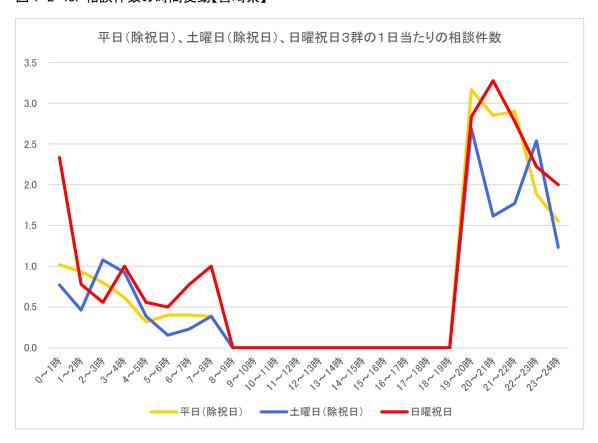
## 図 7-2-41. 相談件数の時間変動【熊本県】



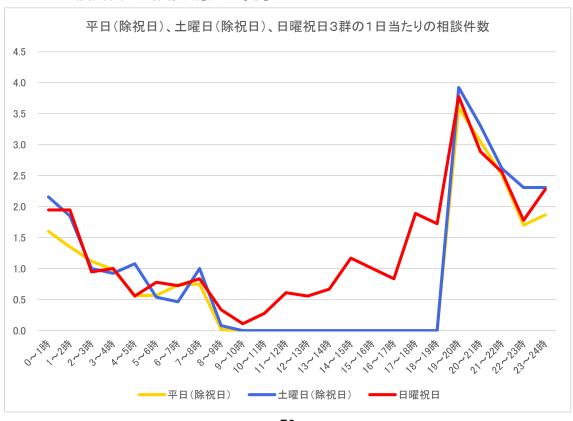
## 図 7-2-42. 相談件数の時間変動【大分県】



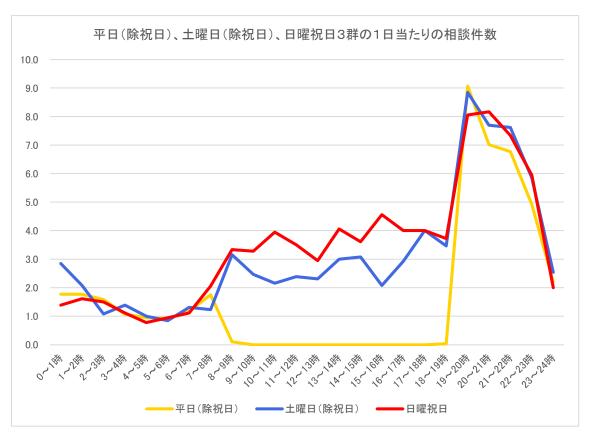
## 図 7-2-43. 相談件数の時間変動【宮崎県】



## 図 7-2-44. 相談件数の時間変動【鹿児島県】



## 図 7-2-45. 相談件数の時間変動【沖縄県】



### Ⅳ-4. #8000 事業の相談対象児の分析

《#8000 事業の相談対象児年齢・性別》

相談対象児の年齢分布をみた。小学生、中学生でまとめている東京都を除く44道府県・事業者の協力によって対象児年齢のデータ取得率が改善しするとともに、1歳未満をまとめたことにより、高い精度の相談対象児の年齢分布を得ることができた。(表 4、表 11、図 8)

相談対象児の年齢分布割合は、1 歳未満 22.6%、2 歳未満 42.5%、3 歳未満 56.0%であり、低年齢児が多かった。また、男女比=1.19 で男子が多く、男子の相談が多い傾向があった。0~2 歳の子どもを持つ保護者への支援は、さらに必要であるとともに、#8000 事業は、乳幼児早期の二一ズが大きいと考えられたことから、子どもの急病の不安解消や保護者が子育てに楽しみと自信を持つことに貢献していると思われた。

#### 《#8000 事業の主訴》

#8000 事業の主訴について、総相談件数 249,637 件に対する割合を求めた(複数回答あり)。 割合順では発熱 31.3%、咳 9.4%、嘔気・嘔吐 9.2%、頭部以外の外傷 8.4%、頭部打撲 7.4%、腹痛 5.5%、耳・鼻・のどの異常 5.5%、発疹(じんましん)4.7%、異物誤飲 4.6%、下痢 4.3%であった。系統別 にすると、消化器系主訴 20.5%(嘔気・嘔吐、下痢、腹痛、便の異常)、呼吸器系主訴 22.7%(咳、喘 鳴(息苦しそう),鼻水・鼻づまり、耳・鼻・のどの異常)、外因系主訴 21.1%(頭部打撲、頭部外の 外傷、異物誤飲、熱傷)であった。

令和元年~4年度の主訴の割合の経年変化(表 12)をみると、令和 2~3年度に認めた発熱主訴の減少と外因系主訴の増加は、それぞれが令和元年度の状況(COVID-19前)に戻りつつある。消化器系主訴(嘔気・嘔吐、下痢、腹痛、便の異常)は減少したままである。呼吸器系主訴は令和 3年度以降漸増を続けている。以上の変化は新型コロナウイルスパンデミックが影響していると思われた。呼吸器疾患に対する保護者の不安が増している状況が推察されるので、今後、呼吸器系主訴についての啓発が必要と考えられた。

#### 《第1子あるいは子ども一人の家庭(相談対象児の視点で)》

第1子あるいは子ども一人の家庭(兄姉がいない)の割合を兄姉の有無から求めて、第1子あるいは子ども一人の家庭にどのようなニーズがあるかをみた。第1子あるいは子ども一人の家庭(兄姉がいない)の割合は48.7%で経年的に一定していた。(表30)

主訴別の第 1 子あるいは子ども一人の家庭の割合を見ることにより、第 1 子あるいは子ども一人の家庭ではどのような主訴が増えるかを調べた。(表 13、図 9)

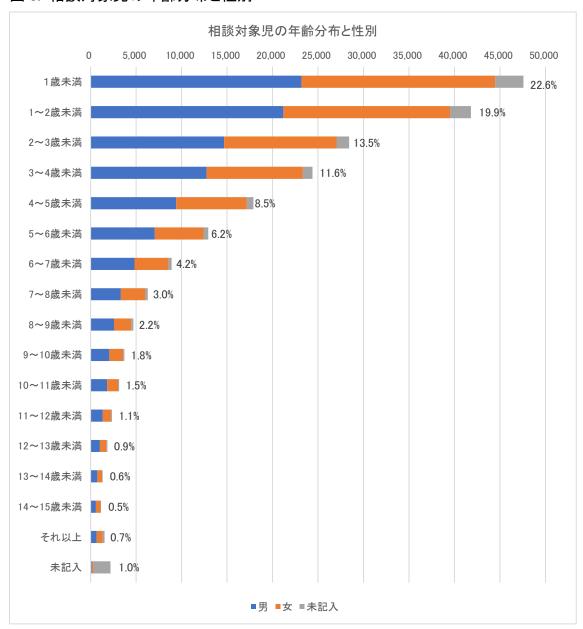
第1子あるいは子ども一人の家庭の割合が50%以上となる主訴は、嘔気・嘔吐、下痢、便の異常、尿の異常、啼泣・なきやまない、頭部外傷、熱傷、予防接種であり、特に平均+1SD(56.9%)を越えたのは、啼泣・なきやまない70.1%、下痢58.3%、便の異常59.0%であった。これは、第1子あるいは子ども一人の保護者の不安を反映していると考えられた。啓発活動の参考にしていただきたい。

表 11. 相談対象児の年齢分布と性別

相談対象児年齢	男	女	未記入	計	割合
1歳未満	23,172	21,296	3,116	47,584	22.6%
1~2 歳未満	21,184	18,312	2,312	41,808	19.9%
2~3 歳未満	14,690	12,340	1,385	28,415	13.5%
3~4 歳未満	12,773	10,559	1,059	24,391	11.6%
4~5 歳未満	9,424	7,752	725	17,901	8.5%
5~6 歳未満	7,070	5,340	532	12,942	6.2%
6~7 歳未満	4,825	3,737	358	8,920	4.2%
7~8 歳未満	3,341	2,679	273	6,293	3.0%
8~9 歳未満	2,573	1,913	217	4,703	2.2%
9~10 歳未満	2,077	1,506	148	3,731	1.8%
10~11 歳未満	1,821	1,193	137	3,151	1.5%
11~12 歳未満	1,349	900	103	2,352	1.1%
12~13 歳未満	1,032	710	109	1,851	0.9%
13~14 歳未満	747	521	67	1,335	0.6%
14~15 歳未満	599	509	44	1,152	0.5%
それ以上	683	647	219	1,549	0.7%
未記入	141	128	1,921	2,190	1.0%
計(件数)	107,501	90,042	12,725	210,268	100.0%
計(割合)	51.1%	42.8%	6.1%	100.0%	_

<sup>※</sup> 東京都(小学生、中学生でまとめている)を除く44道府県のデータである。1歳未満を一括して示した。

# 図 8. 相談対象児の年齢分布と性別



※ 44 道府県のデータである(小学生中学生を複数年齢でまとめている東京都を除く)。1 歳未満を一括して示した。 茨城県、埼玉県、神奈川県、富山県、静岡県、愛知県、香川県、佐賀県、鹿児島県を繰り入れた。1 歳未満 22.6%、2 歳未満 42.5%、3 歳未満 56.0%で、低年齢児が多い。男女比=1.19 で男子が多い。

表 12. 主訴の割合の経年変化(令和元年、2年、3年、4年度)

主訴	令和元年	令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度
発熱	31.9%	22.4%	23.3%	31.3%
嘔気・嘔吐	16.2%	12.1%	10.3%	9.2%
咳	5.5%	3.9%	6.4%	9.4%
喘鳴(息苦しそう)	1.2%	1.2%	3.6%	5.0%
鼻水・鼻づまり	2.3%	2.4%	2.9%	2.8%
下痢	6.2%	4.2%	4.5%	4.3%
腹痛	6.8%	6.3%	6.1%	5.5%
便の異常(血便・便秘)	1.5%	1.5%	1.7%	1.5%
頭痛	1.3%	1.1%	1.2%	1.5%
けいれん・ふるえ	1.6%	1.3%	1.4%	1.6%
啼泣・なきやまない	1.4%	2.7%	2.8%	2.2%
発疹(じんましん)	5.2%	5.6%	5.9%	4.7%
頭部打撲	6.7%	10.3%	11.2%	7.4%
頭部以外の外傷	7.3%	13.8%	10.6%	8.4%
異物誤飲	3.7%	6.2%	5.8%	4.6%
熱傷	0.9%	1.4%	1.2%	0.8%
耳漏	0.9%	0.7%	-	-
耳・鼻・のどの異常	3.7%	4.0%	4.3%	5.5%
目の異常	1.0%	0.9%	0.7%	0.5%
歯・口腔の異常	1.3%	2.2%	1.3%	0.8%
尿の異常	0.4%	0.5%	0.3%	0.2%
薬	1.4%	1.2%	1.2%	1.4%
予防接種	0.7%	1.1%	1.2%	0.8%
その他	8.6%	6.8%	14.6%	17.6%

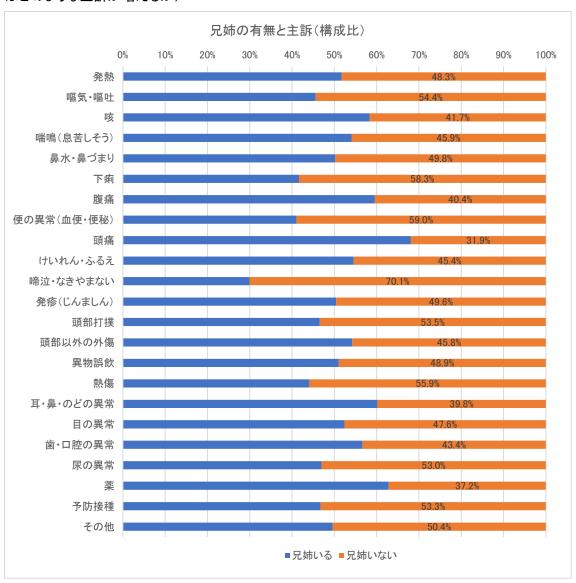
<sup>※</sup> 調査時期: 令和元年度 2019 年 12 月~2020 年 2 月、令和 2 年度 2020 年 12 月~2021 年 2 月、令和 3 年度 2021 年 9 月 ~11 月、令和 4 年度 9 月~11 月。令和 3 年度から耳漏を耳・鼻・のどの異常に一括した。令和 2~3 年度の発熱の減少と外因系主訴の増加が令和元年度の状況に戻った。呼吸器系主訴(咳、喘鳴(息苦しそう)、鼻水・鼻づまり)は増加傾向が続いている。

表 13. 主訴別の第 1 子あるいは子ども一人の家庭の割合

		兄姉 <i>0</i>	D有無		第1子あるい
主訴	兄姉し	る	兄姉い	ない	は子供1人の
	件数	割合	件数	割合	家庭の割合
発熱	9,215	11.8%	8,611	11.0%	48.3%
嘔気·嘔吐	1,708	7.5%	2,040	8.9%	54.4%
咳	2,466	10.5%	1,761	7.5%	41.7%
喘鳴(息苦しそう)	1,581	12.7%	1,344	10.8%	45.9%
鼻水・鼻づまり	425	6.1%	421	6.1%	49.8%
下痢	439	4.1%	615	5.7%	58.3%
腹痛	985	7.2%	668	4.9%	40.4%
便の異常(血便・便秘)	382	10.2%	549	14.6%	59.0%
頭痛	467	12.7%	219	6.0%	31.9%
けいれん・ふるえ	491	12.0%	409	10.0%	45.4%
啼泣・なきやまない	329	6.0%	770	14.1%	70.1%
発疹(じんましん)	1,052	8.9%	1,034	8.7%	49.6%
頭部打撲	1,844	10.0%	2,118	11.4%	53.5%
頭部以外の外傷	2,022	9.7%	1,706	8.2%	45.8%
異物誤飲	1,165	10.3%	1,116	9.8%	48.9%
熱傷	142	7.3%	180	9.3%	55.9%
耳・鼻・のどの異常	1,686	12.4%	1,116	8.2%	39.8%
目の異常	142	12.5%	129	11.4%	47.6%
歯・口腔の異常	290	15.3%	222	11.7%	43.4%
尿の異常	93	15.4%	105	17.4%	53.0%
薬	299	8.8%	177	5.2%	37.2%
予防接種	199	9.6%	227	11.0%	53.3%
その他	2,814	6.4%	2,862	6.5%	50.4%
計	30,236	9.5%	28,399	9.0%	48.4%

<sup>※</sup> 第1子あるいは子ども一人の家庭の割合が50%以上の主訴は、嘔気・嘔吐、下痢、便の異常、尿の異常、啼泣・なきやまない、頭部外傷、熱傷、予防接種で、特に平均+1SD以上は啼泣・なきやまない、下痢、便の異常である。

図 9 主訴別の第 1 子あるいは子ども一人の家庭の割合(第 1 子あるいは子ども一人の家庭ではどのような主訴が増えるか)



※ 第1子あるいは子ども一人の家庭の割合が50%以上の主訴は、嘔気・嘔吐、下痢、便の異常、尿の異常、啼泣・なきやまない、頭部外傷、熱傷、予防接種で、特に平均+1SD以上は啼泣・なきやまない、下痢、便の異常である。

### Ⅳ-5. #8000 事業の相談者の分析

### 《相談者の続柄》

相談者の続柄(Ⅲ-7)は、母親82.7%、父親16.1%、祖母0.3%、祖父0.1%で、母親がほとんどであった。相談時間帯別に父親/母親比をみると(表15、図10)、20時~4時に0.20以上(最大0.25)に増えるが、働く母親が増えている現状からみると、父親の育児参加はまだ少ないと考えられた。

### 《相談者の年代》

どの年代の保護者が利用するかをみた。未記入を除いた割合(表 16)は、10代 0.1%、20代 16.4%、30代 66.6%、40代 16.4%であり、今年度は40代が20代より増えていた。母の出産年齢(5歳階級別)については、2020年度 110と比較して40代が多く認めた。

### 《相談目的の分類・目的》

どのような目的で#8000 を利用しているかをみた。相談者が救急医療相談と医療機関案内の両方を要望する場合、相談対応者が両方を情報提供した場合に、どちらに入れるか相談対応者が迷うので、「救急医療相談+医療機関案内」の選択肢を作ってデータ収集した(表 17)。救急医療相談合計(救急医療相談と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)58.7%、医療機関案内合計(医療機関案内と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)14.6%、薬 1.9%、ホームケア 2.0%、育児相談 1.1%であり、救急医療相談が主であったが、医療機関案内のニーズもあった。その他が29.0%と比較的多いため、今後、分析が必要と思われた。

### 《第1子あるいは子ども一人の家庭(相談者の視点で)》

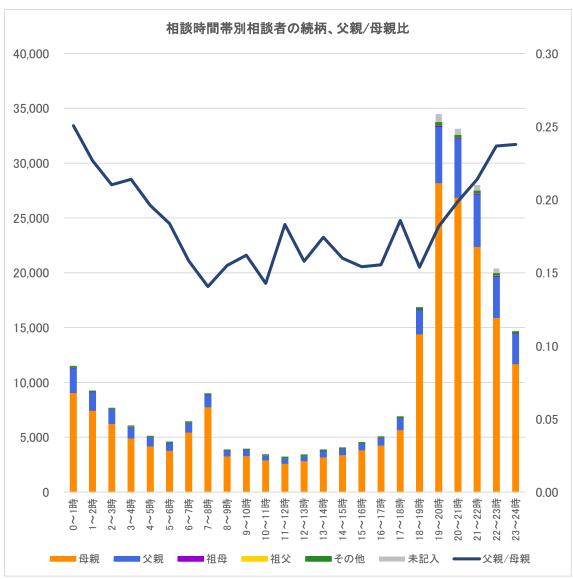
第 1 子あるいは子ども一人の家庭の割合は 48.7%であり、母の年齢(5 歳階級別)については、2020 年度 <sup>10))</sup>の第 1 子割合(46.7%)を超えてきている。既に述べたが、第 1 子あるいは子ども1人の家庭が約半数で、その割合が高い主訴は、啼泣・なきやまない、予防接種、尿の異常と、嘔気・嘔吐、下痢、便の異常等の消化器系の異常、頭部外傷、熱傷等の事故・外傷であった。第 1 子誕生時からこれらについての啓発を進める必要性があると考えられた。(表 13、図 9)

表 15 相談時間帯別相談者続柄

時間帯	母親	父親	祖母	祖父	その他	未記入	計	父親/母親
0~1 時	9,072	2,274	34	7	90	6	11,483	0.25
1~2 時	7,459	1,691	16	4	48	6	9,224	0.23
2~3 時	6,265	1,317	25	2	43	4	7,656	0.21
3~4 時	4,931	1,055	16	3	41	1	6,047	0.21
4~5 時	4,203	824	15	4	41	3	5,090	0.20
5~6 時	3,810	700	14	3	34	4	4,565	0.18
6~7 時	5,469	865	18	5	61	4	6,422	0.16
7~8 時	7,772	1,093	33	3	71	17	8,989	0.14
8~9 時	3,291	510	23	4	29	2	3,859	0.15
9~10 時	3,321	538	16	3	52	22	3,952	0.16
10~11 時	2,928	418	13	3	51	2	3,415	0.14
11~12 時	2,628	481	14	4	65	8	3,200	0.18
12~13 時	2,869	453	9	8	57	3	3,399	0.16
13~14 時	3,213	560	17	4	51	9	3,854	0.17
14~15 時	3,415	546	22	1	63	6	4,053	0.16
15~16 時	3,853	594	19	4	58	7	4,535	0.15
16~17 時	4,291	667	18	10	57	8	5,051	0.16
17~18 時	5,696	1,058	24	6	85	3	6,872	0.19
18~19 時	14,426	2,219	50	8	123	10	16,836	0.15
19~20 時	28,211	5,128	112	18	267	741	34,477	0.18
20~21 時	26,883	5,343	92	24	222	575	33,139	0.20
21~22 時	22,397	4,792	83	17	191	528	28,008	0.21
22~23 時	15,925	3,770	72	21	185	412	20,385	0.24
23~24 時	11,702	2,782	45	9	122	15	14,675	0.24
未記入	34	6	0	0	0	411	451	0.18
計	204,064	39,684	800	175	2,107	2,807	249,637	0.19

<sup>※</sup> 父親/母親比は 0.14~0.25 の間で変動し、20 時~4 時に多くなる。

図 10. 相談時間帯別相談者の続柄、父親/母親比



<sup>※</sup> 父親/母親比は 0.14~0.25 の間で変動し、20 時~4 時に多くなる。

表 16 相談者の年代(未記入を除いた検討)

年齢	件数	未記入を含んだ割合	未記入を除いた割合	2021-2022 年度母親の出産年齢
10 代	84	0.0%	0.1%	0.8%
20 代	11,897	4.8%	16.4%	33.8%
30 代	48,371	19.4%	66.6%	59.4%
40 代	11,884	4.8%	16.4%	5.9%
50 代以上	357	0.1%	0.5%	0.01%
未記入	177,044	70.9%	-	-
計	249,637	100.0%	100.0%	100.0%

<sup>※ 2020</sup> 年度母親の出産年齢割合 10)を併記した。

表 17. 相談の分類・目的(未記入を除いた割合、p35 III 6 の図を再掲)

相談の分類・目的	件数	割合	未記入を除いた割合
救急医療相談(緊急助言)	120,761	48.4%	51.3%
医療機関案内	17,043	6.8%	7.2%
救急医療相談+医療機関案内	17,441	7.0%	7.4%
薬	4,541	1.8%	1.9%
ホームケア	4,717	1.9%	2.0%
育児相談	2,566	1.0%	1.1%
その他	68,354	27.4%	29.0%
未記入	14,214	5.7%	
計	249,637	100.0%	

<sup>※</sup> 救急医療相談合計(救急医療相談と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)58.7%、医療機関案内合計(医療機関案内と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)14.6%で、救急医療相談(緊急助言)が多い。

図 11. 相談の分類・目的(未記入を除いた割合、p35.Ⅲ-6 の図を再掲)



※ 救急医療相談合計(救急医療相談と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)58.7%、医療機関案内合計(医療機関案内 と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)14.6%で、救急医療相談(緊急助言)が多い。薬、ホームケア)、育児相談は少ない。

### Ⅳ-6. #8000 事業の相談対応の分析

《都道府県別緊急度判定(受診の判断)の分析》

相談対応者(看護師)による緊急度判定は、今受診すべきか、明日まで待つことができるかの判断を、相談対応者がどのように相談者に伝えたかを示すものであり、未記入を含めて分析した。

集計結果Ⅲ-13の構成比は、「119番をすすめた」2.3%、「直ぐに病院に行くようにすすめた」23.4%、「翌日に受診することをすすめた」23.1%、「何かあれば受診することをすすめた」25.6%、「受診をする必要はない」20.4%、「その他」2.0%、未記入 3.2%であった。直ぐ受診(「119番をすすめた」+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)の割合は 25.7%であった。119番と翌日受診がそれぞれ、1.5%→2.3%、16.8%→23.1%と前年度より増えていた。(図 12)

都道府県別では、前年度と同様に都道府県間および事業者間で差違を認め。事業者間に緊急度判定の文言の解釈の違いがあると思われた。直ぐ受診(「119番をすすめた」+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)の解釈は共通のはずだが、前年度は最大値49.2%と高く、トリアージがうまく行われていないと思われた。そこで、今年度は都道府県#8000担当者会議や都道府県あるいは事業者との個別会議で話し合った。それによって、今年度は平均25.3%、最小11.3%、最大39.8%となった。(表18-1、図13-1、表18-2、図13-2)

《緊急度判定と発症時期、相談対応時間、相談前受診(受診後電話相談)、相談者の満足度(相談対応者による印象)、相談対応困難》

発症時期と相談のタイミングは、発症から短時間であるほど緊急度が高い傾向にあった。ただし、発症時期未記入が最も緊急度が高くなっていたため、発症時期未記入自体の分析が必要と思われた。また、発症時期のデータ取得率を高めることも必要であると考えられた。(表 19)

相談対応時間は 4~5 分未満が最も多く、3~7 分未満が 64.2%を占める。15 分以上は 1,177 件 0.9%であった。相談前受診(受診後電話相談)は 15.0%であった。医師の助言・対応は 394 件、0.16%であった。相談者の満足度(相談対応者の印象)で不満気は 1,082 件、0.6%であった。相談対応者の対応困難は 116 件、0.05%であった。

相談前受診(受診後電話相談)は緊急度が低い傾向にあった。ただし、相談前受診の有無不明の場合、ある程度緊急度が高く、特に翌日受診の割合が高い傾向にあったことから、さらなる分析が必要であると考えられた。(表 20)

満足度(相談対応者による印象)と相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断に関する分析では、何かあれば受診することをすすめたで満足度(満足度割合/不満気割合が高い)が高くなる傾向が見られた。今受診の必要はないこと、どのような場合に受診が必要かを丁寧に説明対応することが、満足度を高める可能性があると考えられた。(表 21)

《相談業務経験年数別の相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)》

電話相談業務経験年数で緊急度判定に違いがあるかを分析した。相談業務経験年数を5年 未満、5年以上10年未満、10年以上に分けて、緊急度判定を調べた結果、5年以上10年未満 で、直ぐ受診が減り、翌日受診と何かあれば受診が増える傾向があり、特に何かあれば受診と対応した件数が多い傾向にあった。このことは、相談業務経験年数 5 年間が次のステップにアップする、一応の基準になると考えられた。(表 22、図 14)

### 《相談対応者(看護師)が受診すべきと考えた診療科》

相談対応者がどのような診療科の受診を勧めているかを分析した。相談対応者(看護師)が受診すべきと考えた診療科の割合は、前年度と同じく小児科が 2/3 で、外科系が 1/4 であった。その他が 12.1%に増えている。(図 15)

直ぐ受診(「119番をすすめた」+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)の割合を診療科別にみたところ、小児科 23.2%、外科系 11.3~36.2%、その他 47.4%で、その他の診療科の緊急度が高い。その他は、急患センター、ER 等を含んでおり、近年の救急医療体制の変化を反映していると考えられた。ただし、臓器別診療科と医療機関案内とが混在していると思われ、次年度の検討課題とする。(表 23)

《主訴と緊急度判定(受診の判断)、医師の助言・対応、相談対応者(看護師)の対応困難、相談対応時間 15 分以上、相談前受診(受診後電話相談)》

主訴別の緊急度判定の割合は、直ぐに受診(「119 番をすすめた」+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)は平均 27.4%、最小 5.2%、最大 54.3%、SD11.5%であった。平均+1SD(38.9%)以上であり、緊急度が高いのは、喘鳴(息苦しそう)48.7%、けいれん・ふるえ 54.3%、熱傷 46.2%であった。(表24)

医師の助言・対応を要するのはどのような場合かを分析した。主訴別医師の助言・対応を要した割合(表 25)は、全体では 0.16%であったが、薬 1.99%、異物誤飲 0.52%を多く認めた。薬に関する相談は特に多いため、前年度も述べたが、薬の内服等に関する説明について、別の情報提供ツールが必要と思われた。次年度の課題とする。

相談対応者(看護師)の対応感想(対応で困ったこと) で、対応困難ありは 118 件と少なかった。(Ⅲ-18)

また、対応困難あり/(対応困難あり+なし)は、平均 0.13%、SD0.12%で、平均+1SD(0.25%)以上の主訴は、喘鳴(息苦しそう)、便の異常(血便・便秘)、薬であった。(表 26)

相談対応時間(相談対応に要した時間)15分以上の主訴の割合が全体の主訴の割合よりも増加したのは、発熱、鼻水・鼻づまり、けいれん・ふるえ、尿の異常、薬であった。(表 27)

相談前受診(受診後電話相談)の場合は、電話相談時の緊急度判定について、直ぐに受診 (「119 番をすすめた」+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)は平均 14.9%(最小 1.7%、最大 35.8%、 SD9.1%)であり、(表 28-1)。平均+1SD(24.0%)以上であった主訴は、発熱 27.2%、咳 35.8%、鼻水・鼻づまり 27.5%、薬 31.2%であった。これらは受診後にも不安が残って電話相談してくることが多く なっていると考えられた。(表 27)

相談前受診ありの主訴の割合は、発熱 37.4%、咳 15.2%、嘔気・嘔吐 6.2%で他は 5%未満であった。(表 28-2)

### 《諸状況によって割合が高くなる主訴》

調査した幾つかの項目と主訴の割合との関係を検討したところ、諸状況によって割合が高くなる主訴の傾向を認めた。相談対応時の参考資料になるので、まとめて表 29 に示した。

119 番あるいは直ぐ受診と判定された主訴は、喘鳴(息苦しそう)、けいれん・ふるえ、熱傷が有意(平均+1SD、以下同様)に多く、医師の助言・対応を要した主訴は、異物誤飲と薬が有意に多かった。また、相談対応者の対応困難が有意に多かった主訴は喘鳴(息苦しそう)、薬であり、相談時間 15 分以上を要した主訴は、発熱、鼻水・鼻づまり、けいれん・ふるえ、尿の異常、薬が有意に多かった。さらに、相談前受診(受診後電話相談)は発熱、咳、鼻水・鼻づまり、薬で有意に多く、相談対象児が第一子あるいは子ども一人家庭は下痢、便の異常(血便・便秘)、啼泣・なきやまないを主訴とした相談が有意(平均+1SD)に多かった。相談対応時、および啓発活動の参考にしていただきたい。

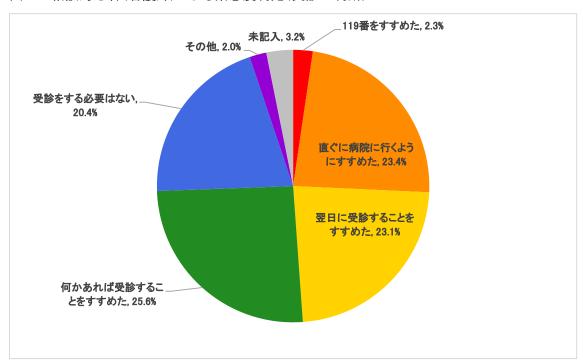


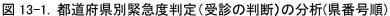
図 12. 相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)

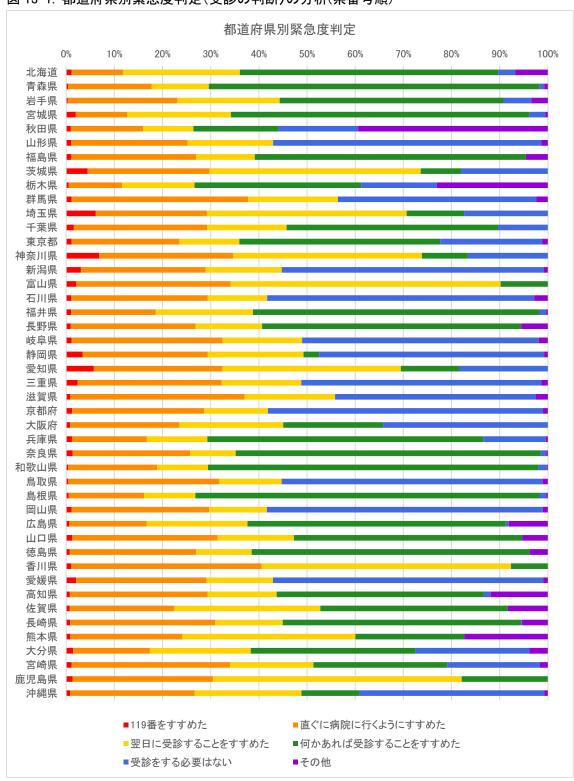
※ Ⅲ-13 を円グラフにした。未記入を除かない割合で検討する。119 番+直ぐ受診は 25.7%である。119 番と翌日受診がそれぞれ、1.5%→2.3%、16.8%→23.1%と増えている。

表 18-1 都道府県別緊急判定(受診の判断)の分析(県番号順)

都道 府県 番号	都道府県	119番をすす めた	直ぐに病院に 行くようにす すめた	翌日に受診 することをす すめた	何かあれば 受診すること をすすめた	受診をする必要はない	その他	未記入	(119番+直ぐ 受診)割合	受診不要割合
	邻道府県	2.3%	23.4%	23.1%	25.6%	20.4%	2.0%	3.2%	25.7%	20.4%
1	北海道	1.1%	10.5%	23.9%	52.9%	3.6%	6.6%	1.3%	11.7%	3.6%
2	青森県	0.4%	17.3%	11.9%	68.6%	1.0%	0.7%	0.0%	17.7%	1.0%
3	岩手県	0.3%	19.4%	18.1%	39.6%	4.9%	2.9%	14.8%	19.7%	4.9%
4	宮城県	2.0%	10.7%	21.5%	62.0%	3.3%	0.5%	0.0%	12.7%	3.3%
5	秋田県	1.0%	15.0%	10.4%	17.7%	16.5%	39.4%	0.0%	16.0%	16.5%
6	山形県	1.0%	24.2%	17.7%	0.0%	55.7%	1.3%	0.0%	25.2%	55.7%
7	福島県	0.9%	22.5%	10.5%	48.6%	0.0%	4.0%	13.5%	23.4%	0.0%
8	茨城県	4.2%	24.0%	41.5%	7.9%	17.1%	0.0%	5.3%	28.2%	17.1%
9	栃木県	0.5%	10.8%	14.7%	33.7%	15.3%	22.5%	2.5%	11.3%	15.3%
10	群馬県	1.1%	36.7%	18.6%	0.0%	41.2%	2.4%	0.0%	37.8%	41.2%
11	埼玉県	5.7%	21.3%	38.3%	11.0%	16.1%	0.0%	7.7%	27.0%	16.1%
12	千葉県	1.6%	27.6%	16.5%	43.9%	10.3%	0.0%	0.1%	29.2%	10.3%
13	東京都	1.1%	22.4%	12.4%	41.7%	21.2%	1.1%	0.0%	23.5%	21.2%
14	神奈川県	6.4%	26.3%	36.9%	9.0%	15.6%	0.0%	5.7%	32.7%	15.6%
15	新潟県	3.1%	25.9%	15.9%	0.0%	54.4%	0.8%	0.0%	28.9%	54.4%
16	富山県	2.0%	31.4%	54.8%	9.6%	0.0%	0.0%	2.2%	33.4%	0.0%
17	石川県	1.1%	28.3%	12.4%	0.0%	55.5%	2.8%	0.0%	29.3%	55.5%
18	福井県	1.0%	17.6%	20.2%	59.5%	1.4%	0.3%	0.0%	18.6%	1.4%
20	長野県	0.8%	21.8%	11.6%	45.3%	0.0%	4.6%	15.9%	22.6%	0.0%
21	岐阜県	1.1%	31.3%	16.5%	0.0%	49.1%	1.9%	0.0%	32.4%	49.1%
22	静岡県	3.3%	25.7%	19.6%	3.2%	46.0%	0.8%	1.4%	29.0%	46.0%
23	愛知県	5.4%	25.3%	35.1%	11.5%	17.4%	0.0%	5.3%	30.7%	17.4%
24	三重県	2.4%	29.9%	16.5%	0.0%	49.8%	1.3%	0.0%	32.3%	49.8%
25	滋賀県	0.8%	36.3%	18.8%	0.0%	41.7%	2.5%	0.0%	37.1%	41.7%
26	京都府	1.2%	27.5%	13.2%	0.0%	57.1%	1.0%	0.0%	28.7%	57.1%
27	大阪府	0.8%	22.5%	21.4%	20.6%	33.9%	0.0%	0.8%	23.3%	33.9%
28	兵庫県	1.2%	15.6%	12.6%	57.3%	13.0%	0.4%	0.0%	16.7%	13.0%
29	奈良県	1.4%	24.4%	9.5%	63.3%	1.2%	0.3%	0.0%	25.7%	1.2%
30	和歌山県	0.4%	18.5%	10.5%	68.7%	1.6%	0.2%	0.0%	18.9%	1.6%
31	鳥取県	0.4%	31.4%	12.9%	0.0%	54.2%	1.1%	0.0%	31.8%	54.2%
32	島根県	0.5%	15.7%	10.6%	71.5%	1.3%	0.4%	0.0%	16.2%	1.3%
33	岡山県	1.1%						0.0%		
34	広島県	0.6%	16.2%	20.9%	53.6%	0.6%	8.1%	0.1%	16.7%	
35	山口県	1.1%	26.2%	13.8%	41.2%		4.6%	13.0%		
36	徳島県	0.6%	22.2%	9.8%	48.8%	0.0%	3.2%	15.4%	22.8%	0.0%
37	香川県	1.0%	38.7%	50.8%	7.5%	0.0%	0.0%	1.9%		
38	愛媛県	2.1%	27.1%	13.8%	0.0%	56.1%	1.0%	0.0%	29.1%	
39	高知県	0.7%	28.2%	14.1%	42.4%	1.5%	11.7%	1.4%	29.0%	1.5%
41	佐賀県	0.7%	20.9%	29.1%	37.4%		8.0%	3.9%	21.6%	
42	長崎県	0.7%	26.0%	12.1%	42.8%		4.6%	13.5%	26.8%	
43	熊本県	0.8%	23.1%	35.7%	22.5%	0.0%	17.2%	0.7%	24.0%	
44	大分県	1.4%	16.0%	20.9%	34.3%		3.8%	0.0%	17.4%	
45	宮崎県	1.1%	32.9%	17.3%	27.8%	19.3%	1.6%	0.0%	34.0%	19.3%
46	鹿児島県	1.0%	20.5%	36.4%	12.6%		0.0%	29.6%	21.5%	
47	沖縄県	0.7%	24.8%	21.3%	11.6%	36.9%	0.7%	4.0%	25.6%	36.9%

<sup>※</sup> 緊急度判定「119 番をすすめた」+「すぐに病院に行くようにすすめた」は、全体で 25.7%、最小 11.3%、最大 39.8%、で、前年度 より均てん化している。





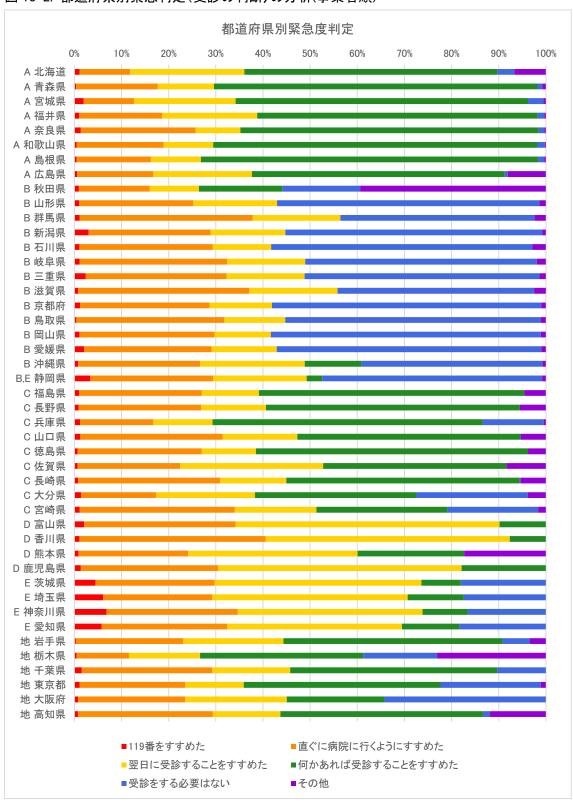
※ 緊急度判定「119 番をすすめた」+「すぐに病院に行くようにすすめた」は、全体で 25.7%、最小 11.3%、最大 39.8%、で、前年度 より均てん化している。

表 18-2. 都道府県別緊急判定(受診の判断)の分析(事業者順)

都道 府県 番号	都道府県	119番をすす めた	直ぐに病院に 行くようにす すめた	翌日に受診 することをす すめた	何かあれば 受診すること をすすめた	受診をする必要はない	その他	未記入	(119番+直ぐ 受診)割合	受診不要割 合
	 邻道府県	2.3%	9 ØJ/C 23.4%	9 ¢)/c 23.1%	25.6%	20.4%	2.0%	3.2%	25.7%	20.4%
1	北海道	1.1%	10.5%	23.9%	52.9%	3.6%	6.6%	1.3%	11.7%	3.6%
2	青森県	0.4%	17.3%	11.9%	68.6%	1.0%	0.7%	0.0%	17.7%	1.0%
4	宮城県	2.0%	10.7%	21.5%	62.0%	3.3%	0.5%	0.0%	12.7%	3.3%
18	福井県	1.0%	17.6%	20.2%	59.5%	1.4%	0.3%	0.0%	18.6%	1.4%
29	奈良県	1.4%	24.4%	9.5%	63.3%	1.2%	0.3%	0.0%	25.7%	1.2%
30	和歌山県	0.4%	18.5%	10.5%	68.7%	1.6%	0.2%	0.0%	18.9%	1.6%
32	島根県	0.5%	15.7%	10.6%	71.5%	1.3%	0.4%	0.0%	16.2%	1.3%
34	広島県	0.6%	16.2%	20.9%	53.6%	0.6%	8.1%	0.1%	16.7%	0.6%
5	秋田県	1.0%	15.0%	10.4%	17.7%	16.5%	39.4%	0.0%	16.0%	16.5%
6	山形県	1.0%	24.2%	17.7%	0.0%	55.7%	1.3%	0.0%	25.2%	55.7%
10	群馬県	1.1%	36.7%	18.6%	0.0%	41.2%	2.4%	0.0%	37.8%	41.2%
15	新潟県	3.1%	25.9%	15.9%	0.0%	54.4%	0.8%	0.0%	28.9%	54.4%
17	石川県	1.1%	28.3%	12.4%	0.0%	55.5%	2.8%	0.0%	29.3%	55.5%
21	岐阜県	1.1%	31.3%	16.5%	0.0%	49.1%	1.9%	0.0%	32.4%	49.1%
24	三重県	2.4%	29.9%	16.5%	0.0%	49.8%	1.3%	0.0%	32.3%	49.8%
25	滋賀県	0.8%	36.3%	18.8%	0.0%	41.7%	2.5%	0.0%	37.1%	41.7%
26	京都府	1.2%	27.5%	13.2%	0.0%	57.1%	1.0%	0.0%	28.7%	57.1%
31	鳥取県	0.4%	31.4%	12.9%	0.0%	54.2%	1.1%	0.0%	31.8%	54.2%
33	岡山県	1.1%	28.6%	12.0%	0.0%	57.3%	1.0%	0.0%	29.7%	57.3%
38	愛媛県	2.1%	27.1%	13.8%	0.0%	56.1%	1.0%	0.0%	29.1%	56.1%
47	沖縄県	0.7%	24.8%	21.3%	11.6%	36.9%	0.7%	4.0%	25.6%	36.9%
22	静岡県	3.3%	25.7%	19.6%	3.2%	46.0%	0.8%	1.4%	29.0%	46.0%
7	福島県	0.9%	22.5%	10.5%	48.6%	0.0%	4.0%	13.5%	23.4%	0.0%
20	長野県	0.8%	21.8%	11.6%	45.3%	0.0%	4.6%	15.9%	22.6%	0.0%
28	<u>兵庫県</u>	1.2%	15.6%	12.6%	57.3%	13.0%	0.4%	0.0%	16.7%	13.0%
35 36	<u>山口県</u> 徳島県	1.1%	26.2% 22.2%	13.8% 9.8%	41.2% 48.8%	0.1% 0.0%	4.6% 3.2%	13.0%	27.3% 22.8%	0.1% 0.0%
41	佐賀県	0.0%	20.9%	29.1%	37.4%	0.0%	8.0%	15.4% 3.9%	21.6%	0.0%
42	長崎県	0.7%	26.0%	12.1%	42.8%	0.0%	4.6%	13.5%	26.8%	0.0%
44	大分県	1.4%	16.0%	20.9%	34.3%	23.6%	3.8%	0.0%	17.4%	23.6%
45	宮崎県	1.1%	32.9%	17.3%	27.8%	19.3%	1.6%	0.0%	34.0%	19.3%
16	富山県	2.0%	31.4%	54.8%	9.6%	0.0%	0.0%	2.2%	33.4%	0.0%
37	香川県	1.0%	38.7%	50.8%	7.5%			1.9%	39.8%	0.0%
43	能本県	0.8%	23.1%	35.7%	22.5%	0.0%	17.2%	0.7%	24.0%	0.0%
46	鹿児島県	1.0%	20.5%	36.4%	12.6%	0.0%	0.0%	29.6%	21.5%	0.0%
8	茨城県	4.2%	24.0%	41.5%	7.9%	17.1%	0.0%	5.3%	28.2%	17.1%
11	埼玉県	5.7%	21.3%	38.3%	11.0%	16.1%	0.0%	7.7%	27.0%	16.1%
14	神奈川県	6.4%	26.3%	36.9%	9.0%	15.6%	0.0%	5.7%	32.7%	15.6%
23	愛知県	5.4%	25.3%	35.1%	11.5%	17.4%	0.0%	5.3%	30.7%	17.4%
3	岩手県	0.3%	19.4%	18.1%	39.6%	4.9%	2.9%	14.8%	19.7%	4.9%
9	栃木県	0.5%	10.8%	14.7%	33.7%	15.3%	22.5%	2.5%	11.3%	15.3%
12	千葉県	1.6%	27.6%	16.5%	43.9%	10.3%	0.0%	0.1%	29.2%	10.3%
13	東京都	1.1%	22.4%	12.4%	41.7%	21.2%	1.1%	0.0%	23.5%	21.2%
27	大阪府	0.8%	22.5%	21.4%	20.6%	33.9%	0.0%	0.8%	23.3%	33.9%
39	高知県	0.7%	28.2%	14.1%	42.4%	1.5%	11.7%	1.4%	29.0%	1.5%

<sup>※</sup> 緊急度判定「119 番をすすめた」+「すぐに病院に行くようにすすめた」は、全体で 25.7%、最小 11.3%、最大 39.8%、で、前年度 より均てん化している。

図 13-2. 都道府県別緊急判定(受診の判断)の分析(事業者順)



※ 緊急度判定「119 番をすすめた」+「すぐに病院に行くようにすすめた」は、全体 25.7%、最小 11.3%、最大 39.8%、で、前年度より均てん化している。前年度にみられた事業者間の差違は軽減した。

表 19. 発症時期別の緊急度判定(受診の判断)の割合

			発症	時期		
相談対応者(看護師)による 緊急度判定	1時間前以降 ~ 直前	6時間前以降	12時間前以降	1日以上前以降	未記入	計
119番をすすめた	1.5%	0.6%	0.5%	0.5%	3.7%	2.3%
直ぐに病院に行くようにすす めた	24.7%	23.2%	21.4%	19.4%	23.5%	23.4%
翌日に受診することをすすめた	12.9%	17.1%	16.9%	20.0%	33.1%	23.1%
何かあれば受診することを すすめた	34.2%	35.6%	32.4%	30.1%	16.0%	25.6%
受診をする必要はない	24.4%	19.7%	25.4%	27.3%	15.3%	20.4%
その他	1.1%	1.7%	1.8%	1.4%	2.9%	2.0%
未記入	1.1%	2.0%	1.6%	1.3%	5.6%	3.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
119番をすすめた+直ぐに病 院に行くようにすすめた	26.3%	23.8%	21.8%	19.9%	27.2%	25.7%

<sup>※</sup> 発症から短時間であるほど緊急度が高い。

表 20. 相談前受診(受診後電話相談)別の相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)

也就从内书/毛带在\/				相談前の発	受診の有無			
相談対応者(看護師)によ	相談前	受診あり	相談前受診なし		不	明	計	
る緊急度判定	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
119 番をすすめた	601	1.6%	4,455	2.4%	730	2.5%	5,786	2.3%
直ぐに病院に行くようにすすめた	7,495	20.1%	44,467	24.3%	6,472	22.1%	58,434	23.4%
翌日に受診することをすすめた	7,532	20.2%	40,500	22.1%	9,720	33.1%	57,752	23.1%
何かあれば受診することを すすめた	10,191	27.3%	48,549	26.5%	5,070	17.3%	63,810	25.6%
受診をする必要がない	9,889	26.5%	39,200	21.4%	1,898	6.5%	50,987	20.4%
その他	678	1.8%	1,991	1.1%	2,289	7.8%	4,958	2.0%
未記入	944	2.5%	3,820	2.1%	3,146	10.7%	7,910	3.2%
計	37,330	100.0%	182,982	100.0%	29,325	100.0%	249,637	100.0%
119番をすすめた+直ぐに 病院に行くようにすすめた	8,096	21.7%	48,922	26.7%	7,202	24.6%	64,220	25.7%

<sup>※</sup> 相談前受診ありは、緊急度が低い。

表 21. 相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)と満足度(相談対応者による印象)

相談対応者(看護師)による	満	足	不清	<b></b>	不	明	Ī	it	満足割合/
緊急度判定	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	不満気割合
119番をすすめた	3,548	2.0%	35	3.2%	2,203	3.2%	5,786	2.3%	0.61
直ぐに病院に行くようにす すめた	42,939	24.0%	219	20.2%	15,276	21.9%	58,434	23.4%	1.19
翌日に受診することをすす めた	41,602	23.3%	171	15.8%	15,979	22.9%	57,752	23.1%	1.47
何かあれば受診することを すすめた	43,207	24.2%	129	11.9%	20,474	29.3%	63,810	25.6%	2.03
受診をする必要がない	38,376	21.5%	203	18.8%	12,408	17.7%	50,987	20.4%	1.14
その他	3,638	2.0%	262	24.2%	1,058	1.5%	4,958	2.0%	0.08
未記入	5,335	3.0%	63	5.8%	2,512	3.6%	7,910	3.2%	0.51
計	178,645	100.0%	1,082	100.0%	69,910	100.0%	249,637	100.0%	
119番をすすめた+直ぐに 病院に行くようにすすめた	46,487	26.0%	254	23.5%	17,479	25.0%	64,220	25.7%	1.11

<sup>※</sup> 何かあれば受診は満足度が高い。

表 22. 相談業務経験年数別の相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)(III-17 再掲)

119 番をすすめた	相談業務	5 年未満	5 年以上	10 年以上	未記入	計
119 笛でり りめが	経験年数	3 千不凋	10 年未満	10 平以工	不記入	ĒΙ
110 要女士士 炒十-	件数	542	268	421	4,555	5,786
119 番をすすめた 	割合	1.2%	1.2%	1.6%	2.9%	2.3%
直ぐに病院に行くようにすすめた	件数	12,139	4,600	6,744	34,951	58,434
直くに病院に行くように9 9 00/C	割合	27.3%	21.0%	25.1%	22.3%	23.4%
羽口に至於ナスニトナナナルナー	件数	6,135	3,696	3,370	44,551	57,752
翌日に受診することをすすめた	割合	13.8%	16.9%	12.5%	28.5%	23.1%
ロかちんば変勢ナフーレナナナルナ	件数	8,989	10,363	8,255	36,203	63,810
何かあれば受診することをすすめた	割合	20.2%	47.4%	30.7%	23.1%	25.6%
□ シャナナック 亜 よぎさい へ	件数	14,777	1,749	7,865	26,596	50,987
受診をする必要がない 	割合	33.2%	8.0%	29.2%	17.0%	20.4%
7.0.114	件数	740	379	245	3,594	4,958
その他	割合	1.7%	1.7%	0.9%	2.3%	2.0%
+=11	件数	1,157	802	9	5,942	7,910
未記入	割合	2.6%	3.7%	0.0%	3.8%	3.2%
計	件数	44,479	21,857	26,909	156,392	249,637

<sup>※</sup> 何電話相談業務経験年数 5 年以上 10 年未満で、直ぐ受診が減り、翌日受診と何かあれば受診が増える傾向があり、特に何かあれば受診が多い。

図 14. 相談業務経験年数別の相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)(Ⅲ-17 再掲)

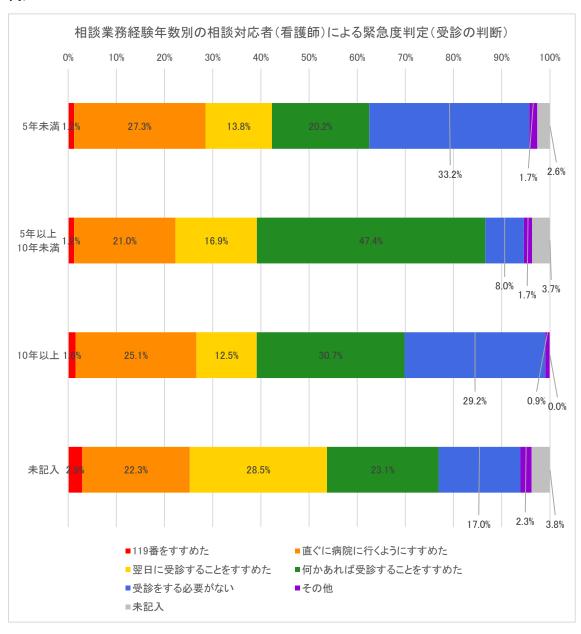


図 15. 相談対応者(看護師)が受診すべきと考えた診療科の割合

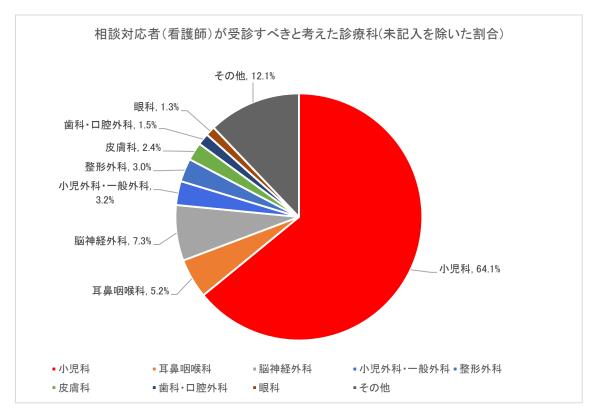


表 23. 相談対応者(看護師)が受診すべきと考えた診療科別の緊急度判定(受診の判断)の割合

	緊急度判定									
相談対応者が受診す べきと考えた診療科	119番をすすめた	直ぐに病院に行く ようにすすめた	翌日に受診する ことをすすめた	何かあれば受診 することをすすめ た	受診をする必要がない	その他	119番をすすめた + 直ぐに病院に行く ようにすすめた			
小児科	1.2%	22.0%	21.3%	30.3%	21.9%	1.5%	23.2%			
耳鼻咽喉科	0.8%	17.5%	35.5%	24.7%	18.5%	1.1%	18.3%			
脳神経外科	1.2%	33.2%	7.3%	42.7%	14.1%	0.3%	34.4%			
小児外科・一般外科	0.6%	35.5%	12.5%	27.1%	22.3%	0.5%	36.1%			
整形外科	0.4%	31.6%	15.1%	43.8%	6.3%	1.2%	32.0%			
皮膚科	0.9%	29.6%	24.7%	22.3%	21.1%	0.5%	30.5%			
歯科·口腔外科	0.1%	11.2%	29.4%	38.3%	17.8%	1.0%	11.3%			
眼科	0.8%	17.4%	29.7%	37.3%	12.7%	1.1%	18.2%			
その他診療科	1.9%	45.5%	4.1%	42.9%	2.8%	2.8%	47.4%			
未記入	3.6%	20.3%	28.3%	17.1%	23.1%	2.6%	23.9%			
計	2.3%	23.4%	23.1%	25.6%	20.4%	2.0%	25.7%			

表 24. 主訴別の緊急度判定(受診の判断)の割合

を発験 1.0% 17.5% 28.7% 26.8% 21.4% 2.4% 2.2% 100 105 10.5% 10.5% 10.5% 10.5% 10.6% 28.3% 12.9% 1.3% 1.5% 10.5% 10.6% 27.5% 34.8% 19.6% 14.5% 0.6% 2.5% 100 10.5% 10.3% 14.7% 27.5% 34.8% 19.6% 1.3% 1.7% 10.6% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.3% 10.5% 10.	热	119番 : をすす :	病院に			受診を				119番
主訴	热	をすす		受診す	れば受	メルで				
主訴 をすす 行くよう ることを 診する すがか ことをす がかた にすす すめた ことをす しい	热		行くよう			オス心				+
発熱 1.0% 17.5% 28.7% 26.8% 21.4% 2.4% 2.2% 100 幅気・嘔吐 3.1% 23.3% 18.5% 32.5% 20.0% 1.2% 1.4% 100 咳 2.2% 34.2% 19.6% 28.3% 12.9% 1.3% 1.5% 100 端鳴(息苦しそう) 9.2% 39.5% 17.1% 16.6% 14.5% 0.6% 2.5% 100 身水・鼻づまり 0.3% 14.7% 27.5% 34.8% 19.6% 1.3% 1.7% 100 下痢 1.3% 22.0% 20.3% 34.7% 19.8% 0.8% 1.1% 100 腹痛 1.7% 30.6% 15.3% 34.3% 16.0% 0.9% 1.3% 100 便の異常(血便・便 初.1% 20.8% 32.9% 24.3% 14.9% 1.4% 2.6% 100 けいれん・ふるえ 23.7% 30.6% 15.7% 17.2% 10.0% 1.5% 1.4% 100 発疹(じんましん) 3.0% 26.8% 25.4% 28.1% 14.0% 1.0% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 10.0% 1.5% 1.4% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 10.0% 1.9% 1.9% 100 異物誤飲 1.0% 25.1% 8.5% 28.6% 31.6% 2.2% 3.0% 100 熱傷		xht-		ることを	診する		その他	未記入	計	直ぐ病
差熱 1.0% 17.5% 28.7% 26.8% 21.4% 2.4% 2.2% 100 嘔気・嘔吐 3.1% 23.3% 18.5% 32.5% 20.0% 1.2% 1.4% 100 咳 2.2% 34.2% 19.6% 28.3% 12.9% 1.3% 1.5% 100 喘鳴(息苦しそう) 9.2% 39.5% 17.1% 16.6% 14.5% 0.6% 2.5% 100 鼻水・鼻づまり 0.3% 14.7% 27.5% 34.8% 19.6% 1.3% 1.7% 100 下痢 1.3% 22.0% 20.3% 34.7% 19.8% 0.8% 1.1% 100 腹痛 1.7% 30.6% 15.3% 34.3% 16.0% 0.9% 1.3% 100 便の異常(血便・便 私) 20.8% 32.9% 24.3% 14.9% 1.4% 2.6% 100 けいれん・ふるえ 23.7% 30.6% 15.7% 17.2% 10.0% 1.5% 1.4% 100 暗泣・なきやまない 0.7% 27.6% 14.7% 32.8% 20.6% 1.8% 1.9% 100 発疹(じんましん) 3.0% 26.8% 25.4% 28.1% 14.0% 1.0% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 頭部以外の外傷 0.8% 30.5% 15.2% 27.1% 23.1% 1.6% 1.8% 100 異物誤飲 1.0% 25.1% 8.5% 28.6% 31.6% 2.2% 3.0% 100 熱傷 3.5% 42.7% 22.1% 17.9% 10.8% 1.4% 1.6% 10.0% 1.5% 1.4% 1.6% 10.0% 1.5% 1.0% 1.5% 1.0% 1.0% 1.5% 1.0% 1.0% 1.5% 1.0% 1.0% 1.0% 1.0% 1.0% 1.0% 1.0% 1.0		07/2	にすす	すすめ	ことをす					院に行
嘔気・嘔吐 3.1% 23.3% 18.5% 32.5% 20.0% 1.2% 1.4% 10.0%			めた	た	すめた	Ų,				<
咳       2.2%       34.2%       19.6%       28.3%       12.9%       1.3%       1.5%       10.0%         喘鳴(息苦しそう)       9.2%       39.5%       17.1%       16.6%       14.5%       0.6%       2.5%       10.0%         鼻水・鼻づまり       0.3%       14.7%       27.5%       34.8%       19.6%       1.3%       1.7%       10.0%         下痢       1.3%       22.0%       20.3%       34.7%       19.8%       0.8%       1.1%       10.0%         腹痛       1.7%       30.6%       15.3%       34.3%       16.0%       0.9%       1.3%       10.0%         便の異常(血便・便       3.1%       20.8%       32.9%       24.3%       14.9%       1.4%       2.6%       10.0%         頭痛       1.8%       28.7%       21.2%       28.1%       15.7%       2.0%       2.5%       10.0%         けいれん・ふるえ       23.7%       30.6%       15.7%       17.2%       10.0%       1.5%       1.4%       10.0%         療疹(じんましん)       3.0%       27.6%       14.7%       32.8%       20.6%       1.8%       1.9%       10.0%         発疹(じんましん)       3.0%       26.8%       25.4%       28.1%       14.0%       1.0%       1.7%	ጚ∙嘔吐	1.0%	17.5%	28.7%	26.8%	21.4%	2.4%	2.2%	100.0%	18.5%
喘鳴(息苦しそう) 9.2% 39.5% 17.1% 16.6% 14.5% 0.6% 2.5% 100 鼻水・鼻づまり 0.3% 14.7% 27.5% 34.8% 19.6% 1.3% 1.7% 100 下痢 1.3% 22.0% 20.3% 34.7% 19.8% 0.8% 1.1% 100 腹痛 1.7% 30.6% 15.3% 34.3% 16.0% 0.9% 1.3% 100 便の異常(血便・便 秘) 20.8% 32.9% 24.3% 14.9% 1.4% 2.6% 100 けいれん・ふるえ 23.7% 30.6% 15.7% 17.2% 10.0% 1.5% 1.4% 10.9% 所泣・なきやまない 0.7% 27.6% 14.7% 32.8% 20.6% 1.8% 1.9% 100 発疹(じんましん) 3.0% 26.8% 25.4% 28.1% 14.0% 1.0% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.5% 15.2% 27.1% 23.1% 1.6% 1.8% 100 異物誤飲 1.0% 25.1% 8.5% 28.6% 31.6% 2.2% 3.0% 100 熱傷		3.1%	23.3%	18.5%	32.5%	20.0%	1.2%	1.4%	100.0%	26.4%
鼻水・鼻づまり       0.3%       14.7%       27.5%       34.8%       19.6%       1.3%       1.7%       10         下痢       1.3%       22.0%       20.3%       34.7%       19.8%       0.8%       1.1%       10         腹痛       1.7%       30.6%       15.3%       34.3%       16.0%       0.9%       1.3%       10         便の異常(血便・便       3.1%       20.8%       32.9%       24.3%       14.9%       1.4%       2.6%       10         頭痛       1.8%       28.7%       21.2%       28.1%       15.7%       2.0%       2.5%       10         けいれん・ふるえ       23.7%       30.6%       15.7%       17.2%       10.0%       1.5%       1.4%       10         暗泣・なきやまない       0.7%       27.6%       14.7%       32.8%       20.6%       1.8%       1.9%       10         発疹(じんましん)       3.0%       26.8%       25.4%       28.1%       14.0%       1.0%       1.7%       10         頭部打撲       1.8%       30.2%       24.1%       28.0%       13.6%       0.5%       1.7%       10         異物誤飲       1.0%       25.1%       8.5%       28.6%       31.6%       2.2%       3.0%       10 <t< td=""><td></td><td>2.2%</td><td>34.2%</td><td>19.6%</td><td>28.3%</td><td>12.9%</td><td>1.3%</td><td>1.5%</td><td>100.0%</td><td>36.4%</td></t<>		2.2%	34.2%	19.6%	28.3%	12.9%	1.3%	1.5%	100.0%	36.4%
下痢 1.3% 22.0% 20.3% 34.7% 19.8% 0.8% 1.1% 100 腹痛 1.7% 30.6% 15.3% 34.3% 16.0% 0.9% 1.3% 100 便の異常(血便・便 秘) 20.8% 32.9% 24.3% 14.9% 1.4% 2.6% 100 けいれん・ふるえ 23.7% 30.6% 15.7% 17.2% 10.0% 1.5% 1.4% 100 暗泣・なきやまない 0.7% 27.6% 14.7% 32.8% 20.6% 1.8% 1.9% 100 発疹(じんましん) 3.0% 26.8% 25.4% 28.1% 14.0% 1.0% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 頭部以外の外傷 0.8% 30.5% 15.2% 27.1% 23.1% 1.6% 1.8% 100 異物誤飲 1.0% 25.1% 8.5% 28.6% 31.6% 2.2% 3.0% 100 熱傷 3.5% 42.7% 22.1% 17.9% 10.8% 1.4% 1.6% 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	鳥(息苦しそう)	9.2%	39.5%	17.1%	16.6%	14.5%	0.6%	2.5%	100.0%	48.7%
腹痛 1.7% 30.6% 15.3% 34.3% 16.0% 0.9% 1.3% 100 便の異常(血便・便	k・鼻づまり	0.3%	14.7%	27.5%	34.8%	19.6%	1.3%	1.7%	100.0%	15.0%
便の異常(血便・便 秘)  1.4% 2.6% 100  100  100  100  100  100  100  10	莉	1.3%	22.0%	20.3%	34.7%	19.8%	0.8%	1.1%	100.0%	23.3%
3.1%   20.8%   32.9%   24.3%   14.9%   1.4%   2.6%   100     頭痛   1.8%   28.7%   21.2%   28.1%   15.7%   2.0%   2.5%   100     けいれん・ふるえ   23.7%   30.6%   15.7%   17.2%   10.0%   1.5%   1.4%   100     啼泣・なきやまない   0.7%   27.6%   14.7%   32.8%   20.6%   1.8%   1.9%   100     発疹(じんましん)   3.0%   26.8%   25.4%   28.1%   14.0%   1.0%   1.7%   100     頭部打撲   1.8%   30.2%   24.1%   28.0%   13.6%   0.5%   1.7%   100     頭部以外の外傷   0.8%   30.5%   15.2%   27.1%   23.1%   1.6%   1.8%   100     異物誤飲   1.0%   25.1%   8.5%   28.6%   31.6%   2.2%   3.0%   100     熱傷   3.5%   42.7%   22.1%   17.9%   10.8%   1.4%   1.6%   100	莆	1.7%	30.6%	15.3%	34.3%	16.0%	0.9%	1.3%	100.0%	32.3%
<ul> <li>秘)</li> <li>頭痛</li> <li>1.8%</li> <li>28.7%</li> <li>21.2%</li> <li>28.1%</li> <li>15.7%</li> <li>2.0%</li> <li>2.5%</li> <li>100</li> <li>けいれん・ふるえ</li> <li>23.7%</li> <li>30.6%</li> <li>15.7%</li> <li>17.2%</li> <li>10.0%</li> <li>1.5%</li> <li>1.4%</li> <li>100</li> <li>麻泣・なきやまない</li> <li>0.7%</li> <li>27.6%</li> <li>14.7%</li> <li>32.8%</li> <li>20.6%</li> <li>1.8%</li> <li>1.9%</li> <li>100</li> <li>発疹(じんましん)</li> <li>3.0%</li> <li>26.8%</li> <li>25.4%</li> <li>28.1%</li> <li>14.0%</li> <li>1.0%</li> <li>1.7%</li> <li>100</li> <li>頭部打撲</li> <li>1.8%</li> <li>30.2%</li> <li>24.1%</li> <li>28.0%</li> <li>13.6%</li> <li>0.5%</li> <li>1.7%</li> <li>100</li> <li>頭部以外の外傷</li> <li>0.8%</li> <li>30.5%</li> <li>15.2%</li> <li>27.1%</li> <li>23.1%</li> <li>1.6%</li> <li>1.8%</li> <li>100</li> <li>熱傷</li> <li>3.5%</li> <li>28.6%</li> <li>31.6%</li> <li>2.2%</li> <li>3.0%</li> <li>100</li> <li>熱傷</li> <li>3.5%</li> <li>42.7%</li> <li>22.1%</li> <li>17.9%</li> <li>10.8%</li> <li>1.4%</li> <li>1.6%</li> <li>10.6%</li> </ul>	の異常(血便・便	2.10/	20.0%	20.0%	0.4.00/	14.00/	1.40/	0.6%	100.0%	02.0%
けいれん・ふるえ 23.7% 30.6% 15.7% 17.2% 10.0% 1.5% 1.4% 100 mix・なきやまない 0.7% 27.6% 14.7% 32.8% 20.6% 1.8% 1.9% 100 発疹(じんましん) 3.0% 26.8% 25.4% 28.1% 14.0% 1.0% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 頭部以外の外傷 0.8% 30.5% 15.2% 27.1% 23.1% 1.6% 1.8% 100 異物誤飲 1.0% 25.1% 8.5% 28.6% 31.6% 2.2% 3.0% 100 熱傷 3.5% 42.7% 22.1% 17.9% 10.8% 1.4% 1.6% 100 mix		3.1%	20.8%	32.9%	24.3%	14.9%	1.4%	2.0%	100.0%	23.9%
<ul> <li>啼泣・なきやまない</li> <li>第彦(じんましん)</li> <li>頭部打撲</li> <li>1.8%</li> <li>25.4%</li> <li>28.1%</li> <li>14.0%</li> <li>1.0%</li> <li>1.7%</li> <li>100</li> <li>頭部打撲</li> <li>1.8%</li> <li>30.2%</li> <li>24.1%</li> <li>28.0%</li> <li>13.6%</li> <li>0.5%</li> <li>1.7%</li> <li>100</li> <li>頭部以外の外傷</li> <li>0.8%</li> <li>30.5%</li> <li>15.2%</li> <li>27.1%</li> <li>23.1%</li> <li>1.6%</li> <li>1.8%</li> <li>100</li> <li>異物誤飲</li> <li>1.0%</li> <li>25.1%</li> <li>8.5%</li> <li>28.6%</li> <li>31.6%</li> <li>2.2%</li> <li>3.0%</li> <li>100</li> <li>熱傷</li> <li>3.5%</li> <li>42.7%</li> <li>22.1%</li> <li>17.9%</li> <li>10.8%</li> <li>1.4%</li> <li>1.6%</li> <li>100</li> </ul>	莆	1.8%	28.7%	21.2%	28.1%	15.7%	2.0%	2.5%	100.0%	30.5%
発疹(じんましん) 3.0% 26.8% 25.4% 28.1% 14.0% 1.0% 1.7% 100 頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 頭部以外の外傷 0.8% 30.5% 15.2% 27.1% 23.1% 1.6% 1.8% 100 異物誤飲 1.0% 25.1% 8.5% 28.6% 31.6% 2.2% 3.0% 100 熱傷 3.5% 42.7% 22.1% 17.9% 10.8% 1.4% 1.6% 100	<b>いれん・ふるえ</b>	23.7%	30.6%	15.7%	17.2%	10.0%	1.5%	1.4%	100.0%	54.3%
頭部打撲 1.8% 30.2% 24.1% 28.0% 13.6% 0.5% 1.7% 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	立・なきやまない	0.7%	27.6%	14.7%	32.8%	20.6%	1.8%	1.9%	100.0%	28.3%
頭部以外の外傷 0.8% 30.5% 15.2% 27.1% 23.1% 1.6% 1.8% 100 異物誤飲 1.0% 25.1% 8.5% 28.6% 31.6% 2.2% 3.0% 100 熱傷 3.5% 42.7% 22.1% 17.9% 10.8% 1.4% 1.6% 100	疹(じんましん)	3.0%	26.8%	25.4%	28.1%	14.0%	1.0%	1.7%	100.0%	29.8%
異物誤飲     1.0%     25.1%     8.5%     28.6%     31.6%     2.2%     3.0%     100       熱傷     3.5%     42.7%     22.1%     17.9%     10.8%     1.4%     1.6%     100	邻打撲	1.8%	30.2%	24.1%	28.0%	13.6%	0.5%	1.7%	100.0%	32.0%
熱傷 3.5% 42.7% 22.1% 17.9% 10.8% 1.4% 1.6% 100	部以外の外傷	0.8%	30.5%	15.2%	27.1%	23.1%	1.6%	1.8%	100.0%	31.3%
	勿誤飲	1.0%	25.1%	8.5%	28.6%	31.6%	2.2%	3.0%	100.0%	26.1%
丁・阜・小 ピの 男	<b>与</b>	3.5%	42.7%	22.1%	17.9%	10.8%	1.4%	1.6%	100.0%	46.2%
ユ-デ-ツンス	鼻・のどの異常	0.3%	14.6%	39.1%	21.9%	19.7%	1.6%	2.7%	100.0%	15.0%
目の異常 0.3% 15.4% 27.8% 43.5% 7.9% 3.1% 2.0% 100	の異常	0.3%	15.4%	27.8%	43.5%	7.9%	3.1%	2.0%	100.0%	15.7%
歯科・口腔の異常 0.3% 13.9% 29.7% 29.2% 21.2% 2.5% 3.1% 100	斗・口腔の異常	0.3%	13.9%	29.7%	29.2%	21.2%	2.5%	3.1%	100.0%	14.2%
尿の異常 0.2% 34.8% 17.7% 32.8% 12.1% 1.7% 0.8% 100	の異常	0.2%	34.8%	17.7%	32.8%	12.1%	1.7%	0.8%	100.0%	34.9%
薬 0.3% 4.9% 15.7% 22.8% 42.2% 10.2% 3.8% 100		0.3%	4.9%	15.7%	22.8%	42.2%	10.2%	3.8%	100.0%	5.2%
予防接種 0.4% 19.2% 18.8% 19.0% 40.6% 1.7% 0.3% 100	方接種	0.4%	19.2%	18.8%	19.0%	40.6%	1.7%	0.3%	100.0%	19.6%
その他 1.7% 21.1% 17.4% 25.2% 22.0% 3.5% 9.2% 100	D他	1.7%	21.1%	17.4%	25.2%	22.0%	3.5%	9.2%	100.0%	22.8%
計 2.1% 23.8% 22.1% 27.4% 19.7% 2.0% 3.0% 100		2.1%	23.8%	22.1%	27.4%	19.7%	2.0%	3.0%	100.0%	25.9%

<sup>※</sup> 主訴別の直ぐ受診(「119番をすすめた」+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)は平均27.4%、最小5.2%、最大54.3%、

SD11.5%である。平均+1SD38.9%以上すなわち緊急度が高いのは、喘鳴(息苦しそう)48.7%、けいれん・ふるえ 54.3%、熱傷 46.2% である。

表 25. 主訴別医師の助言・対応を要した割合

	医師の助言を受		医師が対応し <i>た</i>		医師の助言・対		不明			医師から
										助言
	(+	た			応なし					十医
主訴						I			計	師が
										対応
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		の割
										合
発熱	89	0.1%	11	0.0%	65,987	84.3%	12,166	15.5%	78,253	0.13%
嘔気·嘔吐	21	0.1%	2	0.0%	19,606	85.7%	3,246	14.2%	22,875	0.10%
咳	43	0.2%	6	0.0%	19,472	82.6%	4,054	17.2%	23,575	0.21%
喘鳴(息苦しそう)	26	0.2%	3	0.0%	11,113	89.3%	1,303	10.5%	12,445	0.23%
鼻水・鼻づまり	7	0.1%	1	0.0%	5,301	76.5%	1,623	23.4%	6,932	0.12%
下痢	9	0.1%	0	0.0%	10,077	93.1%	736	6.8%	10,822	0.08%
腹痛	7	0.1%	0	0.0%	12,435	90.3%	1,330	9.7%	13,772	0.05%
便の異常(血便・便秘)	10	0.3%	0	0.0%	3,530	94.0%	217	5.8%	3,757	0.27%
頭痛	8	0.2%	0	0.0%	3,050	83.0%	617	16.8%	3,675	0.22%
けいれん・ふるえ	5	0.1%	0	0.0%	3,450	84.4%	633	15.5%	4,088	0.12%
啼泣・なきやまない	4	0.1%	0	0.0%	4,539	83.2%	911	16.7%	5,454	0.07%
発疹(じんましん)	21	0.2%	0	0.0%	10,234	86.4%	1,586	13.4%	11,841	0.18%
頭部打撲	20	0.1%	0	0.0%	16,444	88.8%	2,046	11.1%	18,510	0.11%
頭部以外の外傷	12	0.1%	0	0.0%	17,996	86.2%	2,872	13.8%	20,880	0.06%
異物誤飲	44	0.4%	15	0.1%	10,073	88.6%	1,233	10.8%	11,365	0.52%
熱傷	2	0.1%	0	0.0%	1,722	88.6%	219	11.3%	1,943	0.10%
耳・鼻・のどの異常	17	0.1%	0	0.0%	11,620	85.3%	1,983	14.6%	13,620	0.12%
目の異常	2	0.2%	0	0.0%	945	83.2%	189	16.6%	1,136	0.18%
歯科・口腔の異常	1	0.1%	0	0.0%	1,680	88.5%	217	11.4%	1,898	0.05%
尿の異常	1	0.2%	0	0.0%	541	89.6%	62	10.3%	604	0.17%
薬	62	1.8%	6	0.2%	2,148	63.0%	1,193	35.0%	3,409	1.99%
予防接種	1	0.0%	0	0.0%	1,521	73.4%	550	26.5%	2,072	0.05%
その他	49	0.1%	2	0.0%	39,306	89.6%	4,502	10.3%	43,859	0.12%
計	461	0.1%	46	0.0%	272,790	86.1%	43,488	13.7%	316,785	0.16%

表 26. 相談対応者(看護師)の対応感想(対応で困ったこと)の主訴の割合

主訴	対応困	難あり	対応困難	<b>:</b> なし	不明		計	対応困難 あり/(対 応困難あり+対応困	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合		難なし)	
発熱	48	0.1%	34,561	44.2%	43,644	55.8%	78,253	0.14%	
嘔気・嘔吐	9	0.0%	6,896	30.1%	15,970	69.8%	22,875	0.13%	
咳	12	0.1%	8,257	35.0%	15,306	64.9%	23,575	0.15%	
喘鳴(息苦しそう)	11	0.1%	3,138	25.2%	9,296	74.7%	12,445	0.35%	
鼻水・鼻づまり	2	0.0%	1,938	28.0%	4,992	72.0%	6,932	0.10%	
下痢	1	0.0%	1,679	15.5%	9,142	84.5%	10,822	0.06%	
腹痛	3	0.0%	3,158	22.9%	10,611	77.0%	13,772	0.09%	
便の異常(血便・便 秘)	6	0.2%	1,226	32.6%	2,525	67.2%	3,757	0.49%	
頭痛	0	0.0%	1,309	35.6%	2,366	64.4%	3,675	0.00%	
けいれん・ふるえ	3	0.1%	1,692	41.4%	2,393	58.5%	4,088	0.18%	
啼泣・なきやまない	3	0.1%	2,054	37.7%	3,397	62.3%	5,454	0.15%	
発疹(じんましん)	3	0.0%	4,084	34.5%	7,754	65.5%	11,841	0.07%	
頭部打撲	3	0.0%	5,479	29.6%	13,028	70.4%	18,510	0.05%	
頭部以外の外傷	3	0.0%	10,348	49.6%	10,529	50.4%	20,880	0.03%	
異物誤飲	5	0.0%	3,902	27.0%	10,530	72.9%	14,437	0.13%	
熱傷	0	0.0%	735	37.8%	1,208	62.2%	1,943	0.00%	
耳・鼻・のどの異常	6	0.0%	4,840	35.5%	8,774	64.4%	13,620	0.12%	
目の異常	0	0.0%	631	55.5%	505	44.5%	1,136	0.00%	
歯科・口腔の異常	1	0.1%	1,322	69.7%	575	30.3%	1,898	0.08%	
尿の異常	1	0.2%	472	78.1%	131	21.7%	604	0.21%	
薬	3	0.1%	1,109	32.5%	2,297	67.4%	3,409	0.27%	
予防接種	0	0.0%	1,205	58.2%	867	41.8%	2,072	0.00%	
その他	42	0.1%	20,033	45.7%	23,784	54.2%	43,859	0.21%	
計	165	0.1%	120,068	37.5%	199,624	62.4%	319,857	0.14%	

表 27 相談対応時間(相談対応に要した時間)15 分以上の主訴の割合、全体よりの増加率

主訴	回答数	割合	相談件数	計	全体よりの増加率(割合比)
発熱	596	36.9%	78,253	78,849	1.18
嘔気・嘔吐	125	7.7%	22,875	23,000	0.84
咳	140	8.7%	23,575	23,715	0.92
喘鳴(息苦しそう)	30	1.9%	12,445	12,475	0.37
鼻水・鼻づまり	62	3.8%	6,932	6,994	1.38
下痢	30	1.9%	10,822	10,852	0.43
腹痛	28	1.7%	13,772	13,800	0.31
便の異常(血便・便秘)	13	0.8%	3,757	3,770	0.53
頭痛	20	1.2%	3,675	3,695	0.84
けいれん・ふるえ	32	2.0%	4,088	4,120	1.21
啼泣・なきやまない	24	1.5%	5,454	5,478	0.68
発疹(じんましん)	37	2.3%	11,841	11,878	0.48
頭部打撲	48	3.0%	18,510	18,558	0.40
頭部以外の外傷	68	4.2%	20,880	20,948	0.50
異物誤飲	30	1.9%	11,365	11,395	0.41
熱傷	1	0.1%	1,943	1,944	0.08
耳・鼻・のどの異常	36	2.2%	13,620	13,656	0.41
目の異常	4	0.2%	1,136	1,140	0.54
歯科・口腔の異常	7	0.4%	1,898	1,905	0.57
尿の異常	10	0.6%	604	614	2.56
薬	27	1.7%	3,409	3,436	1.22
予防接種	9	0.6%	2,072	2,081	0.67
その他	240	14.8%	43,859	44,099	0.84
計	1,617	100.0%	316,785	318,402	-

表 28-1. 主訴別の相談前受診(受診後電話相談)ありの割合

	相談前受診の有無								
主訴	相談前受診あ り		相談前受診なし		不明		計	相談前受診あり/(あり+な	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	L)	
発熱	18,946	24.2%	50,694	64.8%	8,613	11.0%	78,253	27.2%	
<b>嘔気・嘔吐</b>	3,120	13.6%	17,756	77.6%	1,999	8.7%	22,875	14.9%	
咳	7,684	32.6%	13,755	58.3%	2,136	9.1%	23,575	35.8%	
喘鳴(息苦しそう)	2,133	17.1%	8,541	68.6%	1,771	14.2%	12,445	20.0%	
鼻水・鼻づまり	1,787	25.8%	4,705	67.9%	440	6.3%	6,932	27.5%	
下痢	1,749	16.2%	8,448	78.1%	625	5.8%	10,822	17.2%	
腹痛	1,705	12.4%	10,953	79.5%	1,114	8.1%	13,772	13.5%	
便の異常(血便・便秘)	487	13.0%	2,757	73.4%	513	13.7%	3,757	15.0%	
頭痛	446	12.1%	2,851	77.6%	378	10.3%	3,675	13.5%	
けいれん・ふるえ	621	15.2%	2,935	71.8%	532	13.0%	4,088	17.5%	
啼泣・なきやまない	572	10.5%	4,206	77.1%	676	12.4%	5,454	12.0%	
発疹(じんましん)	1,506	12.7%	9,168	77.4%	1,167	9.9%	11,841	14.1%	
頭部打撲	347	1.9%	16,888	91.2%	1,275	6.9%	18,510	2.0%	
頭部以外の外傷	492	2.4%	18,129	86.8%	2,259	10.8%	20,880	2.6%	
異物誤飲	173	1.5%	10,082	88.7%	1,110	9.8%	11,365	1.7%	
熱傷	53	2.7%	1,689	86.9%	201	10.3%	1,943	3.0%	
耳・鼻・のどの異常	1,507	11.1%	10,461	76.8%	1,652	12.1%	13,620	12.6%	
目の異常	79	7.0%	903	79.5%	154	13.6%	1,136	8.0%	
歯科・口腔の異常	124	6.5%	1,591	83.8%	183	9.6%	1,898	7.2%	
尿の異常	121	20.0%	415	68.7%	68	11.3%	604	22.6%	
薬	967	28.4%	2,130	62.5%	312	9.2%	3,409	31.2%	
予防接種	155	7.5%	1,846	89.1%	71	3.4%	2,072	7.7%	
その他	5,819	13.3%	32,461	74.0%	5,579	12.7%	43,859	15.2%	
計	50,593	16.0%	233,364	73.7%	32,828	10.4%	316,785	100.0%	

<sup>※</sup> 主訴別の緊急度判定の直ぐに受診(「119 番をすすめた」)+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)は平均 14.9%、最小 1.7%、最大 35.8%、SD9.%である。平均+1SD(24.0%)以上は、発熱 27.2%、咳 35.8%、鼻水・鼻づまり 275%、喘鳴(息苦しそう)48.7%、薬 31.2% である。

表 28-2. 相談前受診(受診後電話相談)の有無別の主訴の割合

	相談前受診の有無								
主訴	相談前受	受診あり	相談前受診なし						
	件数	割合	件数	割合					
発熱	18,946	37.4%	50,694	21.7%					
嘔気·嘔吐	3,120	6.2%	17,756	7.6%					
咳	7,684	15.2%	13,755	5.9%					
喘鳴(息苦しそう)	2,133	4.2%	8,541	3.7%					
鼻水・鼻づまり	1,787	3.5%	4,705	2.0%					
下痢	1,749	3.5%	8,448	3.6%					
腹痛	1,705	3.4%	10,953	4.7%					
便の異常(血便・便秘)	487	1.0%	2,757	1.2%					
頭痛	446	0.9%	2,851	1.2%					
けいれん・ふるえ	621	1.2%	2,935	1.3%					
啼泣・なきやまない	572	1.1%	4,206	1.8%					
発疹(じんましん)	1,506	3.0%	9,168	3.9%					
頭部打撲	347	0.7%	16,888	7.2%					
頭部以外の外傷	492	1.0%	18,129	7.8%					
異物誤飲	173	0.3%	10,082	4.3%					
熱傷	53	0.1%	1,689	0.7%					
耳・鼻・のどの異常	1,507	3.0%	10,461	4.5%					
目の異常	79	0.2%	903	0.4%					
歯科・口腔の異常	124	0.2%	1,591	0.7%					
尿の異常	121	0.2%	415	0.2%					
薬	967	1.9%	2,130	0.9%					
予防接種	155	0.3%	1,846	0.8%					
その他	5,819	11.5%	32,461	13.9%					
計	50,593	100.0%	233,364	100.0%					

表 29. 諸状況によって割合が高くなる主訴

主訴	119 番あるい は直ぐ受診 をすすめる	医師の助言・ 対応を要す る	相談対応者の対応困難	相談時間 15	相談前受診 (受診後電話 相談)	第 1 子ある いは子ども一 人の家庭
発熱				0	0	
咳					0	
喘鳴(息苦しそう)	0		0			
鼻水・鼻づまり				0	0	
下痢						0
便の異常(血便・便秘)			0			0
けいれん・ふるえ	0			0		
啼泣・なきやまない						0
異物誤飲		0				
熱傷	0					
尿の異常				0		
薬		0	0	0	0	

# Ⅳ-7. 新型コロナウイルス関連相談

新型コロナウイルス関連の相談を可能な限り収集したところ、新型コロナ関連 6,257 件(3.8%)、 新型コロナ以外 158,576 件であった。(表 31-1~8)

相談対象児年齢における新型コロナウイルス関連の相談の特徴として、新型コロナウイルス関 連以外と比較して、5歳以上が多かった。ただし、1歳未満の相談数は、新型コロナ関連、新型コ ロナ以外で同様であった。主訴については、新型コロナウイルス関連は新型コロナウイルス関連 以外に比べて、発熱、頭痛、薬が多く、咳、けいれん・ふるえは同じで、外因系が少ない結果とな った。相談の分類・目的別の割合(未記入を除く)について、新型コロナウイルス関連は、救急医 療相談 41.5%、医療機関案内 24.9%であったのに対して、新型コロナウイルス関連以外は、救急医 療相談 63.9%、医療機関案内 20.4%であり、新型コロナウイルス関連では救急医療相談が少なく、 医療機関案内がやや多い傾向にあった。第 1 子あるいは子ども一人の家庭では、新型コロナウ イルス関連 37.1%、新型コロナウイルス関連以外 49.5%であり、新型コロナウイルス関連で家族内 に同胞が多くなる傾向にあった。(不明を除く)相談時点における発症時期 1 時間前からと 6 時間 前からを合わせると、新型コロナウイルス関連 65.2%、新型コロナウイルス関連以外 72.9%となり、 新型コロナウイルス関連で発症時期がやや遅くなる傾向にあった。相談前受診(受診後電話相 談)の割合は、新型コロナウイルス関連 26.5%、新型コロナウイルス関連以外 16.6%であり、新型コ ロナウイルス関連でより多くなる(受診後も不安で電話相談する)傾向にあった。119番+直ぐ受診 と判定された割合は、新型コロナウイルス関連 14.9%、新型コロナウイルス関連以外 25.6%で、新 型コロナウイルス関連で緊急度が下がった。医師の助言・対応を要した割合(不明を除く)につい ては、新型コロナウイルス関連 0.6%、新型コロナウイルス関連以外 0.3%で、新型コロナウイルス 関連で医師の助言・対応を要する相談が増えた。

表 31-1. 新型コロナウイルス関連相談と相談対象児年齢

<b>/</b> #∧	新型コ	ロナ関連	新型コロ	ナ以外	未言	7.5	総言	†
年齢	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1 歳未満	1,435	22.9%	35,568	22.4%	21,041	24.8%	58,044	23.3%
1~2 歳未満	943	15.1%	31,286	19.7%	18,410	21.7%	50,639	20.3%
2~3 歳未満	595	9.5%	21,856	13.8%	11,850	14.0%	34,301	13.7%
3~4 歳未満	521	8.3%	18,699	11.8%	9,800	11.6%	29,020	11.6%
4~5 歳未満	418	6.7%	13,667	8.6%	6,904	8.1%	20,989	8.4%
5~6 歳未満	411	6.6%	9,817	6.2%	4,861	5.7%	15,089	6.0%
6~7 歳未満	324	5.2%	6,690	4.2%	1,906	2.2%	8,920	3.6%
7~8 歳未満	301	4.8%	4,613	2.9%	1,379	1.6%	6,293	2.5%
8~9 歳未満	274	4.4%	3,401	2.1%	1,028	1.2%	4,703	1.9%
9~10 歳未満	230	3.7%	2,699	1.7%	802	0.9%	3,731	1.5%
10~11 歳未満	232	3.7%	2,254	1.4%	665	0.8%	3,151	1.3%
11~12 歳未満	172	2.7%	1,663	1.0%	517	0.6%	2,352	0.9%
12~13 歳未満	148	2.4%	1,311	0.8%	392	0.5%	1,851	0.7%
13~14 歳未満	84	1.3%	1,002	0.6%	249	0.3%	1,335	0.5%
14~15 歳未満	65	1.0%	871	0.5%	216	0.3%	1,152	0.5%
それ以上	55	0.9%	1,046	0.7%	525	0.6%	1,626	0.7%
未記入	49	0.8%	2,133	1.3%	4,259	5.0%	6,441	2.6%
総計	6,257	100.0%	158,576	100.0%	84,804	100.0%	249,637	100.0%

<sup>※</sup> 相談対象児年齢は、新型コロナ関連は 5 歳未満が少なく、5 歳以上が多く、年長児が多い。ただし、1 歳未満は新型コロナ 関連、新型コロナ以外で同じである。

表 31-2. 新型コロナウイルス関連相談と主訴

<b>≯</b> =r	新型コ	ロナ関連	新型コロ	ナ以外	不明	月	総言	†
主訴	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
発熱	4,811	54.9%	49,531	24.4%	23,911	22.8%	78,253	24.7%
嘔気·嘔吐	424	4.8%	13,486	6.6%	8,965	8.5%	22,875	7.2%
咳	594	6.8%	15,601	7.7%	7,380	7.0%	23,575	7.4%
喘鳴(息苦しそう)	211	2.4%	11,523	5.7%	711	0.7%	12,445	3.9%
鼻水・鼻づまり	153	1.7%	4,505	2.2%	2,274	2.2%	6,932	2.2%
下痢	62	0.7%	3,877	1.9%	6,883	6.6%	10,822	3.4%
腹痛	151	1.7%	6,353	3.1%	7,268	6.9%	13,772	4.3%
便の異常(血便・便秘)	16	0.2%	3,300	1.6%	441	0.4%	3,757	1.2%
頭痛	179	2.0%	2,694	1.3%	802	0.8%	3,675	1.2%
けいれん・ふるえ	118	1.3%	2,837	1.4%	1,133	1.1%	4,088	1.3%
啼泣・なきやまない	76	0.9%	3,629	1.8%	1,749	1.7%	5,454	1.7%
発疹(じんましん)	99	1.1%	7,666	3.8%	4,076	3.9%	11,841	3.7%
頭部打撲	18	0.2%	12,909	6.4%	5,583	5.3%	18,510	5.8%
頭部以外の外傷	34	0.4%	10,491	5.2%	10,355	9.9%	20,880	6.6%
異物誤飲	13	0.1%	7,398	3.6%	3,954	3.8%	11,365	3.6%
熱傷	4	0.0%	1,221	0.6%	718	0.7%	1,943	0.6%
耳・鼻・のどの異常	132	1.5%	9,623	4.7%	3,865	3.7%	13,620	4.3%
目の異常	10	0.1%	766	0.4%	360	0.3%	1,136	0.4%
歯科・口腔の異常	8	0.1%	1,152	0.6%	738	0.7%	1,898	0.6%
尿の異常	23	0.3%	449	0.2%	132	0.1%	604	0.2%
薬	399	4.6%	2,158	1.1%	852	0.8%	3,409	1.1%
予防接種	16	0.2%	748	0.4%	1,308	1.2%	2,072	0.7%
その他	1,214	13.9%	31,049	15.3%	11,596	11.0%	43,859	13.8%
未記入	24	0.3%	857	0.4%	707	0.7%	1,588	0.5%
総計	8,765	100.0%	202,966	100.0%	105,054	100.0%	316,785	100.0%

<sup>※</sup> 主訴は、新型コロナ関連は新型コロナ以外に比べて、発熱、頭痛、薬が多く、咳、けいれん・ふるえは同じで、外因系が少ない。

表 31-3. 新型コロナウイルス関連相談と相談の分類・目的

世歌の八変 日始	新型コ	ロナ関連	新型コロナ以外		不明		総計	
相談の分類・目的	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
救急医療相談(緊急助言)	1,640	26.2%	80,704	50.9%	38,417	45.3%	120,761	48.4%
医療機関案内	694	11.1%	15,764	9.9%	585	0.7%	17,043	6.8%
救急医療相談+医療機関案内	733	11.7%	14,681	9.3%	2,027	2.4%	17,441	7.0%
薬	234	3.7%	2,434	1.5%	1,873	2.2%	4,541	1.8%
ホームケア	497	7.9%	4,220	2.7%	0	0.0%	4,717	1.9%
育児相談	98	1.6%	1,513	1.0%	955	1.1%	2,566	1.0%
その他	1,819	29.1%	29,891	18.8%	36,644	43.2%	68,354	27.4%
未記入	542	8.7%	9,369	5.9%	4,303	5.1%	14,214	5.7%
総計	6,257	100.0%	158,576	100.0%	84,804	100.0%	249,637	100.0%

<sup>※</sup> 相談の分類・目的は、(未記入を除いた割合で)新型コロナ関連は救急医療相談 41.5%、医療機関案内 24.9%、新型コロナ以外は救急医療相談 63.9%、医療機関案内 20.4%で、新型コロナ関連で救急医療相談が少なく、医療機関案内が多くなる。

表 31-4. 新型コロナウイルス関連相談と兄姉の有無(第1子あるいは子ども一人の家庭)

兄姉有無	新型コロナ関連		新型コロナ以外		不	明	総計		
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
兄姉いる	1,039	16.6%	17,589	11.1%	7,046	8.3%	25,674	10.3%	
兄姉いない	613	9.8%	17,260	10.9%	6,494	7.7%	24,367	9.8%	
不明	4,605	73.6%	123,727	78.0%	71,264	84.0%	199,596	80.0%	
総計	6,257	100.0%	158,576	100.0%	84,804	100.0%	249,637	100.0%	

<sup>※</sup> 第 1 子あるいは子ども一人の家庭は新型コロナ関連 37.1%、新型コロナ以外 49.5%で、新型コロナウイルス関連で同胞が多くなる。

表 31-5. 新型コロナウイルス関連相談と発症時期

発症時期	新型コ	ロナ関連	新型コロ	ナ以外	不	明	総計			
光征时期	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
1 時間前から	1,837	29.4%	37,089	23.4%	50,610	59.7%	89,536	35.9%		
6 時間前から	526	8.4%	8,569	5.4%	2,811	3.3%	11,906	4.8%		
12 時間前から	365	5.8%	3,907	2.5%	3,362	4.0%	7,634	3.1%		
1日以上前から	897	14.3%	13,121	8.3%	13,966	16.5%	27,984	11.2%		
不明	2,632	42.1%	95,890	60.5%	14,055	16.6%	112,577	45.1%		
総計	6,257	100.0%	158,576	100.0%	84,804	100.0%	249,637	100.0%		

<sup>※</sup> 発症時期で(不明を除いた割合では)1 時間前から+6 時間前からは、新型コロナ関連 65.2%、新型コロナ以外 72.9%で、新型コロナウイルス関連で発症時期がやや遅くなる。

表 31-6 新型コロナウイルス関連相談と相談前受診(受診後電話相談)

相談前受診	新型コロナ関連		新型コロナ以外		不	明	総計		
他談削文衫	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
相談前受診あり	1,286	20.6%	22,931	14.5%	13,113	15.5%	37,330	15.0%	
相談前受診なし	3,568	57.0%	115,306	72.7%	64,108	75.6%	182,982	73.3%	
不明	1,403	22.4%	20,339	12.8%	7,583	8.9%	29,325	11.7%	
総計	6,257	100.0%	158,576	100.0%	84,804	100.0%	249,637	100.0%	

<sup>※</sup> 相談前受診(受診後電話相談)は、新型コロナ関連 26.5%、新型コロナ以外 16.6%で、新型コロナウイルス関連でより多くなる。

表 31-7. 新型コロナウイルス関連相談と緊急度判定(受診の判断)

<b>双</b>	新型コロナ関連		新型コロナ以外		不明		総計	
緊急度判定	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
119 番をすすめた	79	1.3%	4,623	2.9%	1,084	1.3%	5,786	2.3%
直ぐに病院に行くようにすすめた	854	13.6%	36,020	22.7%	21,560	25.4%	58,434	23.4%
翌日に受診することをすすめた	1,639	26.2%	43,650	27.5%	12,463	14.7%	57,752	23.1%
何かあれば受診することをすすめた	2,145	34.3%	43,500	27.4%	18,165	21.4%	63,810	25.6%
受診をする必要がない	899	14.4%	20,760	13.1%	29,328	34.6%	50,987	20.4%
その他	391	6.2%	2,568	1.6%	1,999	2.4%	4,958	2.0%
未記入	250	4.0%	7,455	4.7%	205	0.2%	7,910	3.2%
総計	6,257	100.0%	158,576	100.0%	84,804	100.0%	249,637	100.0%

<sup>※ 119</sup>番+直ぐ受診は、新型コロナ関連14.9%、新型コロナ以外25.6%で、新型コロナウイルス関連で緊急度が下がる。

表 31-8 新型コロナウイルス関連相談と医師の対応

┍ᅈᄼᄡᆕᆞᆉᇅ	新型コロナ関連		新型コロ	ナ以外	不	明	総計	
医師の助言・対応	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
医師から助言を受けた	18	0.3%	304	0.2%	37	0.0%	359	0.1%
医師が対応した	5	0.1%	30	0.0%	0	0.0%	35	0.0%
医師の助言なし	3,864	61.8%	128,668	81.1%	84,767	100.0%	217,299	87.0%
不明	2,370	37.9%	29,574	18.6%	0	0.0%	31,944	12.8%
総計	6,257	100.0%	158,576	100.0%	84,804	100.0%	249,637	100.0%

<sup>※</sup> 医師の助言・対応ありは、(不明を除いた割合では)新型コロナ関連 0.6%、新型コロナ以外 0.3%で、新型コロナウイルス関連で多くなる。

## V-1. 令和 4 年度#8000 情報収集分析事業の要約

47 都道府県全県の#8000 事業の実施状況を表 3-1、2、3、表 4に示した。深夜帯は 23 時まで、1 時までの 1 県ずつを除く 45 都道府県が朝まで実施していた(対象年少人口 98.5%)。日曜祝日日勤帯は 25 都県が実施していた(対象年少人口 50.0%)。18 都道府県を地元事業者が担当し、そのうち 7 都府県は地元事業者単独、11 道県は広域民間事業者を併用していた。40 道府県を広域民間事業者が担当し、広域民間事業者は 5 社であった。相談対象児の年齢・性別、医療圏、相談対応時間、相談者の満足度は、一部の地域でデータを取得出来ず、他項目ではデータ取得率が低い項目があったことから、今後、さらに協議が必要であると考えられた。

今年度の#8000 情報収集分析事業には 45 都道府県が参加した。2022 年 9 月~11 月 3 か月間に#8000 事業のデータ 249,637 件を収集した。参加県、総相談件数ともに過去最高で、本事業の対象年少人口は全国の 94.9%になり、解析対象の総相談件数は前年度の 1.39 倍に増加した。参加 45 都道府県の#8000 事業実施状況は、準夜帯 45 都道府県(全国年少人口の 94.9%)、深夜帯 43 都道府県(93.5%)、日曜祝日日勤帯 23 都県(44.9%)であった。

年少人口千人対相談件数/月は全体(全相談件数/全年少人口)5.9、都道府県別中央値5.3、最小値2.6、最大値16.1で、小児科医師・小児外科医師対相談件数/月は全体4.7、中央値4.3、最小値2.1、最大値15.6で、都道府県間差違は約6倍と大きく、原因として都道府県ごとに実施時間帯、回線数が異なることが考えられた。また、各都道府県内の年少人口対相談件数の小児医療圏間較差(最大/最小比)は中央値2.3、最小値1.3、最大値9.8で、小児医療圏間較差5.0以上が5県あった。都道府県間較差、小児医療圏間較差については、地域差のない医療提供の観点から、今後是正が望まれる。

1時間当たりの相談件数の時間変動(図 7-1)は、19~20時(相談開始)をピーク(サージ)として、以後漸減して 0時に 1/3 に、深夜帯はさらに減少して 5~6時に最低(1/8)に、そして朝 7~8時に小さな山(1/4)になり、日曜祝日日勤帯はピーク時の約 1/3で一定していた。各都道府県の#8000事業の実施状況と#8000事業の利用状況に関する時間変動を分析した。(図 7-2-1~45)十分な回線数で 24時間実施している例として茨城県(図 7-2-8)と、実施時間帯と回線数に制限がある例として大阪府(図 7-2-26)を比較したところ、平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日3群のピークが同じ場合は話中の可能性があること、準夜帯早期はピーク(サージ)を示し、特にニーズが大きく回線数が足りない可能性が考えられた。十分な回線数で 24時間実施した場合に、平日(除祝日)、土曜日(除祝日)、日曜祝日3群の日勤帯、準夜帯、深夜帯3時間帯別の#8000ニーズを検討すると、日曜祝日日勤帯は平日準夜帯と同程度のニーズがあること、日曜祝日準夜帯は平日準夜帯より多いこと、深夜帯は平日準夜帯の 1/3で曜日にかかわらず一定していることがわかった。以上から、今後の#8000事業の実施時間帯および回線数については、夕方18時開始、朝9時終了など開始と終了の拡幅、日曜祝日日勤帯と土曜日午後の実施、準夜帯早期の回線数の適正化を考慮した調整が望ましいと考えられた。加えて、家庭看護力醸成、小児救急医療情報ツールの活用も必要であると考えられた。

相談対象児年齢は1歳未満22.6%、2歳未満42.5%、3歳未満56.0%、6歳未満82.3%で、乳幼児早期のニーズが高く、男女比は1.19と男子が多い結果であった。主訴は、割合順で、発熱31.3%、咳9.4%、嘔気・嘔吐9.2%、頭部以外の外傷8.4%、頭部打撲7.4%、腹痛5.5%、耳・鼻・のどの異常5.5%、発疹(じんましん)4.7%、異物誤飲4.6%、下痢4.3%であった。令和2~3年度に認めた発熱主訴の減少と外因系主訴(頭部打撲、頭部外の外傷、異物誤飲、熱傷)の増加は、それぞれが令和元年度の状況(COVID-19前)に戻りつつある。消化器系主訴(嘔気・嘔吐、下痢、腹痛、便の異常)は減少したままである。呼吸器系主訴(咳、喘鳴(息苦しそう),鼻水・鼻づまり、耳・鼻・のどの異常)は令和3年度以降漸増を続けており、今後呼吸器系主訴についての啓発が必要であることを示している。第1子あるいは子ども一人の家庭(兄姉がいない)からの相談の割合は48.7%で令和2年度以降一定している。

相談者続柄別割合は、母親 82.7%、父親 16.1%、祖母 0.3%、祖父 0.1%で、母親がほとんどであった。父親/母親比は 20 時~4 時に 0.20 以上(最大 0.25)に増加していた。相談者の年代別割合は、10 代 0.1%、20 代 16.4%、30 代 66.6%、40 代 16.4%であった。

相談の分類・目的別割合は、救急医療相談合計(救急医療相談と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)58.7%、医療機関案内合計(医療機関案内と救急医療相談+医療機関案内を合わせて)14.6%、薬 1.9%、ホームケア 2.0%、育児相談 1.1%であり、救急医療相談が最も多く、医療機関案内のニーズが次に多かった。相談対応時間は 4~5 分未満が最も多く、3~7 分未満が 64.2%を占める。相談対応時間 15 分以上は 1,177 件 0.9%であった。相談前受診(受診後電話相談)は 16.9%であった。医師の助言・対応は 394 件、0.16%であった。相談者の満足度(相談対応者の印象)で不満気は 1,082 件、0.6%であった。相談対応者の相談対応困難は 116 件、0.05%であった。

相談対応者(看護師)による緊急度判定別割合は、「119 番をすすめた」2.3%、「直ぐに病院に行くようにすすめた」23.4%、「翌日に受診することをすすめた」23.1%、「何かあれば受診することをすすめた」25.6%、「受診をする必要はない」20.4%、「その他」2.0%、未記入 3.2%であり、都道府県間差違を認め、事業者ごとに特徴があった。なお、直ぐ受診(「119 番をすすめた」+「直ぐに病院に行くようにすすめた」)の緊急度を判定した割合は、全体 25.7%、最小値 11.3%、最大値 39.8%であり、最大値が前年度(49.2%)より低下した。

相談時点における発症時期別割合は、1 時間前から 65.3%、12 時間前から総計 79.6%で、発症から短時間が多く、発症後短時間であるほど緊急度は高い傾向であった。一方、相談前受診(受診後電話相談)ありの場合は、緊急度が低い傾向にあった。相談対応者(看護師)による緊急度判定(受診の判断)と満足度(相談対応者による印象)は、「何かあれば受診」で満足度が高くなる傾向にあった。電話相談業務経験年数を 5 年未満、5 年以上 10 年未満、10 年以上に分けると、緊急度判定は 5 年以上 10 年未満で、「直ぐ受診」と判定する割合が減り、「翌日受診」と「何かあれば受診」と判定する割合が増える傾向があった。「何かあれば受診」の判定は、相談員の経験をある程度要すること、相談者の満足度を高めることが分析結果から導かれ、#8000 事業の質の向上において重要と思われた。相談対応者(看護師)が受診すべきと考えた診療科の割合は、前年度と同じく小児科が 2/3 で、外科系が 1/4 である。その他の診療科は 12.1%と比較的多かった。直ぐ受診(119 番+直ぐ受診)の割合を診療科別にみたところ、小児科 23.2%、外科系 11.3~

36.2%、その他 47.4%で、その他の診療科の緊急度が高い。その他は、急患センター、ER 等を含み、臓器別診療科と異なる分類になり、医療機関案内との混同と思われ、次年度の検討課題とする。

諸状況と主訴の検討により、緊急度が高くなる主訴は、喘鳴(息苦しそう)、けいれん・ふるえ、熱傷、医師の助言・対応を要した割合が高くなる主訴は、薬、異物誤飲、相談対応者(看護師)の対応感想(対応で困ったこと)で対応困難が多くなる主訴は、喘鳴(息苦しそう)、便の異常(血便・便秘)、薬、相談対応時間(相談対応に要した時間)15分以上で割合が高くなる主訴は、発熱、鼻水・鼻づまり、けいれん・ふるえ、尿の異常、薬、相談前受診(受診後電話相談)で割合が高くなる主訴は、発熱、咳、鼻水・鼻づまり、薬であった。(表 29)

新型コロナウイルス関連相談を新型コロナウイルス関連以外の相談と比較した。新型コロナウイルス関連相談の特徴は、相談対象児年齢が5歳以上が多く、主訴は発熱、頭痛、薬が多く、咳、けいれん・ふるえは同じで、外因系が少ない。相談の分類・目的は救急医療相談が少なく、医療機関案内が多い。第1子あるいは子ども一人の家庭は少なく同胞が多い。発症時期がやや遅い。相談前受診(受診後電話相談)は多い。緊急度は低い。医師の助言・対応は多い。

### Ⅴ-2.8000事業の経年変化

#8000 情報収集分析事業(本事業)のこれまでの参加都道府県数/収集データ件数は、平成29 年度5 道府県/6,327 件、平成30 年度25 道府県/197,356 件、令和元年度39 都道府県/241,387 件、令和2 年度44 都道府県/153,726 件、令和3 年度43 都道府県/179,280 件、令和4 年度45 都道府県/249,637 件であった。令和4 年度は本事業への参加都道府県数/収集データ件数ともに過去最多となった。本事業の対象年少人口全国比は94.9%となっていることから、全国の状況をみることが出来ていると考えられた。

全国展開となった令和元年度以降の4年間の経年変化をみた。令和元年度は新型コロナウイルスパンデミック以前の2019年12月~2020年2月にデータを収集したので、新型コロナウイルスパンデミック以前からその後の変化を見ることが出来ると考えられた。(表30)

対象年少人ロ千人対相談件数/月は、 $6.6 \rightarrow 4.0 \rightarrow 4.6 \rightarrow 5.9$  件で、令和 2、3 年度は、COVID-19 パンデミックよる受診抑制、小児感染症の減少の影響により一時的に減少したと思われた。令和 4 年度は以前に戻ってきている。令和 3 年度から調査時期を  $12 \sim 2$  月から  $9 \sim 11$  月に変更したことが影響しているかも知れない。今年度の#8000 相談件数の結果から、#8000 事業の利用は、概算で 1 か月間に約 200 人に一人の子どもが#8000 事業を利用していると考えられた。

相談対象児の年齢分布は経年変化はなく、1 歳未満 22~25%、3 歳未満 57~62%、6 歳未満 79~84%で、年少児が多く、1 歳未満が最多であった。第 1 子あるいは子ども一人家庭からの相談割合が全体の 48~49%で一定しており、そのニーズは大きいと考えられた。

相談者は母親が主で83~84%、父親は15~17%であった。父親の育児参加はまだまだ少ないことが推測される。相談者年代は、30代が主であるが、40代が少しずつ増えていて、年長児の相談の増加および出産年齢の高齢化が要因と考えられた。

主訴によって経年変化が異なる。前項で示したが、発熱は令和2、3年度に一時減少し、外因系は一時増加し令和4年度には令和元年度レベルに戻る傾向がみえる。消化器系は減少したままで、呼吸器系は漸増している。発熱、外因系、消化器系は、新型コロナウイルスパンデミックにより、他の小児感染症の減少と家庭内事故等の増加が一時的に起きたことが要因と考えられた。呼吸器系疾患の漸増は、呼吸器疾患に対する保護者の不安が増している状況が推察されるので、今後、呼吸器系疾患の啓発が必要と思われた。

発症時期は 1 時間前からが 6~7 割、12 時間前からが 8 割以上と、発症後短時間での#8000 事業の利用が多く、経年変化は認められなかった。

相談の分類・目的は、年度毎に変動があるが、救急医療相談が主体であること、医療機関案内のニーズが一定の割合あることは変わらなかった。

相談前受診(受診後相談)は、新型コロナウイルスパンデミックによる受診行動の変化によって令和 2~3 年度に半減したが、今年度は 16.9%と戻りつつある。

119番+および直ぐ受診と判定された割合は、これまでは22.8%、27.3%、30.9%と増加傾向であったが、今年度少し低下し、25.7%であった。この理由の一つとして、前年度の都道府県別緊急度判定分析結果を都道府県と民間事業者に示し、119番+直ぐ受診と判定された割合が高すぎる場合があることを指摘したことが影響していると思われた。

相談対応者が受診すべきと考えた診療科については、小児科が令和元年度は 76.1%とであったものが、令和 2 年度から約 10%減少し、令和 4 年度においても同様であった。

相談対応時間 15 分以上、医師の助言・対応、不満気(相談対応者の印象)、相談対応者の対応困難は件数は少ないが、経年的にわずかに変化が認められた。これらの考察のための情報が不足しており、次年度の検討課題とする。

表 30. 令和元年~4 年度#8000 情報収集分析事業の経年変化

I				
年度	令和元年度全体	令和2年度全体	令和3年度全体	令和 4 年度全体
下期間	2019年12月	2020 年 12 月	2021年9~11日	2022年9~11月
••••	~2020年2月	~2021年2月	I V II A	•
『道府県	39 都道府県	44 都道府県	43 都道府県	45 都道府県
人口全国比	88.9%	92.5%	91.6%	94.9%
談件数	241,387	153,726	179,280	249,637
対総相談件平均/月	6.6	4.0	4.6	5.9
1 歳未満	23.0%	22.0%	25.4%	22.6%
3 歳未満	57.0%	59.0%	61.7%	56.0%
6 歳未満	79.1%	78.5%	84.7%	82.3%
代、30代、40代	15.5%、68.6%、14.6%	18.9%、67.5%、15.2%	17.4%、68.1%、14.1%	16.4%、66.6%、16.4%
母親、父親	83.8%、13.8%	82.7%、16.0%	83.2%、15.5%	82.7%、16.1%
発熱	31.9%	22.4%	23.3%	31.3%
消化器系	30.7%	24.1%	22.6%	20.5%
呼吸器系	12.7%	11.5%	17.2%	22.7%
外因系	18.6%	31.7%	28.8%	21.1%
1 時間前から	63.8%	72.6%	65.9%	65.3%
12 時間前から	84.7%	82.1%	80.1%	79.6%
救急医療相談	27.9%	32.2%	58.9%	58.7%
医療機関案内	15.0%	17.7%	23.5%	14.6%
子ども一人の家庭	42.2%	49.2%	48.7%	48.7%
·診後電話相談)	21.3%	8.9%	10.5%	16.9%
間 15 分以上	1.2%	0.6%	0.4%	0.9%
平均値	22.8%	27.3%	30.9%	25.7%
都道府県の	2 00/ ~ . 42 00/	12 70 ~ . 42 00/	12 20/ ~ . 40 20/	11 20/ - 20 00/
最小値、最大値	2.9%~42.2%	12.7%~43.9%	12.3%~49.2%	11.3%~39.8%
・対応を要した	0.11%	0.07%	0.28%	0.16%
小児科	76.1%	65.9%	66.8%	64.1%
一般外科·小児外科	3.2%	4.9%	4.5%	3.2%
脳神経外科	6.1%	10.0%	9.1%	7.3%
整形外科	2.4%	4.1%	3.5%	3.0%
者の印象):不満気	0.1%	0.1%	0.5%	0.6%
応感想:対応困難	0.1%	0.6%	0.1%	0.05%
	期間 3道 L W W 対対	2019 年 12 月	2019 年 12 月	2019年12月

# V-3. #8000 情報収集分析事業から得られた課題

課題を整理して、問題点を分析し、「今後の方針」を示す。

《課題 1. 参加を得られない県や、地元データを得られない県がある。》

栃木県と熊本県が新たに参加し、栃木県は NDS-8000-1 を利用した。2 県が不参加であり、 地元のデータを得られていない。原因として、手書き入力のため、デジタル入力を新たに導入し にくいことが考えられた。また、#8000 対応記録の個票が得られていない可能性があると考えら れた。

## [今後の方針]

- デジタル入力システムの改善、データの突合作業の効率化を進める。
- ・AI-OCR や AI 電話対応の可能性を検討する。

《課題 2, データの取得率が低い(未記入率が高い)調査項目があり、都道府県間で異なる。》 調査項目・選択枝は、本事業と都道府県・#8000事業者間で異なる場合があった。データ取得 率は低いが、重要な所見が得られている調査項目があった。

### [今後の方針]

- ・都道府県、広域民間事業者に、各調査項目の目的と重要性、データ取得率を示し、課題を共 有する。
- ・都道府県・#8000事業者の調査項目・選択枝の情報を得て、突合作業を効率化する。

《課題 3. 報告書作成に時間がかかる。》

データ収集、データクリーニング、データ突合、集計のエラーの検出と修正に時間を要した。データ収集の遅れは課題 1 が関連する可能性が考慮された。

### [今後の方針]

- データの突合精度を高める。
- 《課題 4. 相談対象児年齢分布》

複数年齢でまとめている自治体があり、今年度は除外して集計した。

《課題 5, #8000 利用率の地域差がある。》

年少人口対相談件数の都道府県間差違や医療圏間較差が大きかった。

## [今後の方針]

都道府県にデータを示して協議し、実施体制の検討、広報等を促していく。

《課題 6. 相談件数の時間変動が大きい。話中問題、応答率の低下》

応答率を調べている都道府県が少なかった。また、1 時間当たりの相談件数の時間変動の分析から、回線数の飽和・不足が示唆された。夕方 18 時開始、朝 9 時終了、日曜祝日日勤帯と土曜日午後の実施、準夜帯早期の回線数の調整が、ニーズに合わせて話中を改善する方策と考えられた。

#### 「今後の方針]

- ・都道府県別時間変動の分析結果を示し、実施時間帯、回線数の検討、小児救急医療情報ツールの活用を促していく。
  - ・都道府県に応答率を調べていただく。

《課題 7, 外因系主訴が比較的多い。それに対する救急医療体制が不十分である。》 「今後の方針]

- ・外科系救急診療体制の必要性、整備について話し合う。
- ・小児救急医療情報ツールを充実させる。

《課題 8, 相談の分類・目的で、医療機関案内のニーズが比較的多い。》 [今後の方針]

- 都道府県の医療機関案内ツールを調査する。
- ・医療機関案内の広報を促す。
- 小児救急医療情報ツールを活用する。

《課題 9. 都道府県間で緊急度判定の差違がある。》

都道府県、広域民間事業者との話し合いの結果、少し是正されてきた。

「今後の方針]

・本事業の報告書を元に今後も都道府県、広域民間事業者と協議を続ける。

《課題 10, (今年度新たに加えた課題)相談対応者が受診すべきと考えた診療科において、その他の診療科が 12.1%あり、その緊急度は高い。》

急患センター、救急科、ER 等を含む可能性があった。

「今後の方針]

- 調査項目「相談対応者が受診すべきと考えた診療科」の選択肢の変更を検討する。
- 医療機関案内リストと関連するので、課題8とともに進める。

《課題 11, (相談対応時間 15 分以上、医師の助言・対応、不満気(相談対応者の印象)、相談対応者の対応困難は、件数は少ないが、経年的にわずかに変化が認められた。》

件数は少ないが、#8000事業の質の向上のために重要な事項である。

[今後の方針]

経年変化を注視し、今後クロス集計などで分析を進める。

以上、11 の課題を示した。これらの課題は小児医療政策に関わる事項が多く、都道府県の第8 次医療計画(小児医療)において、#8000 事業を重点項目として、これらの課題を検討していただくことを希望する。

# VI 結語

厚生労働省委託事業として、45 都道府県(対象年少人口の 94.9%をカバー)の#8000 事業のデータの収集と分析を行った。#8000 事業の現在の状況と課題の理解、小児救急医療・子どもと家族の支援に役立つ情報をめざした。経年変化を分析することにより、問題点の分析、課題の整理、方針の考察を行った。

#8000 事業は、わが国が約20年間をかけて育んだ素晴らしい子育て支援政策である。今後の#8000 事業のさらなる質の向上には、保護者のニーズを正確に迅速に汲み取ること、都道府県#8000 事業担当者と#8000 事業に関わる民間事業者・電話相談員との細かな連絡と協議が重要であると感じている。

# Ⅷ. 引用資料

- 1) 渡部誠一、中澤 誠、衛藤義勝、市川光太郎、他. 小児救急外来受診における患者家族のニーズ、日本小児科学会雑誌. 2006; 110(5): 696-702
- 2) いのちをまもり医療をまもる国民プロジェクト宣言(2019年11月21日)

https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000473642.pdf

3) 成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針について(2021年2月9日)

https://www.mhlw.go.jp/content/000735844.pdf

4) 子ども医療電話相談事業(#8000 事業)の推進について(2018 年 4 月 18 日)

https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/10/dl/tp1010-3.pdf

5) 子ども医療電話相談事業(#8000)について、

https://www.mhlw.go.jp/topics/2006/10/tp1010-3.html

6) 令和4年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)、e-stat 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

https://www.e-stat.go.jp/stat-

search/files?page=1&layout=dataset&toukei=00200241&tstat=000001039591&cycle=7&year=20220&month=0&tclass1=000001039601&stat\_infid=000032224637&metadata=1&data=1

7) 医師・歯科医師・薬剤師統計 / 令和 2 年医師・歯科医師・薬剤師統計 閲覧、

https://www.e-stat.go.jp/stat-

 $search/files?page=2\&layout=dataset\&toukei=00450026\&tstat=000001135683\&year=2\\0200\&month=0\&stat\ infid=000032179787\&metadata=1\&data=1\\$ 

8) 小児医療圏一市町村対応表、

https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000773562.pdf

- 9) 市川光太郎.トリアージによる家庭看護力アップ「Ambulatory triage から Parent (Home) triage へ 一 危急疾患をトリアージで見抜こう」2016 年日本小児科医会会報、p.97-100
- 10) 日本小児科医会小児救急医療委員会. 小児救急医療情報ツール

https://www.jpa-web.org/sharp8000/sharp8000\_2.html

11) 母の年齢(5歳階級別)出産年齢 2020年度

https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei20/dl/08\_h4.pdf